

平成 19 年度

男女共同参画に関する市民意識調査

報告書

平成 20 (2008) 年 10 月

旭 川 市

# 目次

調査の概要	1
調査対象者の属性	2

## 調査結果の概要

I 男女の役割や地位に関する意識について	
ア 男女の平等について	3
1 各分野の男女の平等感	
(1)「家庭生活の場」における男女の平等感	4
(2)「政治の場」における男女の平等感	5
(3)「社会通念, 慣習, しきたり」における男女の平等感	6
(4)「法律や制度上」における男女の平等感	7
(5)「学校教育の場」における男女の平等感	8
(6)「職場」における男女の平等感	9
■職場において男性, 女性が優遇されている理由	10
イ 性別にもとづいた役割分担意識について	
1 「男は仕事, 女は家庭」という役割分担についての考え方	12
II 男女の人権について	
ア ドメスティック・バイオレンス(DV)について	
1 DVについての見聞きの状況	13
2 DV被害にあった場合の相談先	14
イ セクシャル・ハラスメント(性的嫌がらせ)について	
1 セク・ハラについての見聞きの状況	15
2 セク・ハラ被害にあった場合の相談先	16
III 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」について	
ア 現在の就労状況について	17
1 勤務形態	18
2 働いていない理由	19
イ 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」について	
1 希望するライフスタイル	20
2 現実に近いライフスタイル	21
ウ 企業等における「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の取組について	
1 ワーク・ライフ・バランス推進のために必要なこと	22
エ 仕事と家庭の両立支援について	
1 仕事と家庭を両立していくために必要な環境整備	23
IV 男女共同参画に関する法令等について	
1 男女共同参画に関わる言葉の見聞きの状況	24
V 男女共同参画社会実現のために必要なこと	
1 男女共同参画社会の実現のために必要なこと	25
2 男女共同参画社会の実現のために重要となる市の施策	27
VI 自由意見	28

## 考察

調査結果から	33
課題解決に向けた取組	37

## 資料編

調査票及び単純集計結果	38
調査結果の集計表	55

# 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、旭川市の男女を取り巻く様々な問題について、市民の意識や実態を調査・分析することにより、現状や新たな課題等の把握を行い、今後の男女共同参画社会の形成を推進する施策や事業の充実を図るために実施した。併せて、次期旭川市男女共同参画基本計画の策定に向けた基礎資料とするものである。

## 2. 調査の内容

- 1 男女の役割や地位に関する意識について
  - ア 男女の平等について
  - イ 性別にもとづいた役割分担意識について
- 2 男女の人権について
  - ア ドメスティック・バイオレンス（DV）について
  - イ セクシャル・ハラスメントについて
- 3 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について
  - ア 現在の就労状況について
  - イ 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について
  - ウ 企業等における「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取組について
  - エ 仕事と家庭の両立支援について
- 4 男女共同参画に関する法令等について
- 5 男女共同参画社会の実現のために必要なことについて

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域 旭川市全域
- (2) 調査対象 旭川市に居住する満20歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000人（男女各1,000人）
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から層化2段無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による配布・回収
- (6) 調査期間 平成20年2月13日～2月29日

## 4. 回収結果

- (1) 回収数 954件
- (2) 回収率 47.7%  
うち記入不備 3件

## 5. 調査結果の表し方

- (1) 調査結果の数値は回答率（％）で示しており、％の母数は、その質問項目に該当する回答者の数である。
- (2) 集計表は小数点第2位で四捨五入して算出しているため、回答数を合計しても100.0％にならない場合がある。
- (3) 設問によっては、複数回答を求めているため、比率の合計が100％を超えるものがある。

## 調査対象者の属性

区分	実数	比率(%)
全体	954	100.0%
<b>【年齢別】</b>		
20歳～29歳	144	15.1%
30歳～39歳	172	18.0%
40歳～49歳	186	19.5%
50歳～59歳	206	21.6%
60歳以上	238	24.9%
無回答	8	0.8%
<b>【性別】</b>		
男性	415	43.5%
女性	531	55.7%
無回答	8	0.8%
<b>【未既婚別】</b>		
結婚していない	190	19.9%
結婚している(有配偶者)	662	69.4%
離別・死別した	91	9.5%
無回答	11	1.2%
<b>【子どもの成長段階】</b>		
乳幼児	126	13.2%
小・中学生	153	16.0%
高校生・大学生(高専, 短大, 大学院, 専門学校含む)	126	13.2%
学校は卒業した	364	38.2%
子どもはいない	258	27.0%
無回答	49	5.1%

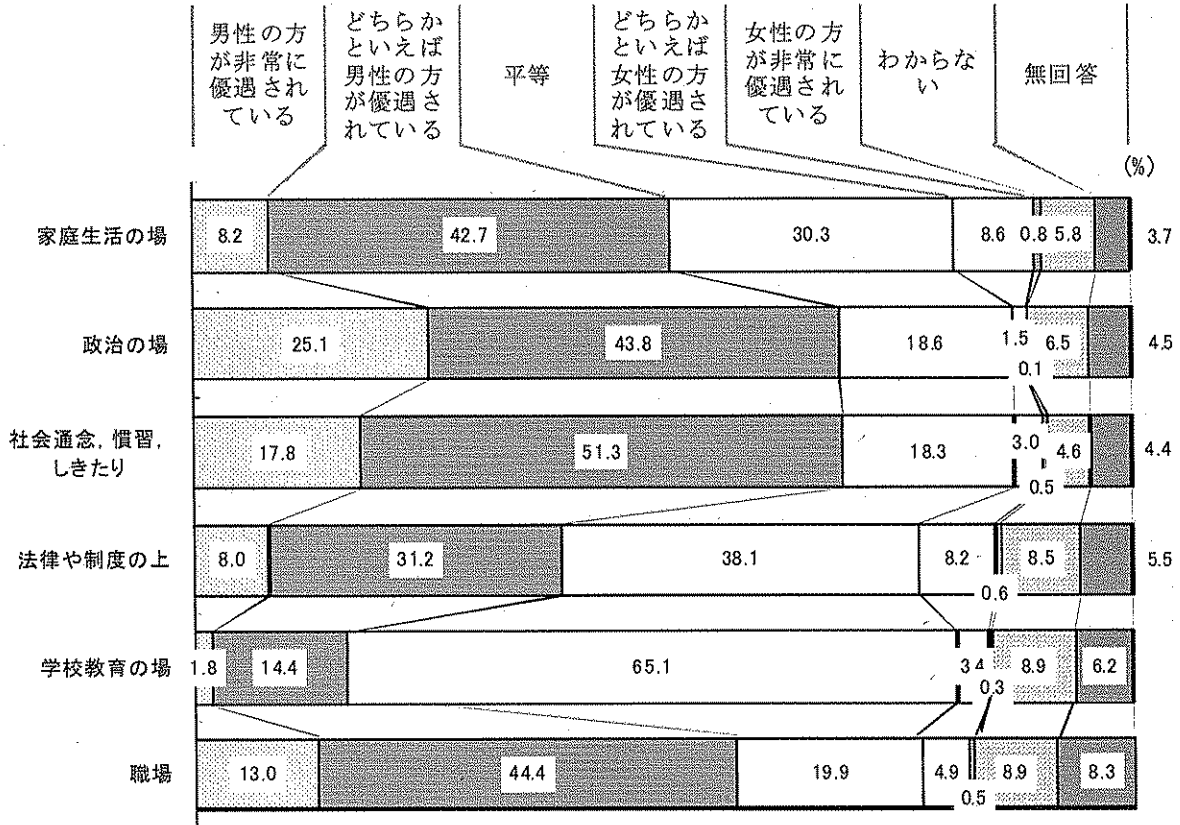
区分	実数	比率(%)
全体	954	100.0%
<b>【世帯構成別】</b>		
一人暮らし	118	12.4%
夫婦のみ	259	27.1%
親と子ども(2世代世帯)	426	44.7%
親と子と孫(3世代世帯)	57	6.0%
その他の構成の世帯	81	8.5%
無回答	13	1.4%
<b>【職業別】</b>		
自由業・自営業・家族従業員	70	7.3%
正規社員・職員	326	34.2%
臨時・派遣・パート・アルバイト・内職等	200	21.0%
その他	12	1.3%
働いていない	325	34.1%
無回答	21	2.2%

# 調査結果の概要

# I 男女の役割や地位に関する意識について

## ア 男女の平等について

問1 あなたは、次にあげる分野で男女は平等になっていると思いますか。各項目ごとにあてはまる番号一つに○をつけてください 問1-1



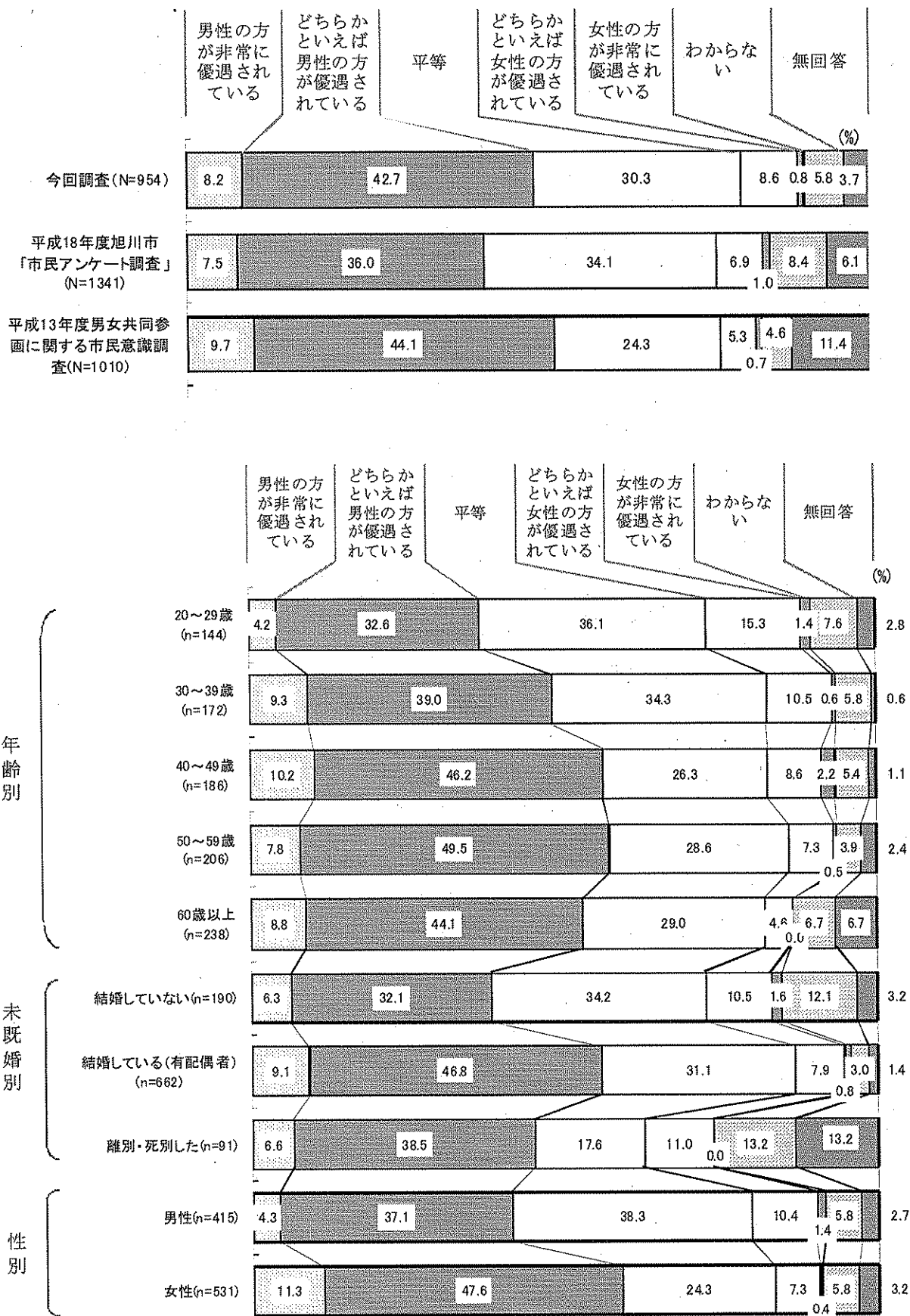
男女の平等感について尋ねたところ、『平等』は、「学校教育の場」が65.1%、「法律や制度の上」が38.1%、「家庭生活の場」が30.3%の順になっている。

『男性の方が非常に優遇されている』と『どちらかといえば男性の方が優遇されている』を合わせた回答は、「社会通念・慣習・しきたり」が69.1%、「政治の場」が68.9%、「職場」が57.4%となっている。

一方、『女性の方が非常に優遇されている』と『どちらかといえば女性の方が優遇されている』を合わせた回答は「家庭生活の場」が9.4%、「法律や制度の上」が8.8%、「職場」が5.4%と1割に満たない。

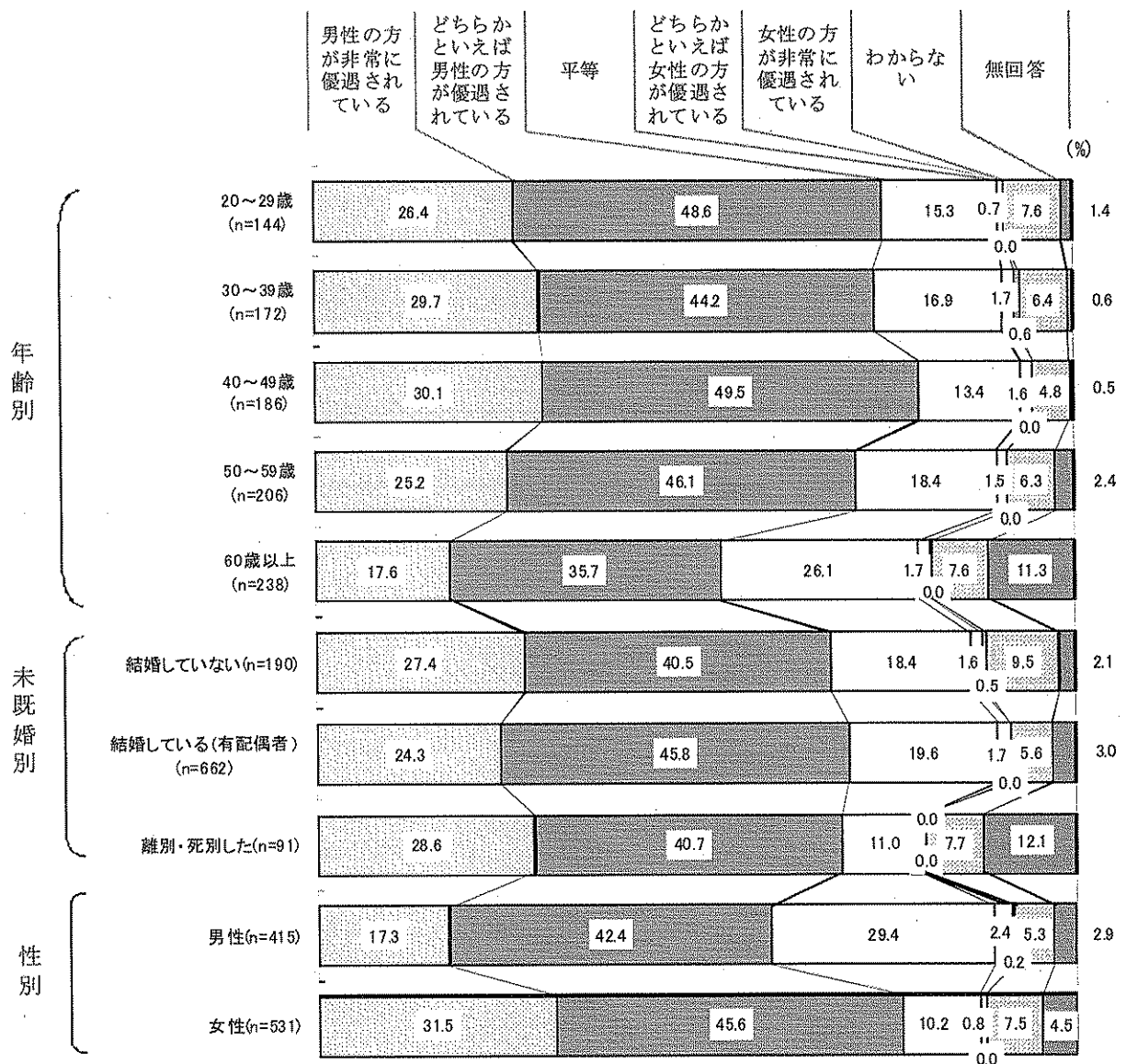
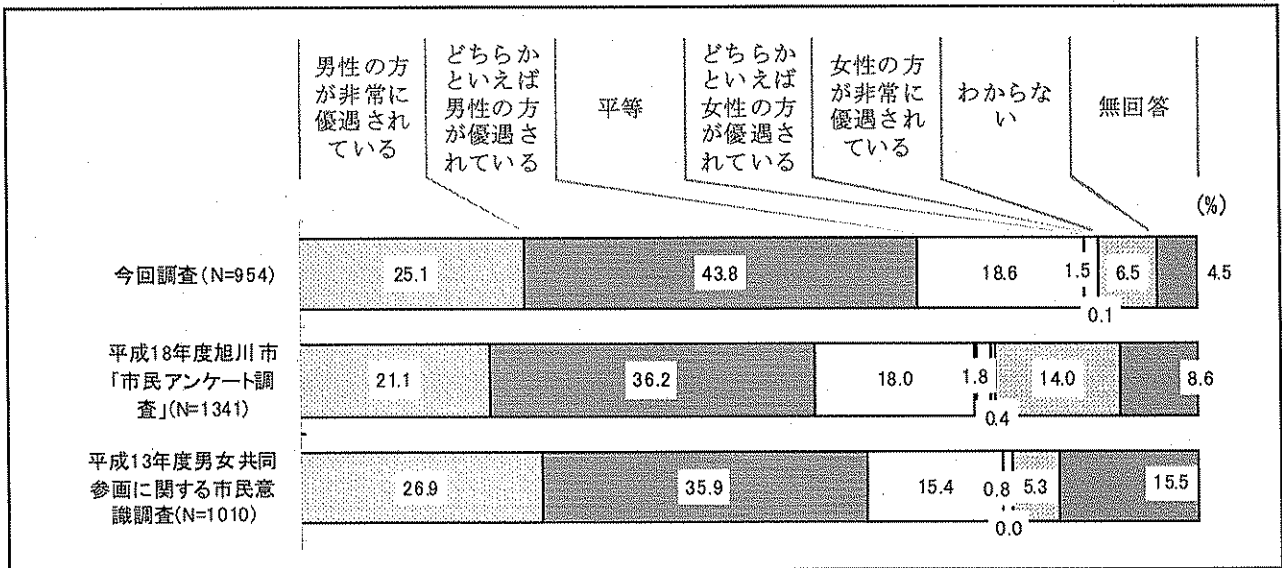
# 1 各分野の男女の平等感

## (1)「家庭生活の場」における男女の平等感

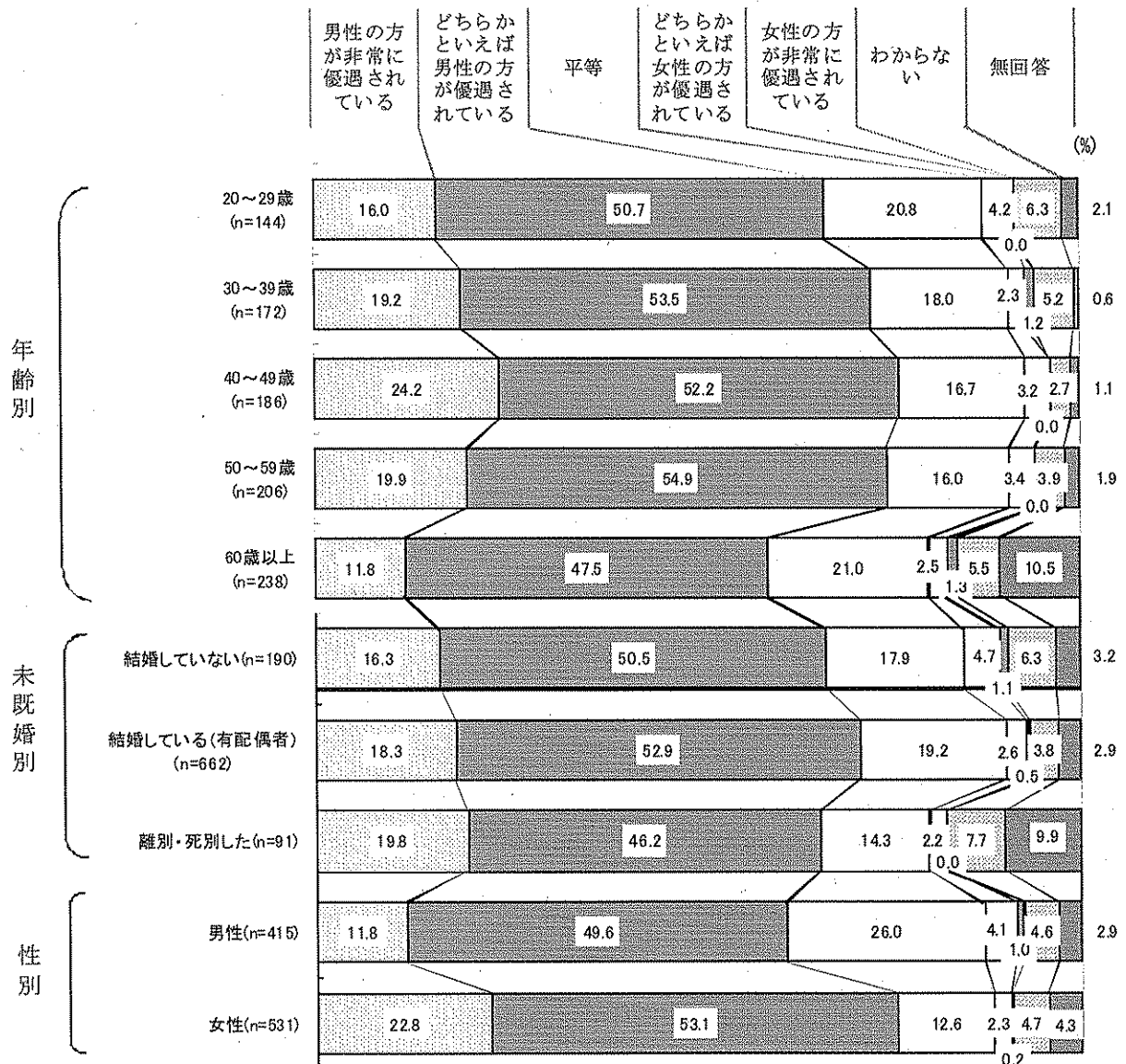
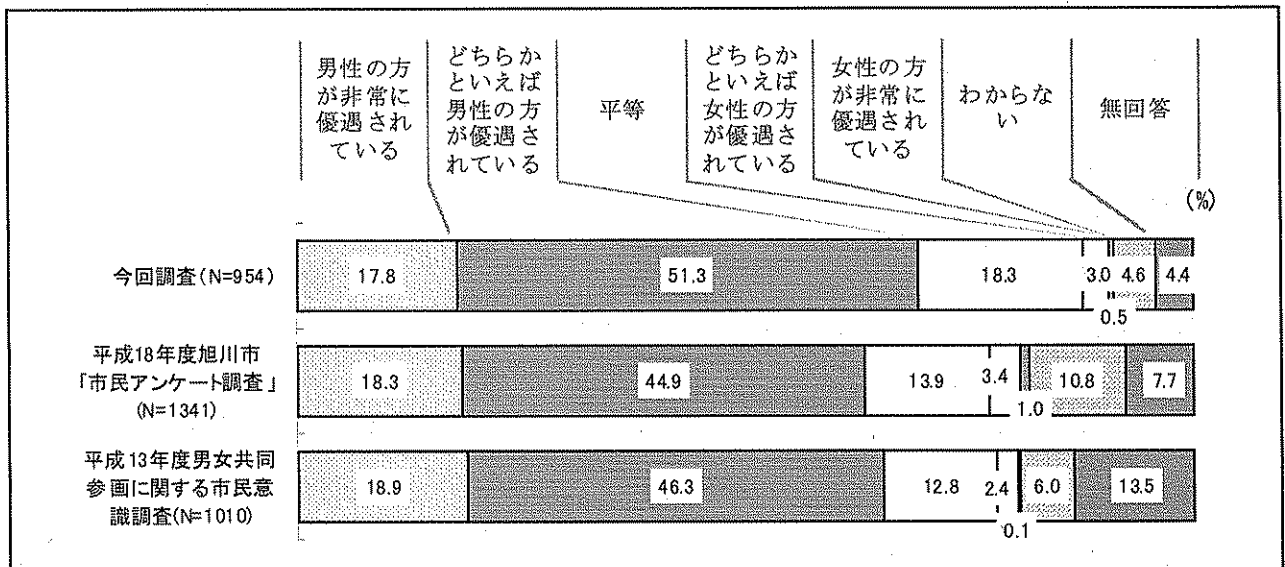




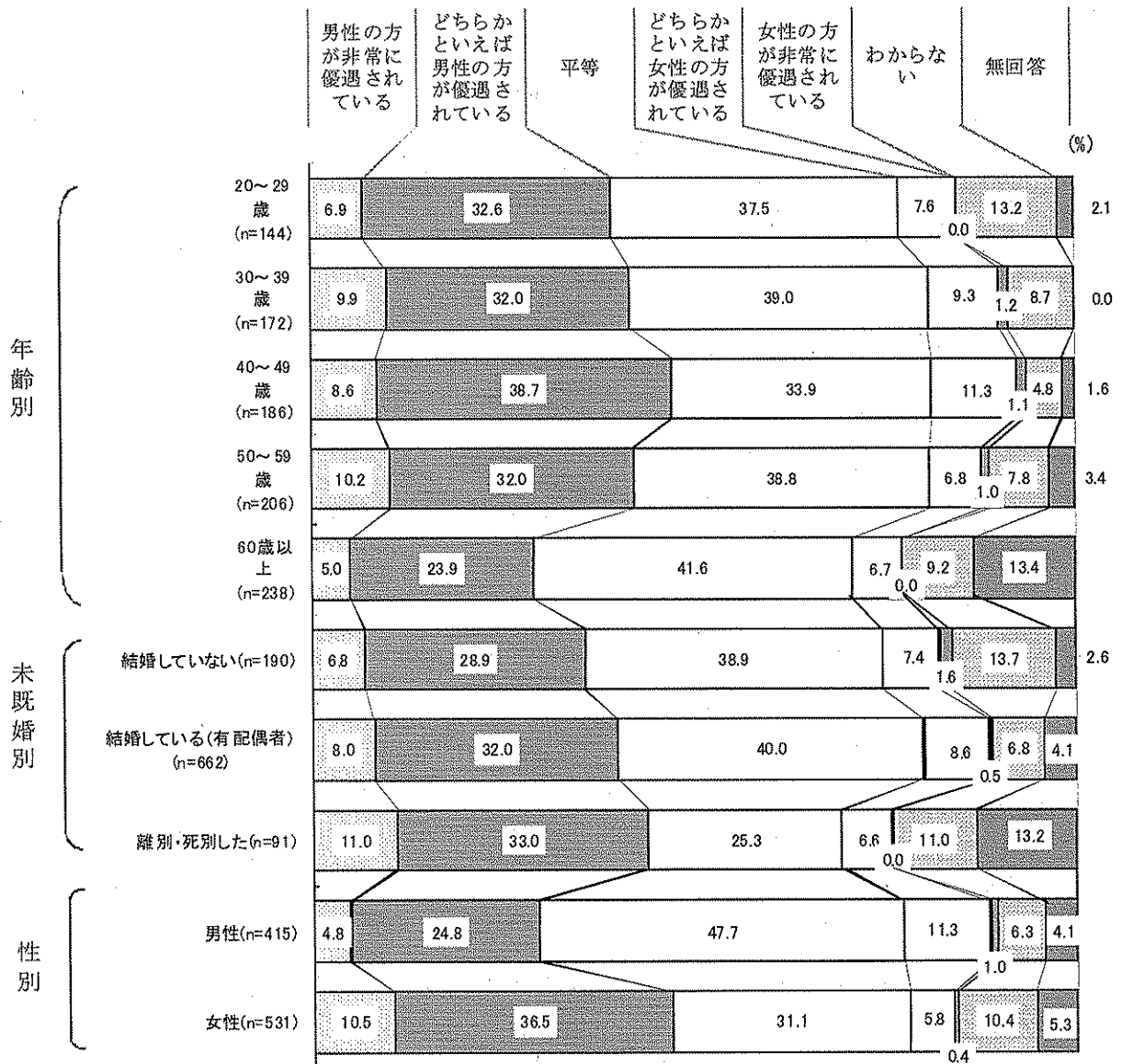
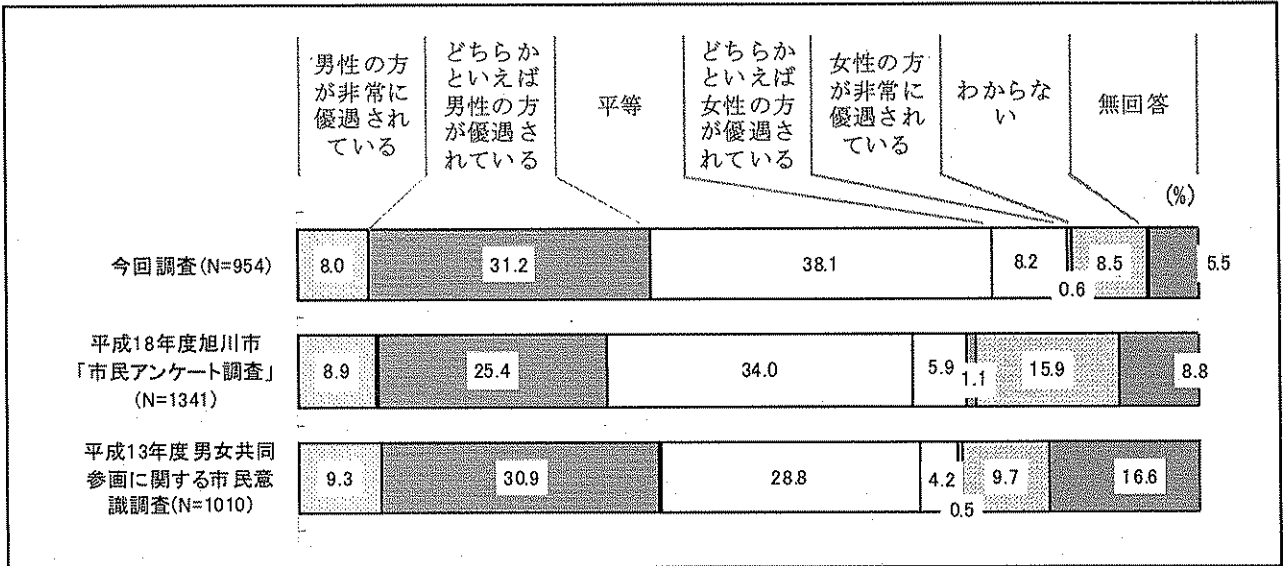
(2) 「政治の場」における男女の平等感



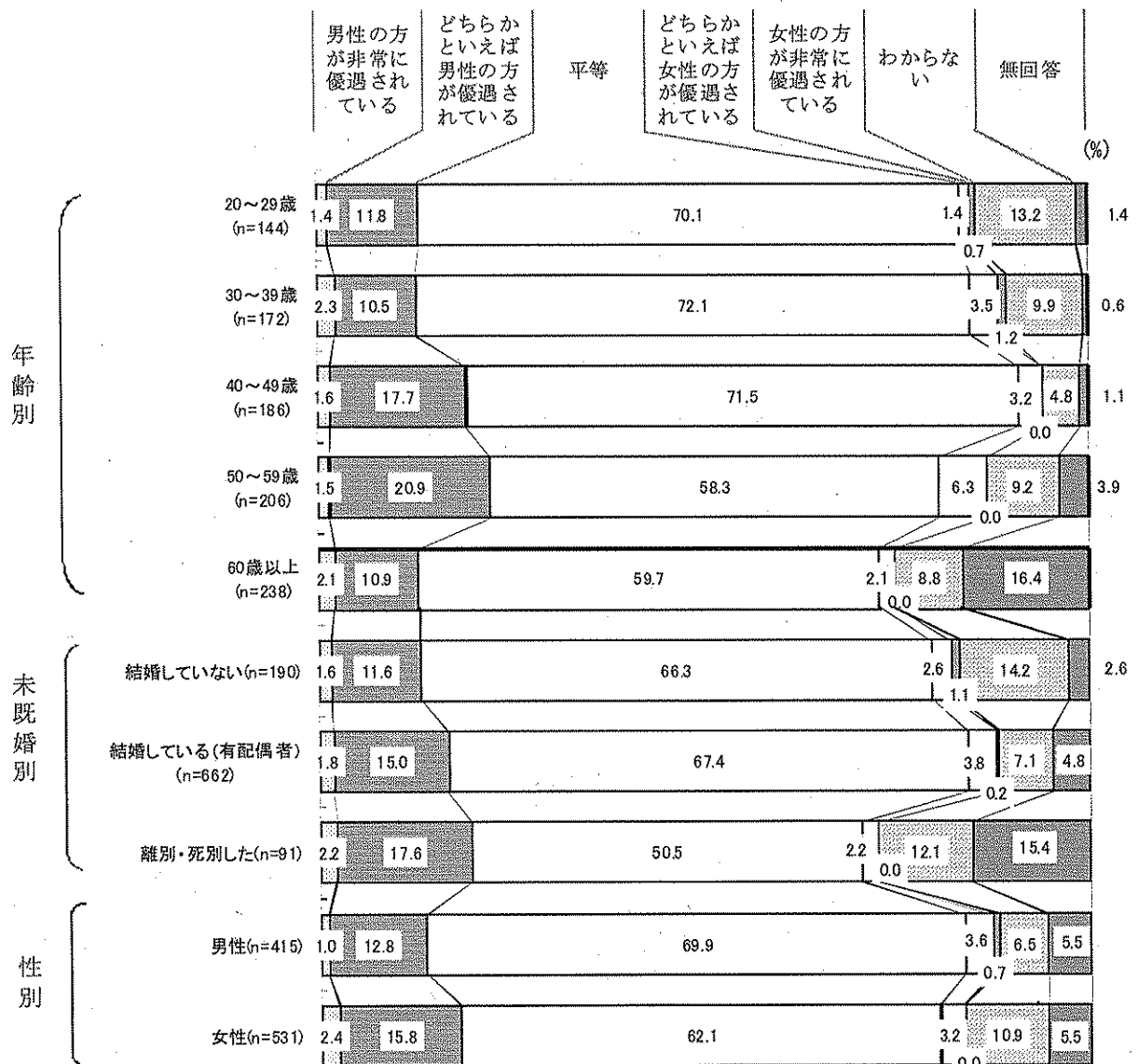
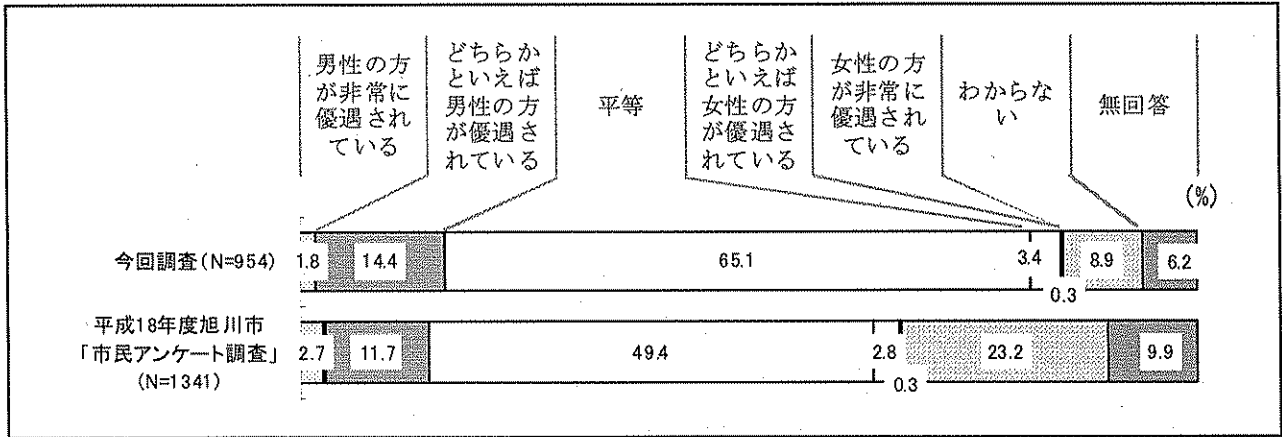
(3) 「社会通念、慣習、しきたり」における男女の平等感



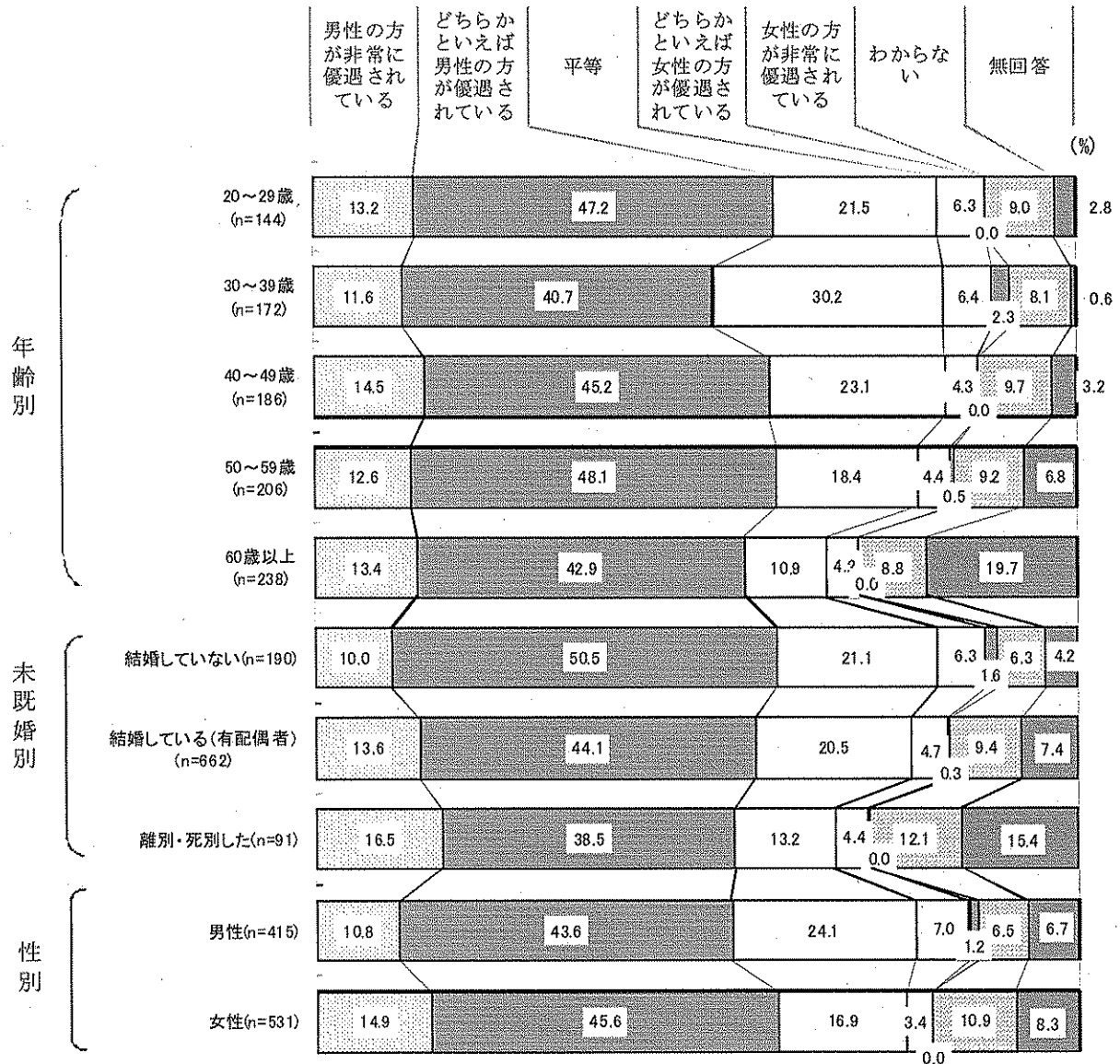
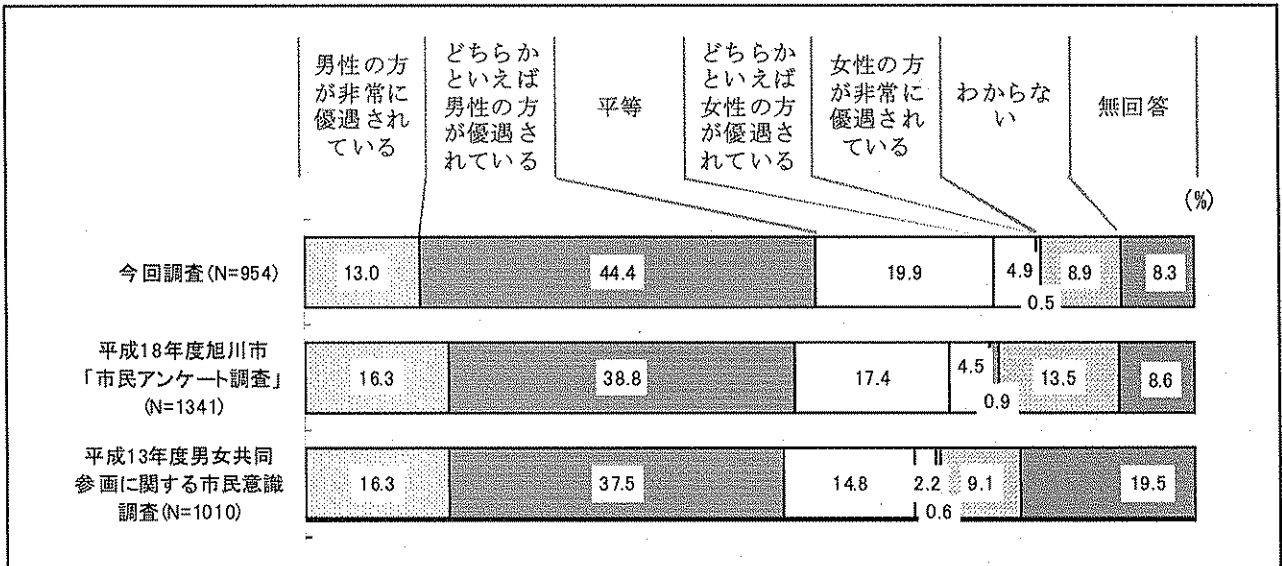
(4)「法律や制度上」における男女の平等感



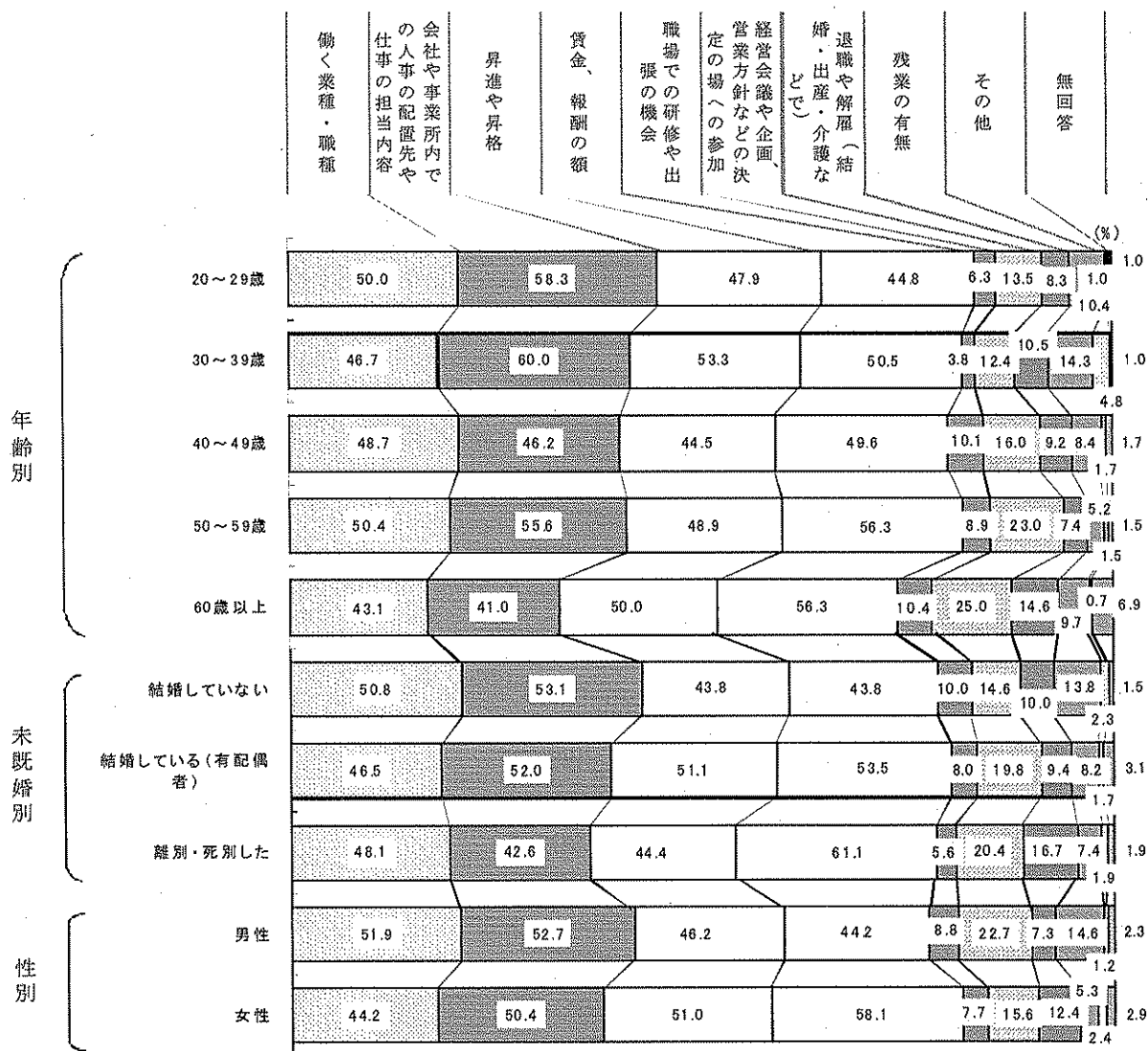
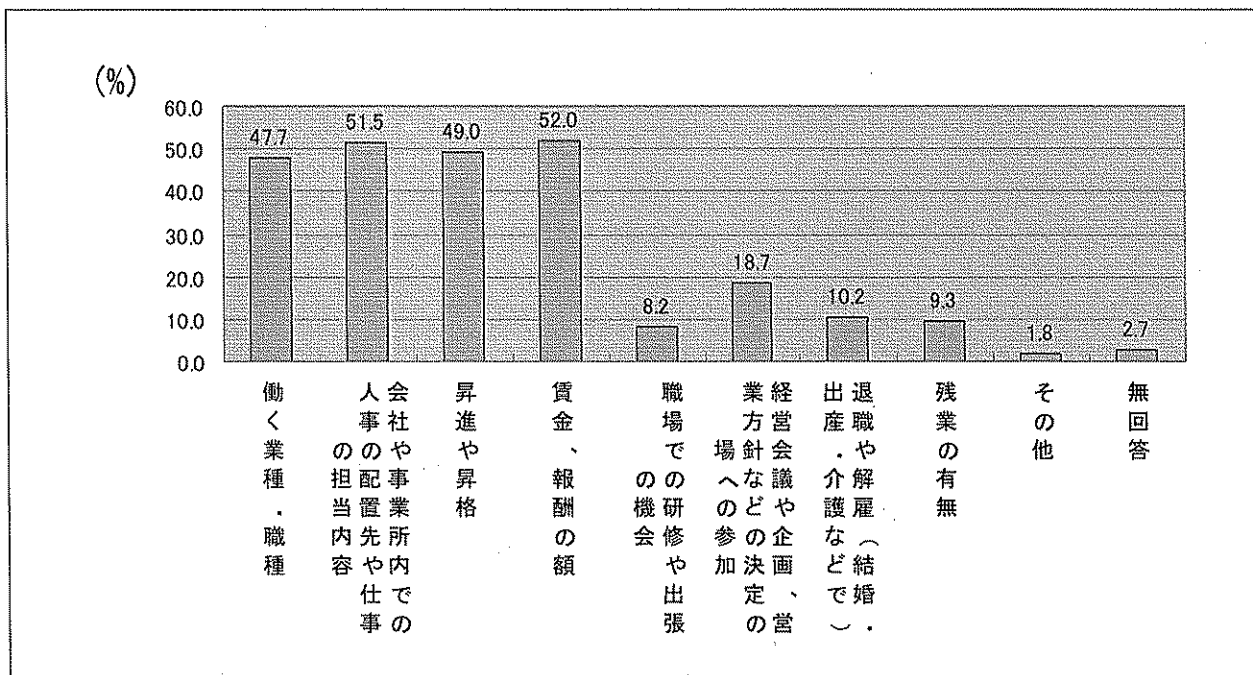
(5) 「学校教育の場」における男女の平等感

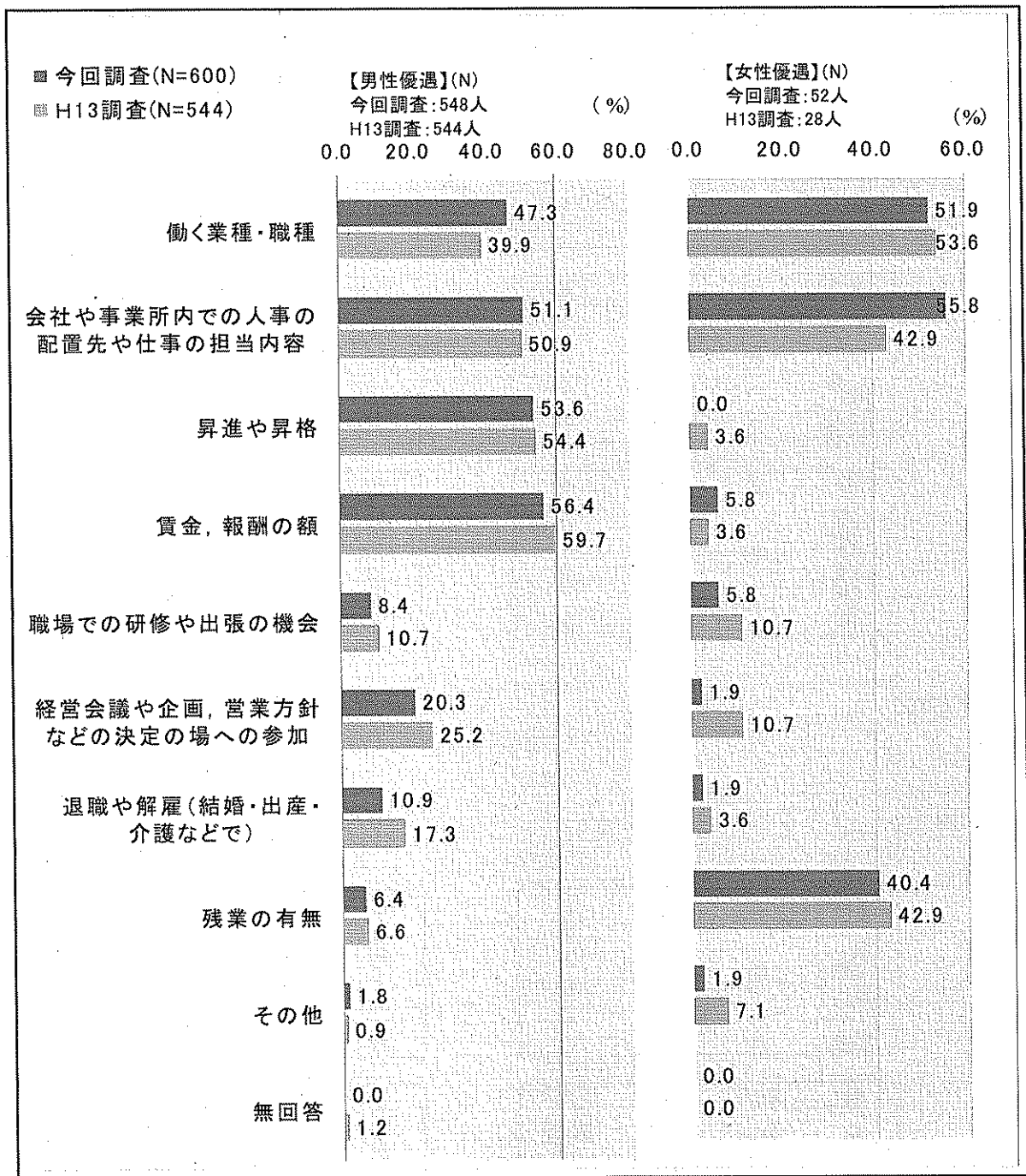


(6)「職場」における男女の平等感



問1-1 「職場」において、非常に優遇されている/どちらかといえば優遇されているのいずれかに回答された方におたずねします。  
 そう思う理由について、あてはまる番号に三つまで〇をつけてください。





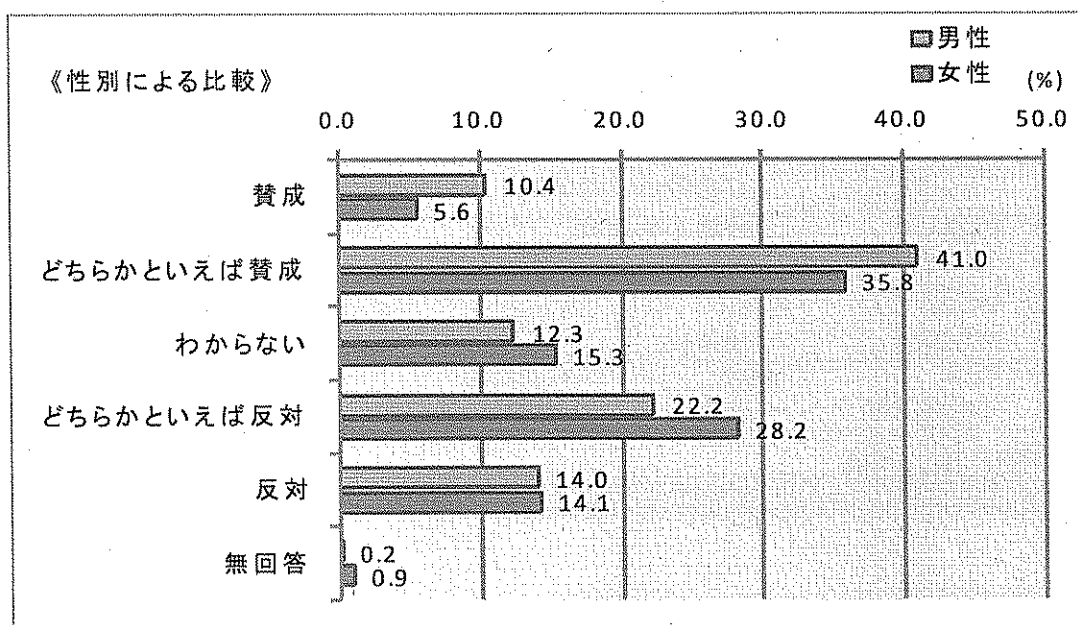
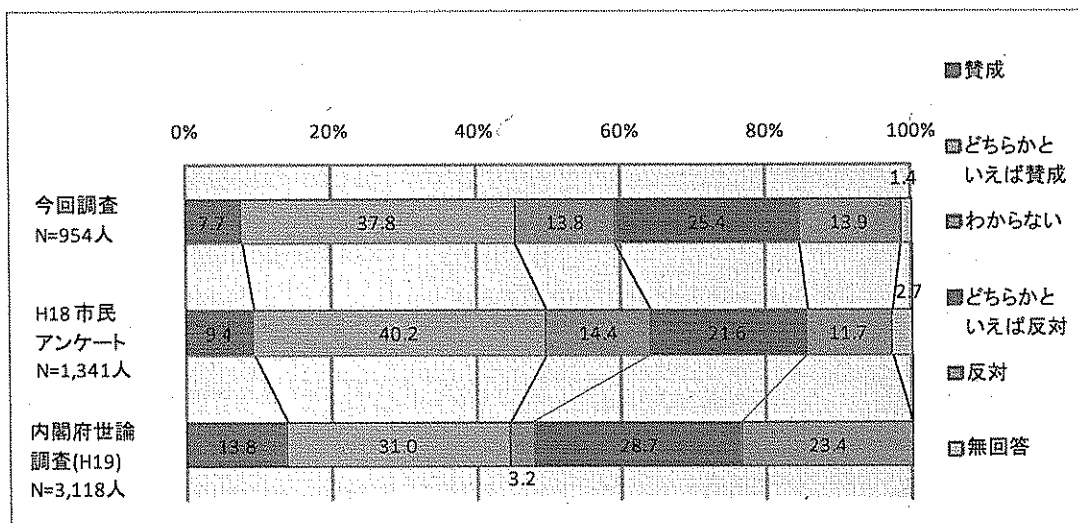
「職場において、どちらかが優遇されている」と回答した方は600人で、その内、男性が優遇されていると答えた方は548人で9割を超えている。

「男性が優遇されている」理由として、回答の多かったのは、「賃金や報酬の額」56.4%が最も高く、次いで「昇進や昇格」53.6%「会社や事業所内での人事の配置先や仕事の担当内容」51.1%の順になっている。

	男性優遇派 548人		女性優遇派 52人	
職種	259	47.3%	27	51.9%
人事	280	51.1%	29	55.8%
昇級	294	53.6%	0	0.0%
賃金	309	56.4%	3	5.8%
研修	46	8.4%	3	5.8%
企画	111	20.3%	1	1.9%
退職, 介護	60	10.9%	1	1.9%
残業	35	6.4%	21	40.4%
その他	10	1.8%	1	1.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%

## イ 性別にもとづいた役割分担意識について

問2 あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という性別にもとづいた家庭生活における役割分担の考え方について、どう思いますか。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。



「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という性別役割分担の考え方についてどう思うか尋ねたところ、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた回答は45.5%「どちらかといえば反対」「反対」を合わせた回答は39.3%となっている。

性別役割分担の考え方について男女別にみると、男性の51.4%女性の41.4%が「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答しており、男性の36.2%、女性の42.3%が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答している。

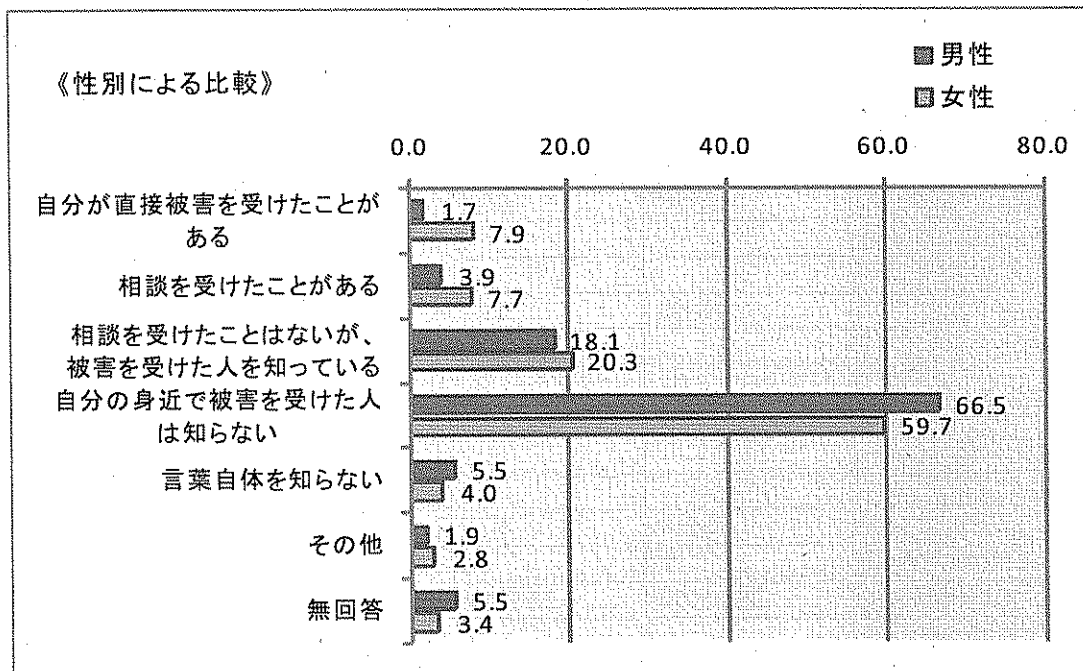
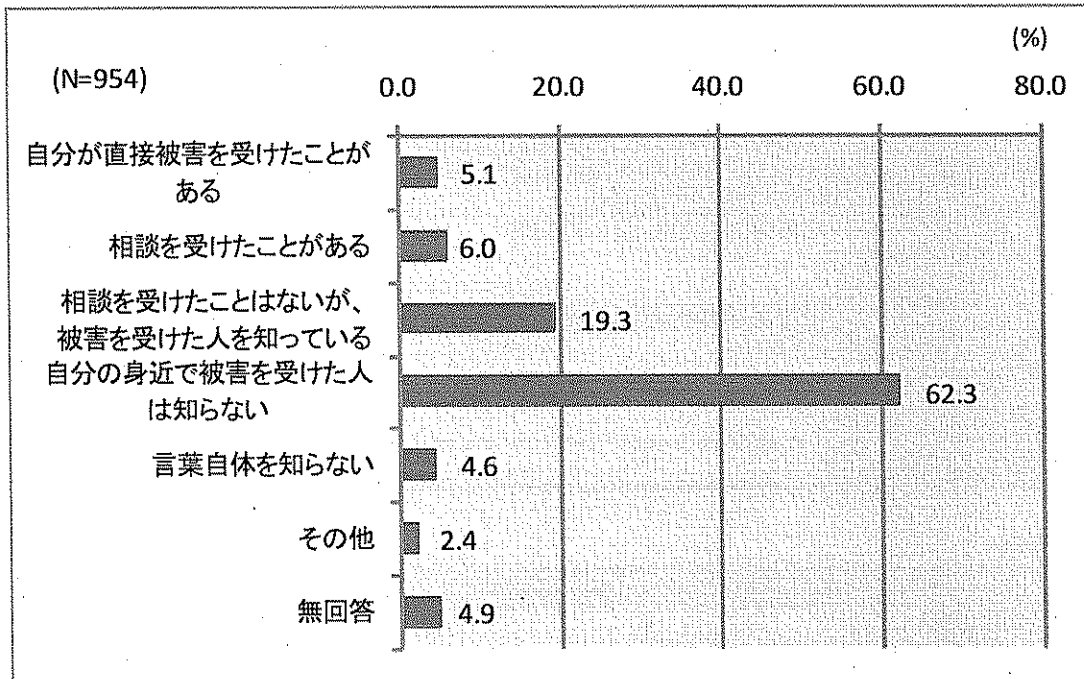


## II 男女の人権について

### ア ドメスティック・バイオレンス (DV) について

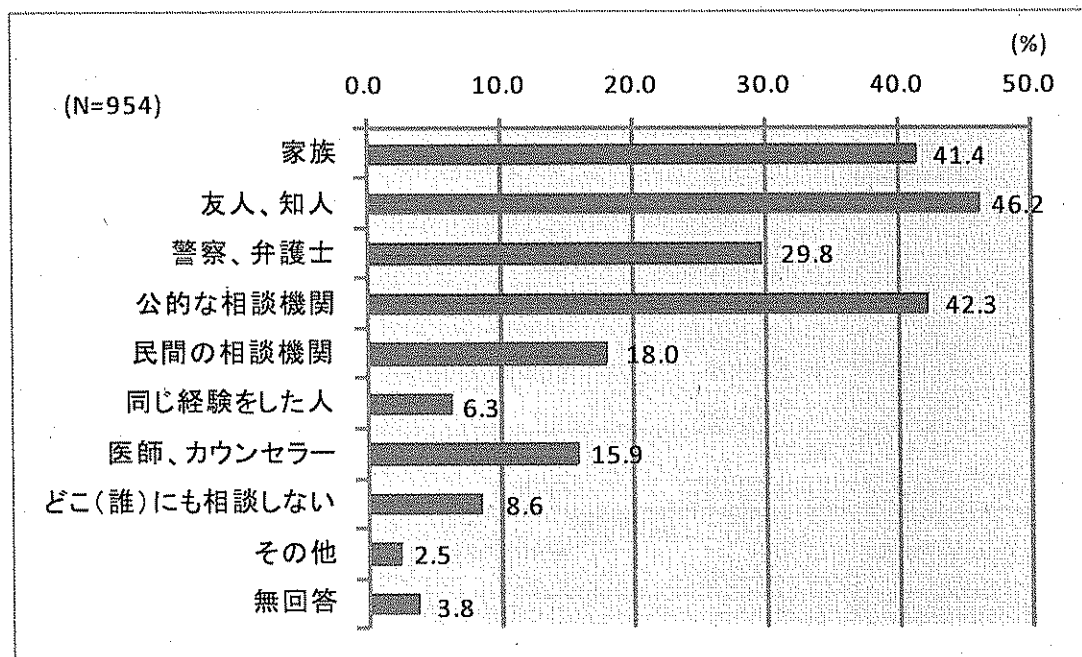
ドメスティック・バイオレンス (DV) = 配偶者等からの身体的, 精神的, 性的暴力

問3 ドメスティック・バイオレンス (DV) について, あなたは身近で見聞きしたことがありますか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



DVについて尋ねたところ, 約6割が「自分の身近で被害を受けた人は知らない」と答えているが, 女性の7.9%, 男性の1.7%が「自分が直接被害を受けたことがある」と回答しており, 「相談を受けたことがある」「相談を受けたことはないが, 被害を受けた人を知っている」と回答している割合はいずれも女性の方が高くなっている。

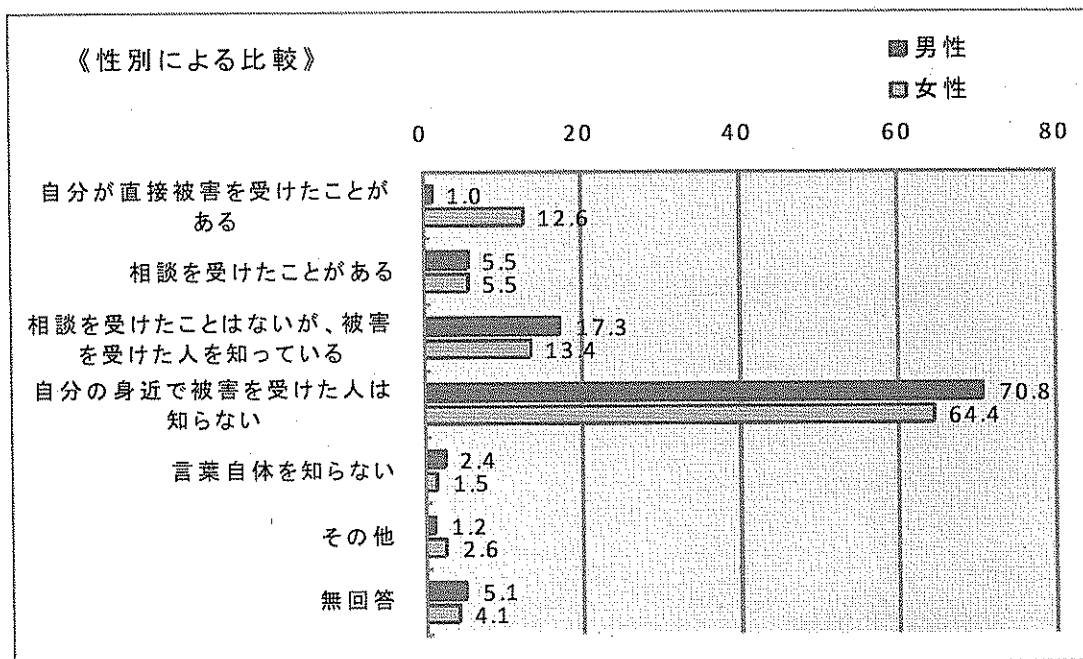
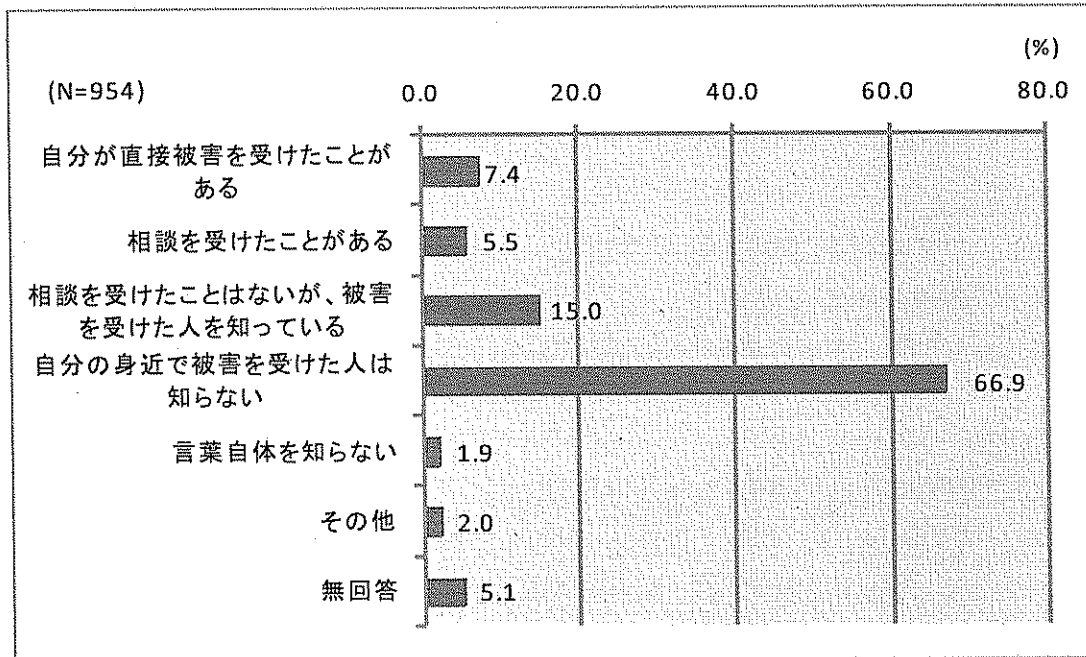
問4 もし、あなたがドメスティック・バイオレンス(DV)の被害にあったときは、どこ(誰)に相談しますか。  
 あてはまる番号に三つまで○をつけてください。



DV被害にあったときは、どこ(誰)に相談するかを尋ねたところ、「友人・知人」が46.2%、「公的な相談機関」42.3%、「家族」41.4%となっている。  
 一方、「どこ(誰)にも相談しない」が8.6%となっている。

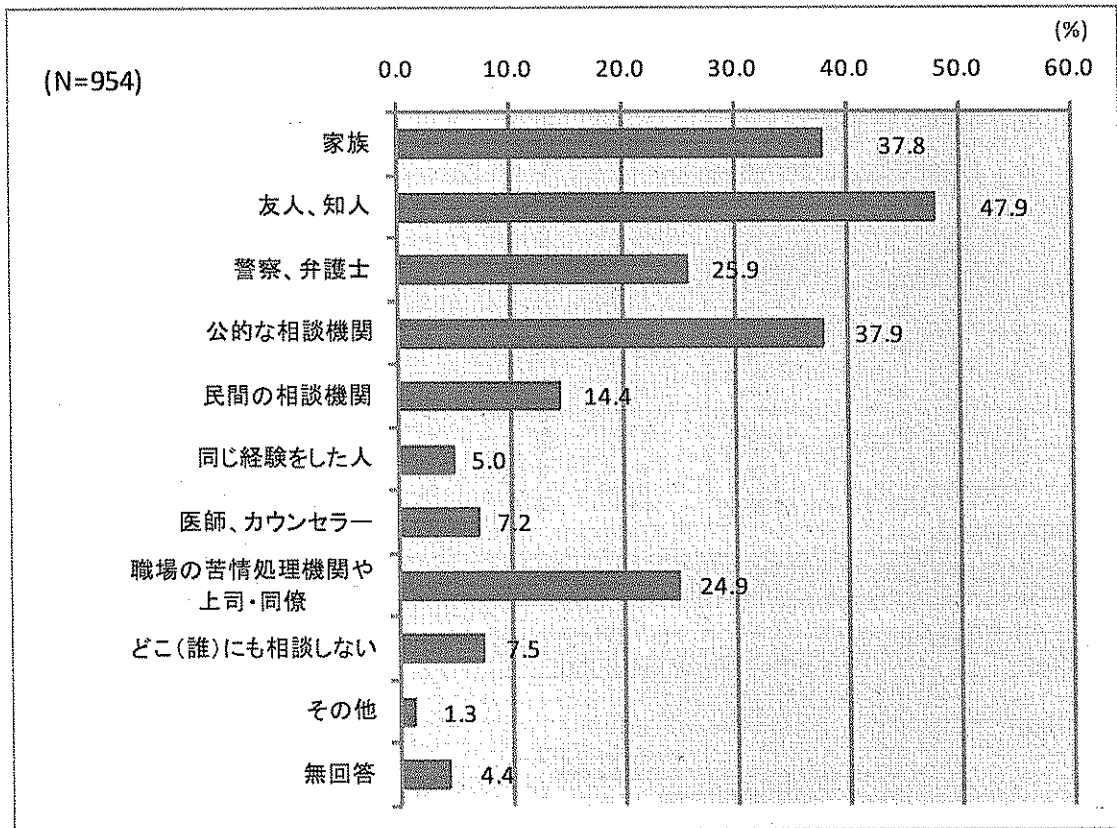
## イ セクシャル・ハラスメントについて

問5 セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について、あなたは身近で見聞きしたことがありますか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。



セクシャル・ハラスメントについて尋ねたところ、男性の約7割、女性の6割以上が「自分の身近で被害を受けた人は知らない」と答えているが、女性の12.6%、男性の1.0%が「自分が直接被害を受けたことがある」と回答しており、「相談を受けたことがある」は男女とも5.5%「相談を受けたことはないが、被害を受けた人を知っている」と回答している割合は男性で17.3%女性で13.4%となっている。

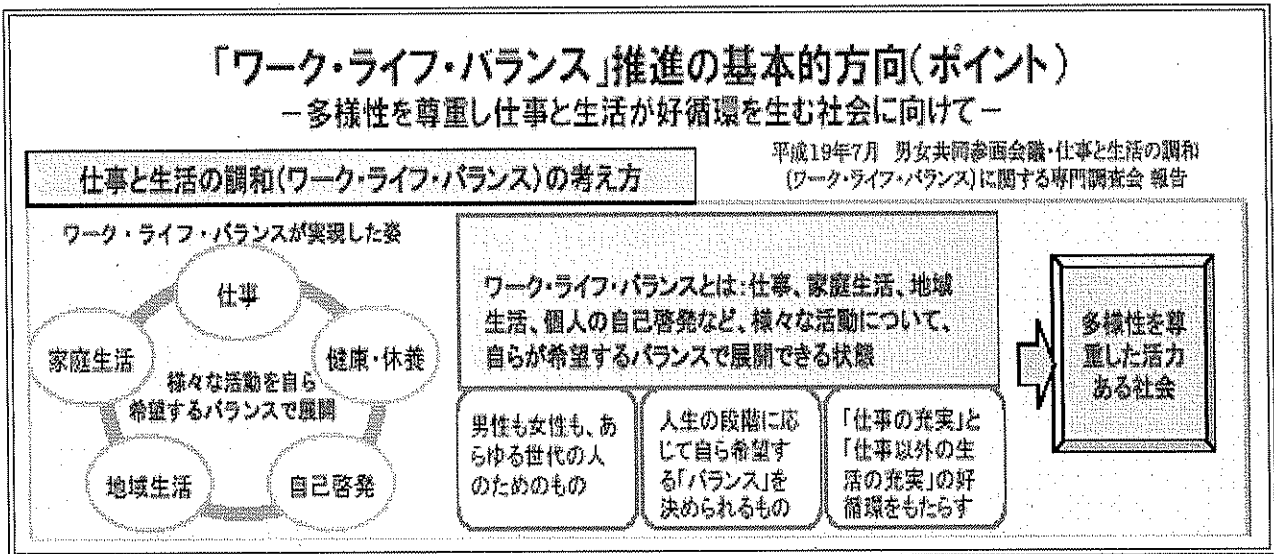
問6 もし、あなたがセクシャル・ハラスメントの被害にあったときは、どこ（誰）に相談しますか。  
あてはまる番号に三つまで○をつけてください。



セクシャル・ハラスメントの被害にあったときは、どこ（誰）に相談するかを尋ねたところ、「友人・知人」が47.9%「公的な相談機関」37.9%「家族」37.8%となっている。一方、「どこ（誰）にも相談しない」が7.5%となっている。

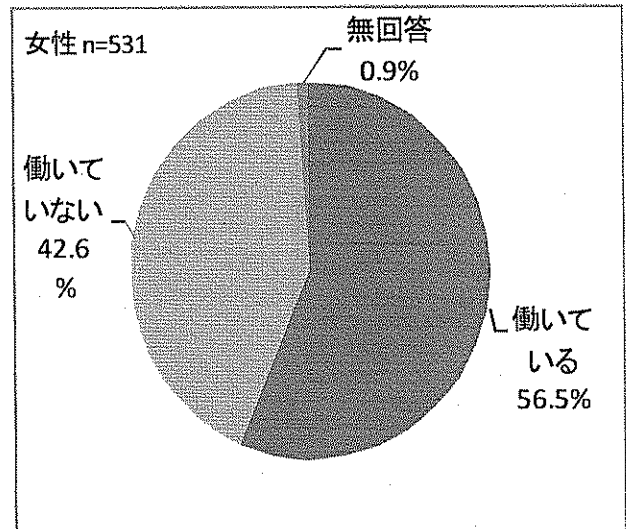
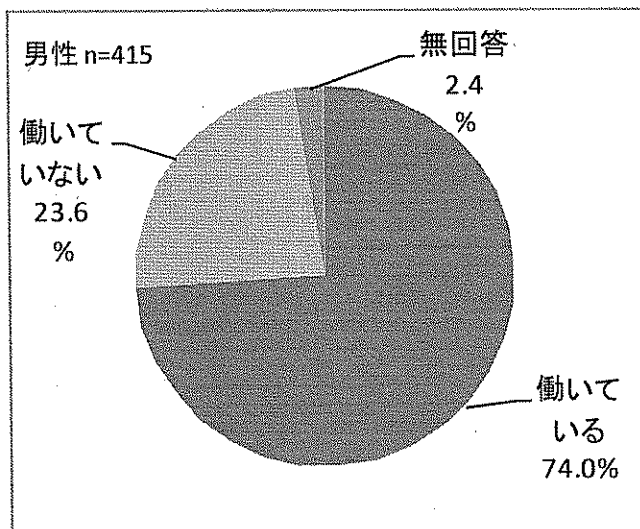
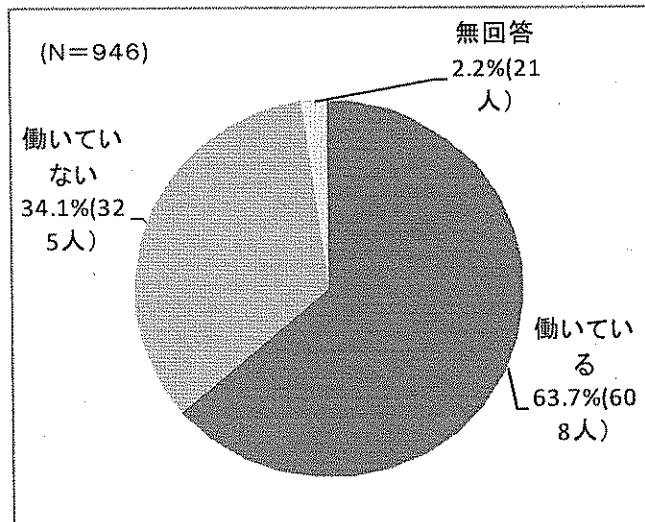
### Ⅲ 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について

■仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の考え方  
 下図をご覧ください、問7～問11の質問に回答してください。

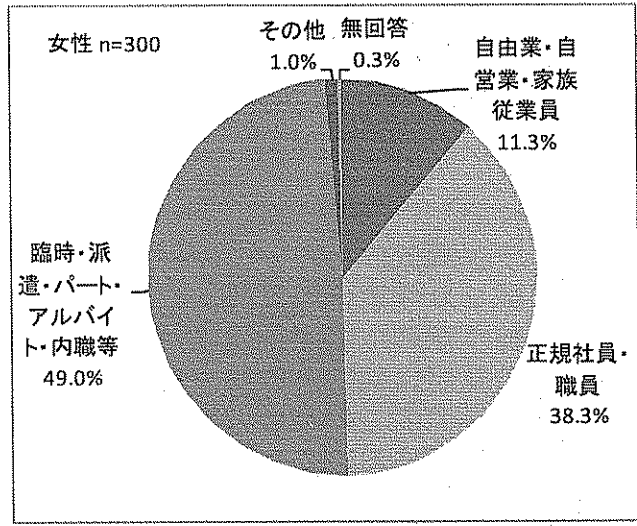
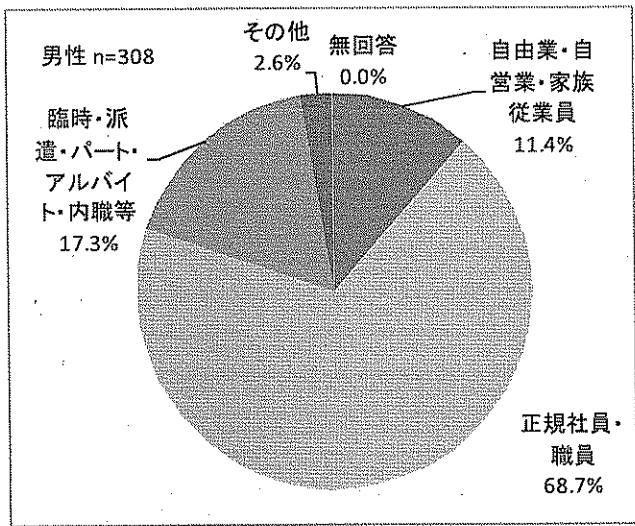
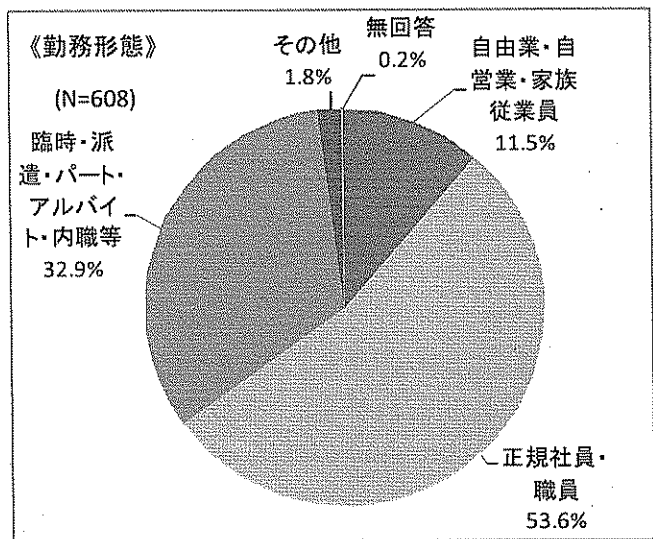


#### ア 現在の就労状況について

問7 あなたは現在、働いていますか。



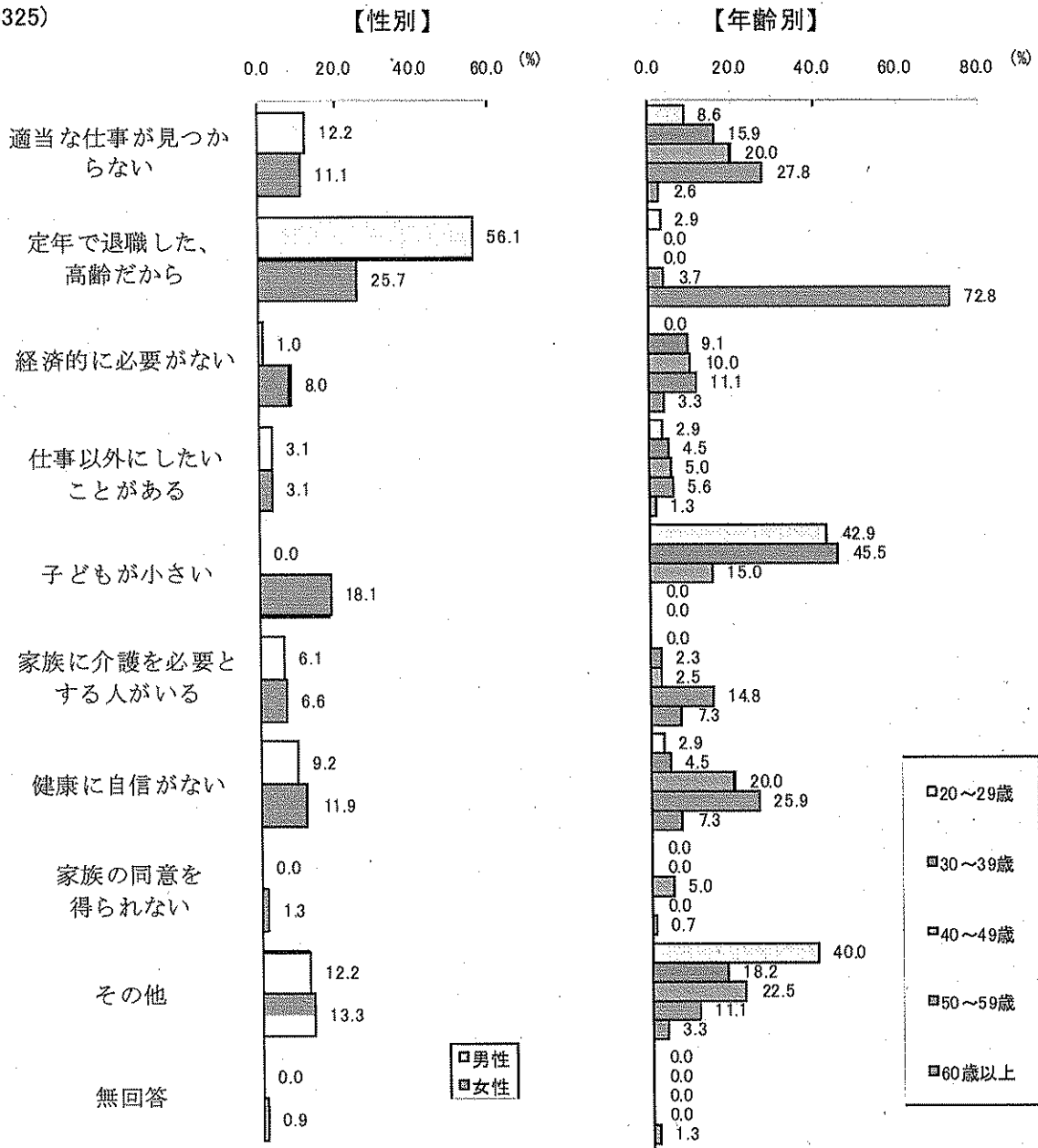
問7-1 あなたの仕事の勤務形態は、次のうちどれにあてはまりますか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。



現在働いている人(608人回答 うち男性308人・女性300人)の勤務形態について尋ねたところ、53.6%が「正規社員・職員」次いで、「臨時・派遣・パート・アルバイト・内職等」が32.9%、「自由業・自営業・家族従業員」11.5%の順になっている。  
 これを、性別で見ると、男性では「正規社員・職員」が68.7%、であるのに対し、女性では38.3%ととなっており、女性の「臨時・派遣・パート・アルバイト・内職等」は49.0%と、約半数を占めている。

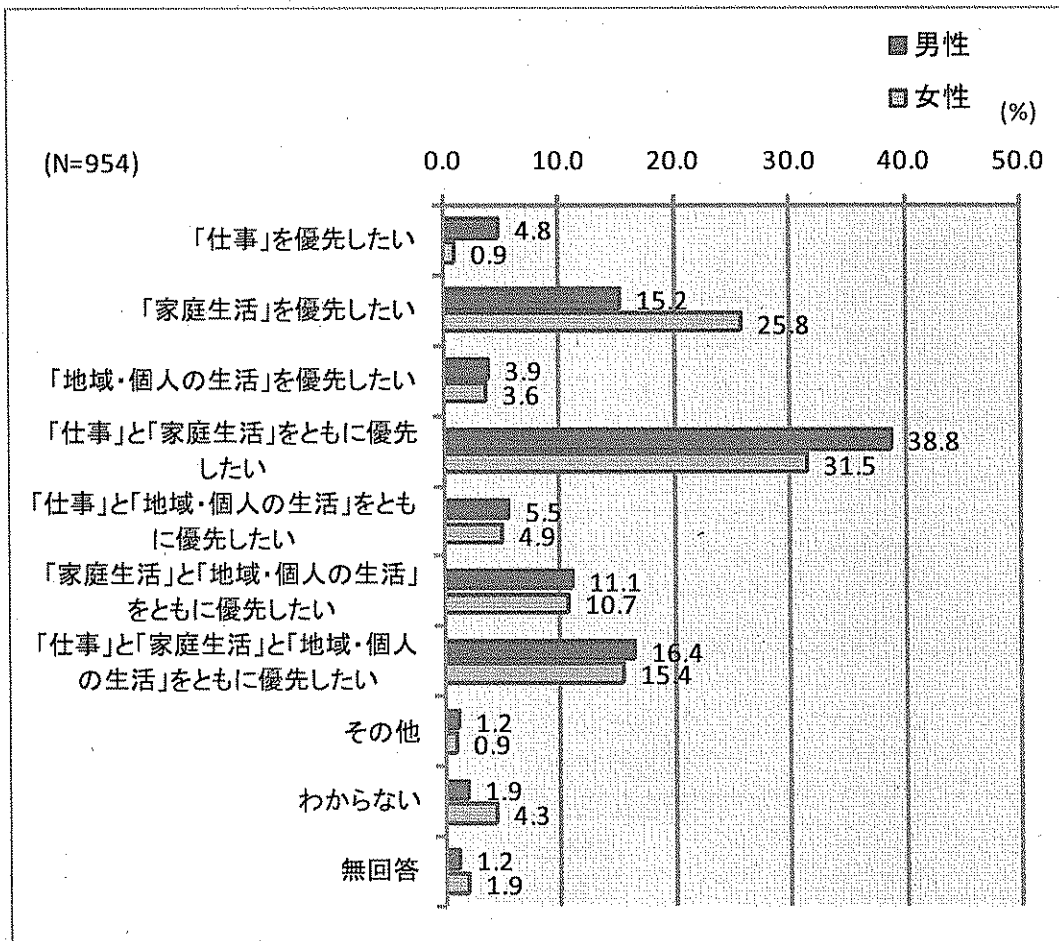
問7-2 あなたが働いていない理由は何ですか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

(N=325)



イ 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について

問8 あなたの希望するライフスタイルに最も近いものはどれですか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

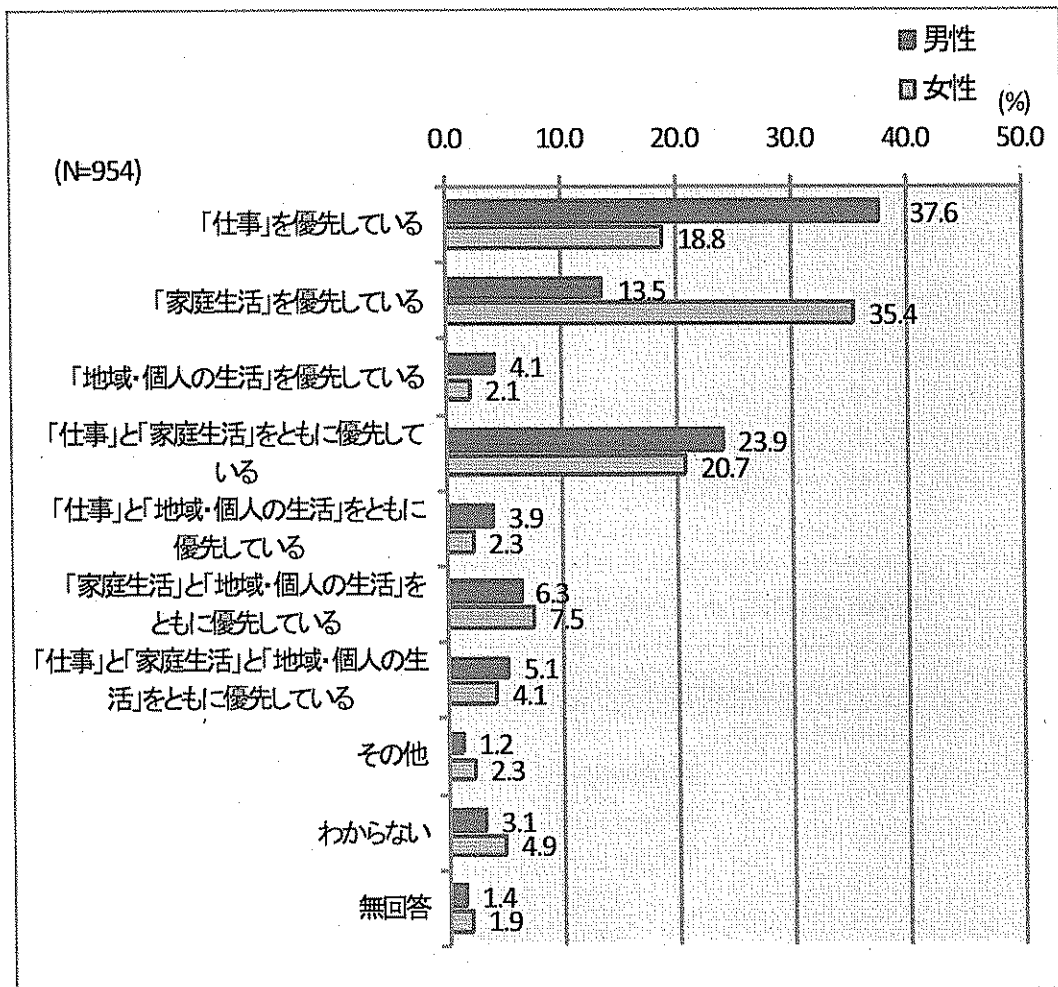


希望するライフスタイルに最も近いものとして尋ねたところ、男女とも「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も多い（男性38.8%、女性31.5%）

次いで、男性は「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」が16.4%、女性は「「家庭生活」を優先したい」が25.8%となっている。



問9 続いて、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

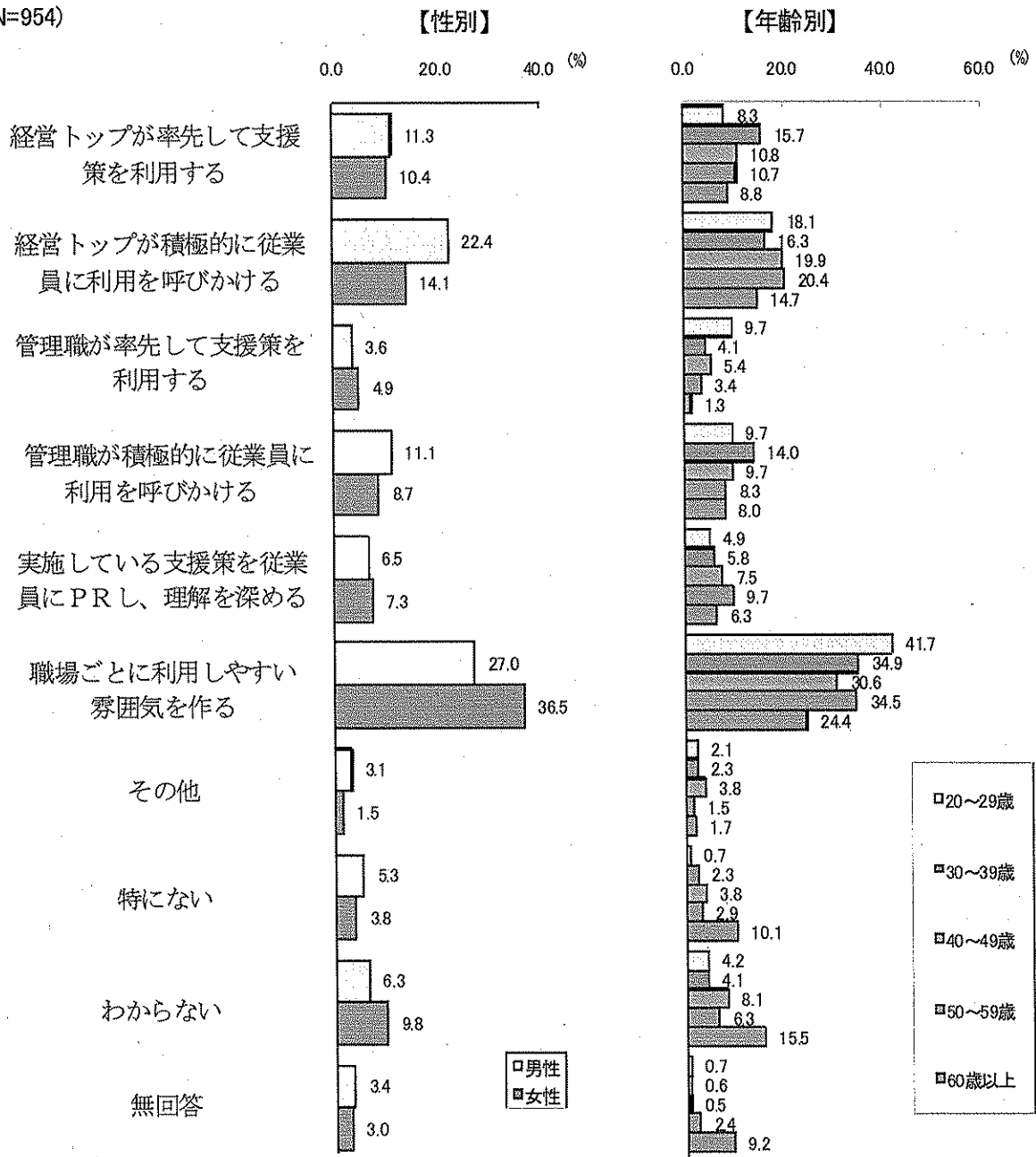


続いて、現実（現状）に最も近いライフスタイルを尋ねたところ、男性は「仕事」を優先しているが37.8%と最も多く、女性は「家庭生活」を優先しているが35.4%となっていることから、男女とも「仕事」と「家庭生活」をともに両立したいと答えているが、希望どおりになっていない。特に男性で、希望と大きく離れる形となっている。

ウ 企業等における「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取組について

問10 企業等において、ワーク・ライフ・バランスを推進（育児休業制度や短時間勤務制度の利用促進等）するために必要なことはどのようなことだと思いますか。あてはまる番号一つに○をつけてください。

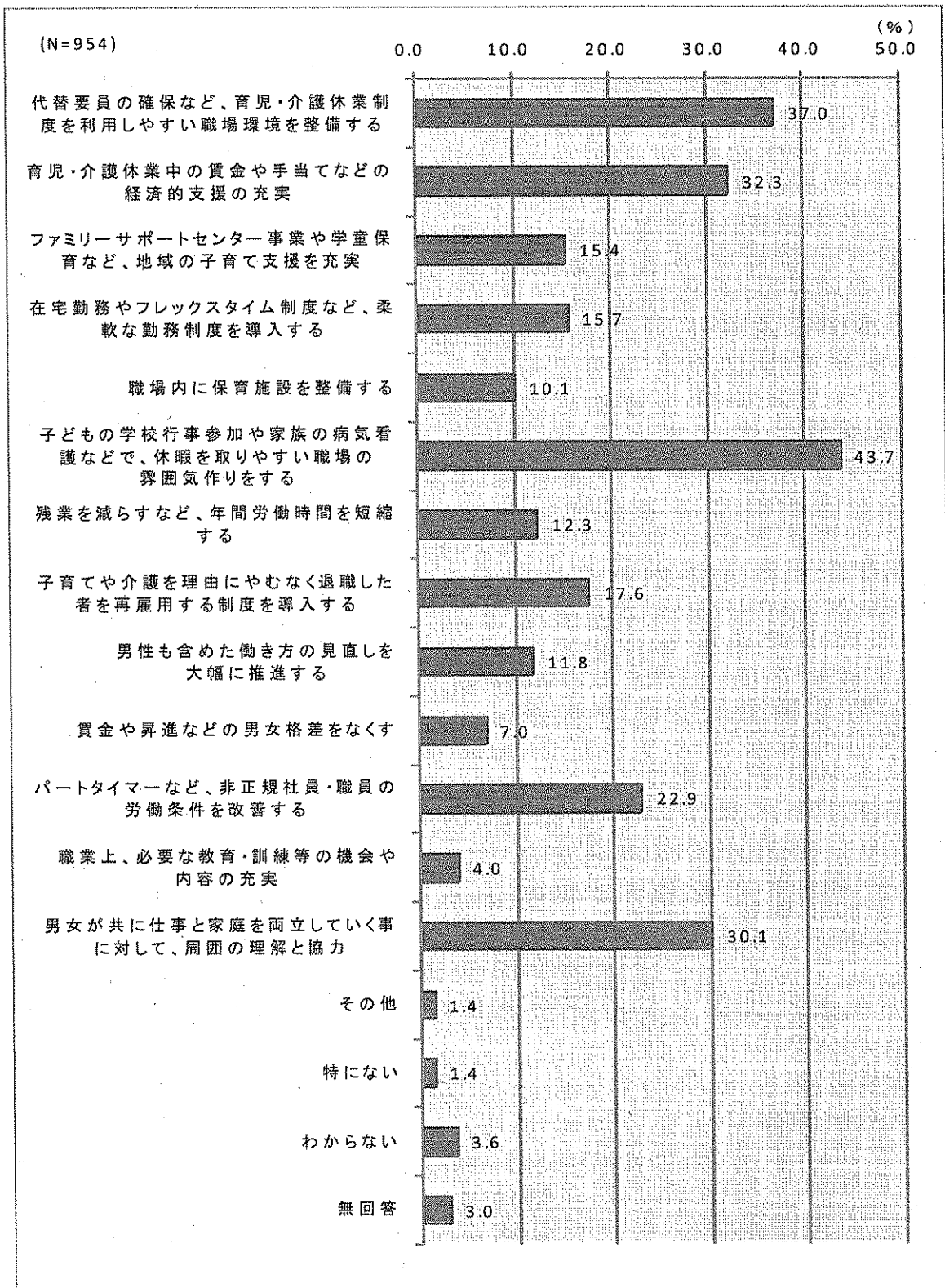
(N=954)



企業等において、ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要なことについて尋ねたところ、男女とも「職場ごとに利用しやすい雰囲気を作る」が最も多い（男性27.0%、女性36.5%）。次いで「経営トップが積極的に従業員に利用を呼びかける」「経営トップが率先して支援策を利用する」となっている。

## エ 仕事と家庭の両立支援について

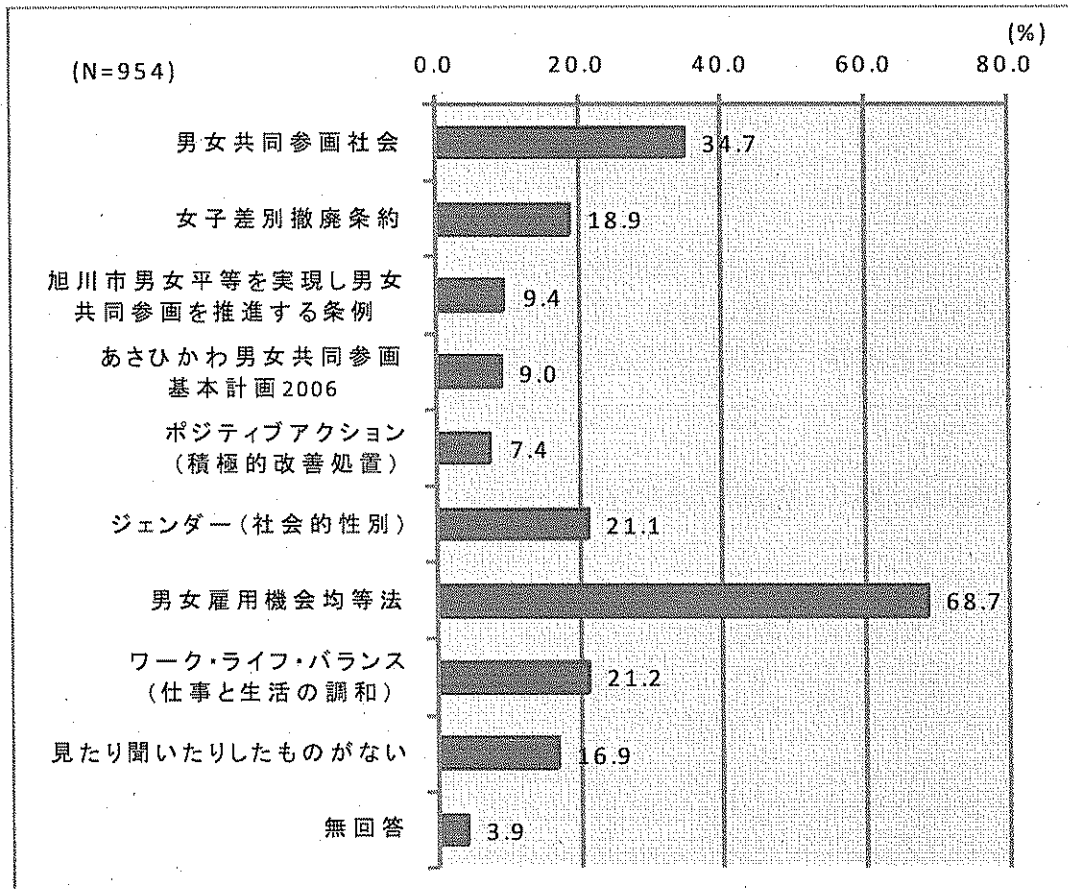
問11 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。  
 あてはまる番号に三つまで〇をつけてください。



男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要かと尋ねたところ、「子どもの学校行事参加や家族の病気看護などで、休暇を取りやすい職場の雰囲気作りをする」が43.7%と最も多くなっており、次いで「代替要員の確保など、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」37.0%、「育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援の充実」32.3%の順となっている。

#### IV 男女共同参画に関する法令等について

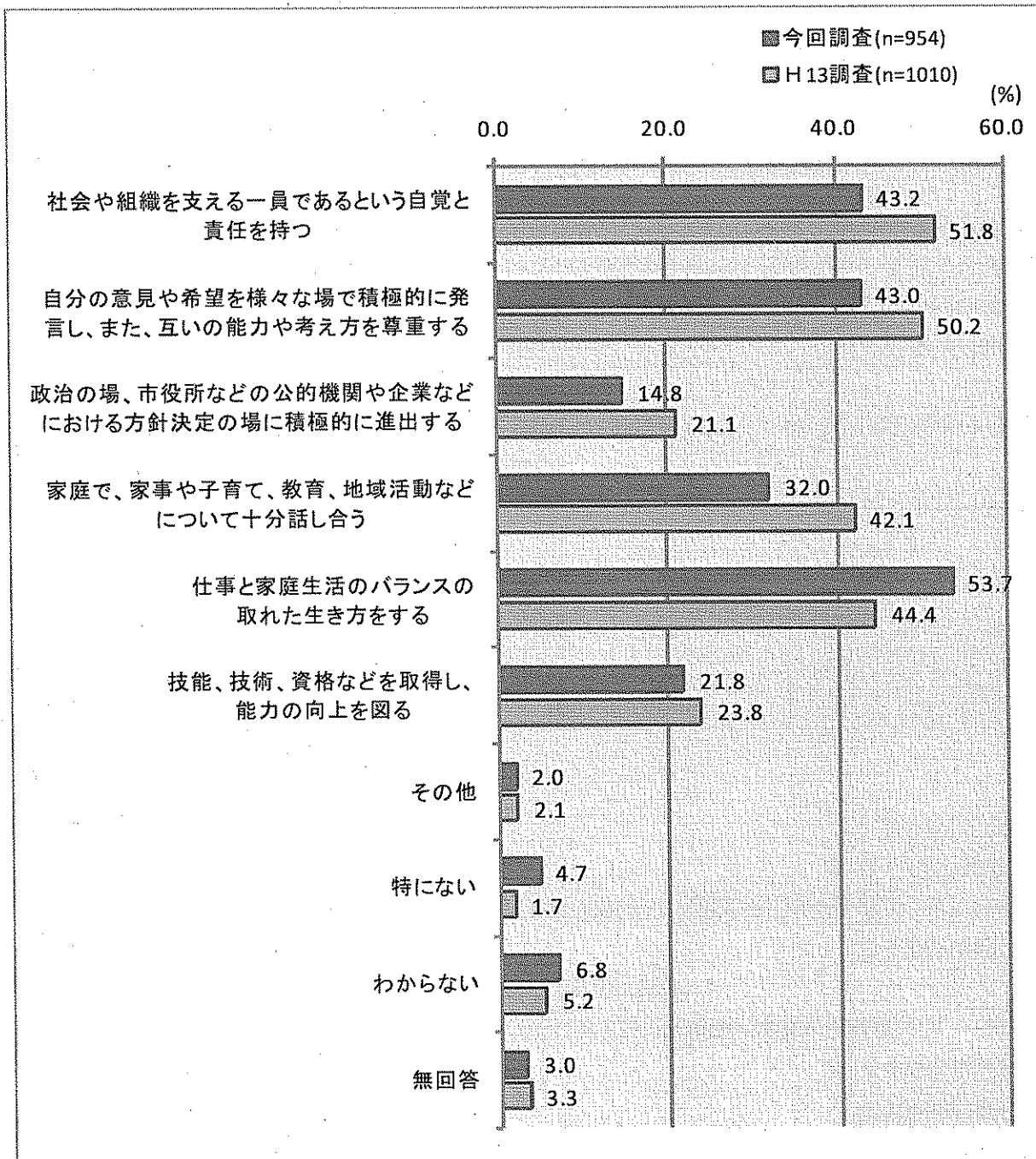
問12 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



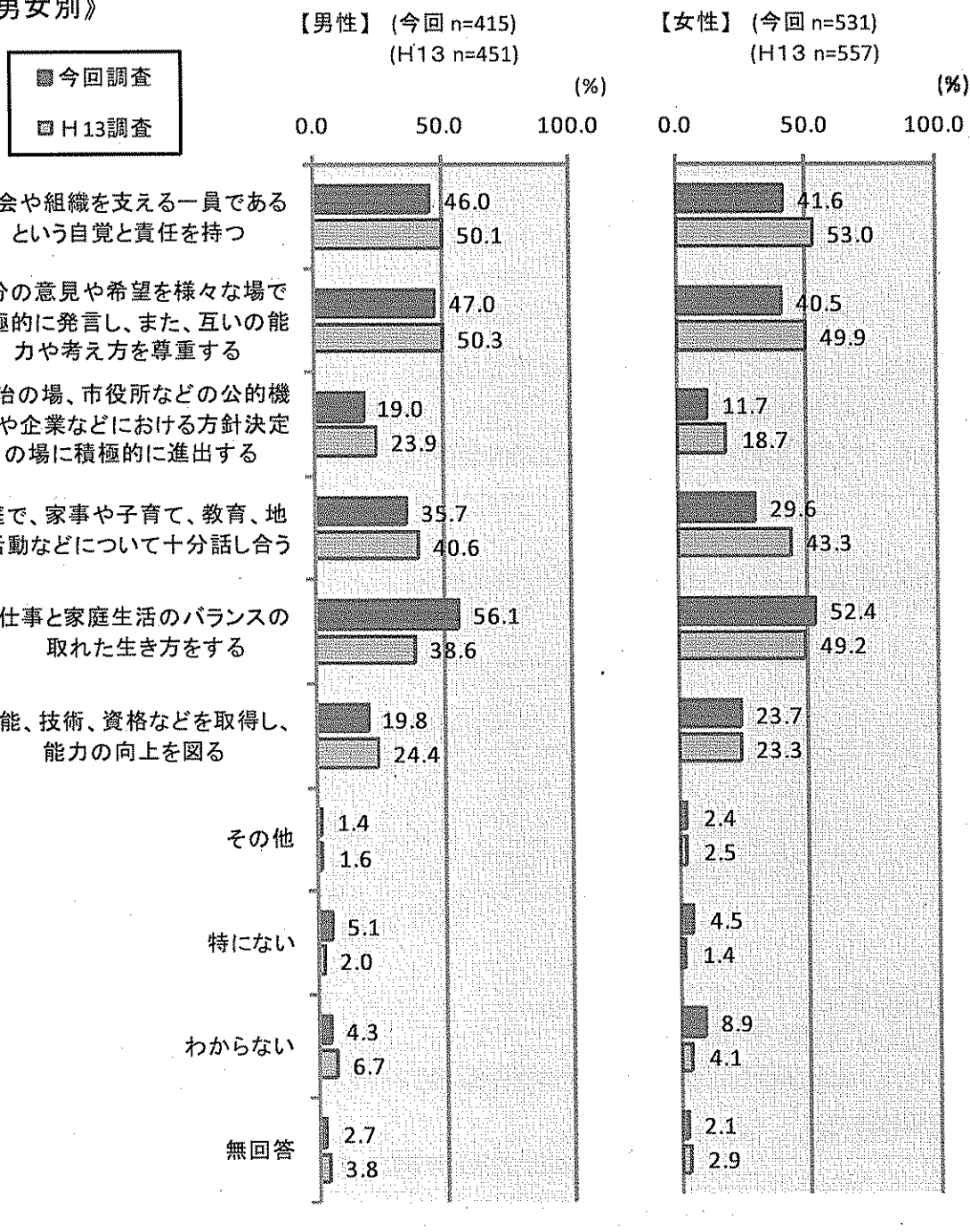
男女共同参画に関する言葉の認知について尋ねたところ、「男女雇用機会均等法」が68.7%次いで「男女共同参画社会」34.7%、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」21.2%となっている。

## V 男女共同参画社会の実現のために必要なことについて

問13 今後、あなたが、男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に、共同で平等に参画する社会（男女共同参画社会）を実現するためにはどのようにすることが必要だと思いますか。  
 あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

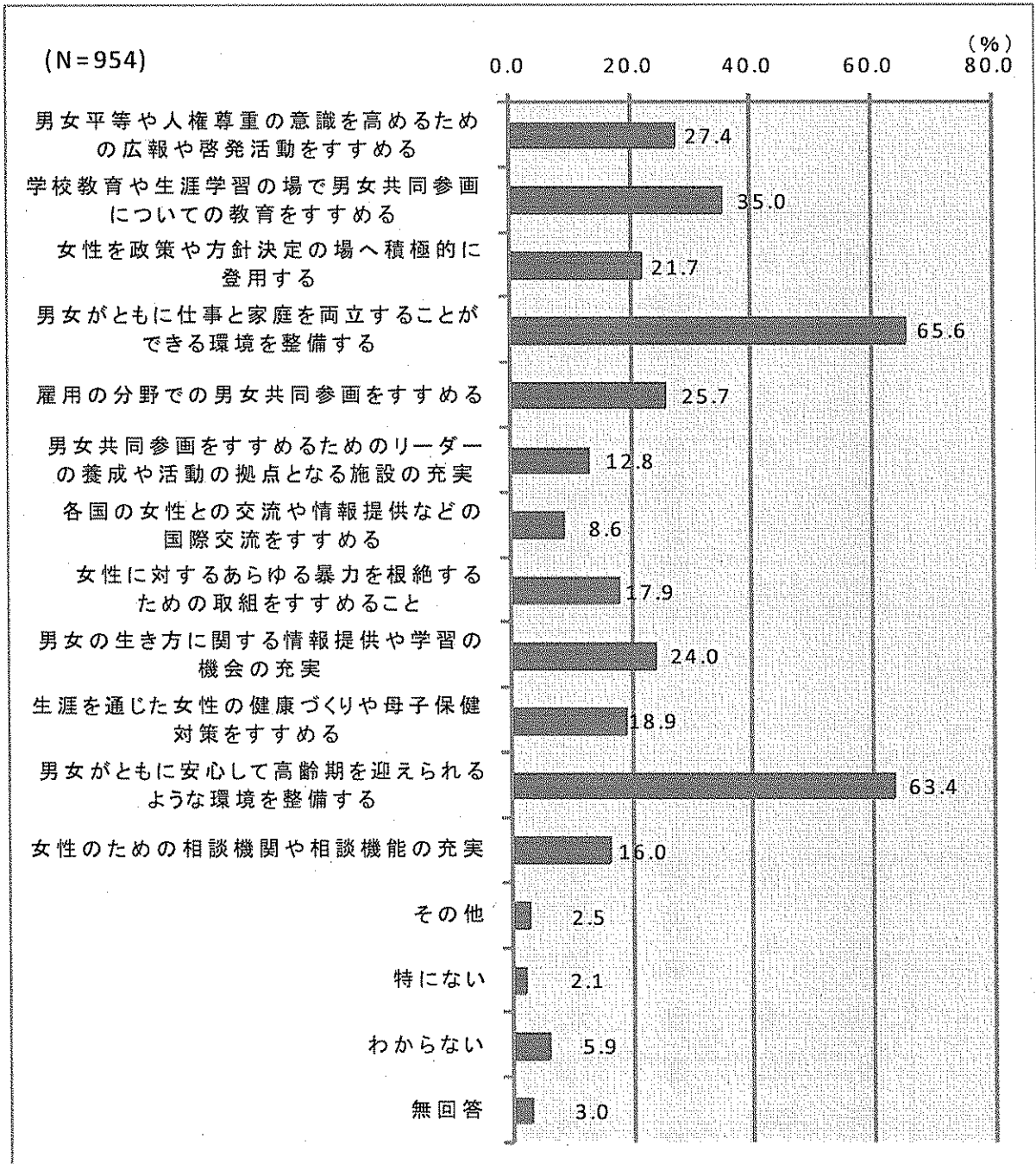


《男女別》



男女共同参画社会の実現に向けてどのようにすることが必要かを尋ねたところ、「仕事と家庭生活のバランスのとれた生き方をする」が53.7%と高く、次いで「社会や組織を支える一員であるという自覚を持つ」が43.2%、「自分の意見や希望を様々な場で積極的に発言し、また、互いの能力や考え方を尊重する」が43.0%となっている。

問14 それでは、市の施策として男女共同参画社会を実現するために何が重要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



市の施策として男女共同参画社会を実現するために何が重要かを尋ねたところ、「男女がともに仕事と家庭を両立することができる環境を整備する」が65.6%と最も多くなっており、次いで「男女がともに安心して高齢期を迎えられるような環境を整備する」63.4%、「学校教育や生涯学習の場で男女共同参画についての教育をすすめる」35.0%の順となっている。

## VI 自由意見

### 男女共同参画社会の形成のために

---

#### (意識の啓発、社会通念・慣習の見直し)

- ・男女共同参画は基本的には個人の意義の問題環境を整備することは重要だが、形ばかり整えても押しつけでは実は結ばないのではないか。(50歳代 男性)
- ・職場、社会において理解を深めること。そのためには、子供の時からの教育の場において男女共同参画の授業時間を持つこと。また、市、道、国でPR活動を推進すること。(40歳代 男性)
- ・役所が率先すべき。自分達が変わっていかねば何も変わらない(50歳代 男性)
- ・男女共同参画の推進といっても現実には浸透していないと思います。おそらく広報等の活動だけではなかなか意識は高まらないと思います。企業への働きかけや、情報提供等、学習できる、機会があればいいと思います。(40歳代 女性)
- ・早期に企業や地域社会にPRを。(40歳代 女性)
- ・今でも「男だから・・・」とか「女の子なのに・・・」と言う話が小学校でもある様ですが、実際の社会でその差別を無くす努力をしても、小さいときから知らず知らずに差別を受け入れていけば、せっかくの共同参画も定着しない。(30歳代 女性)
- ・男性の意識の低さには、親世代の考え方の影響を強く受けていることも否めません。(30歳代 女性)

#### (具体的な取組・手法について)

- ・職場等において、男女共同参画の必要性をディスカッションし、働く人たちに浸透させていくようにする。地域活動、またサークル活動の中にも情報の提供や学習の機会を作り、理解を深めていただく。より大切なことは、広報活動、啓発活動を行い、多くの方たちに理解をいただくこと。(50歳代 女性)
- ・男女共同参画を推進するためには、女性にも男性に対する理解と社会進出する上での基礎的な教育が必要と思う。若年世代には男女の理解の教育がなされ始めてるが、成年層へは特に女性への教育が必要。(40歳代 女性)
- ・男女にとらわれず協力し合う家族の在り方の変化、希薄化している現代では若い人達に社会性を育成させるためのセミナーを実施すべき。(60歳以上 女性)
- ・女性の立場が低いからと色々な点で補っていく、サービスを増加していくやり方から根本的に解決する方向性に移行する時期となっているのではないか。(30歳代 男性)
- ・市全体(大きな単位)で推進・取組むよりも、学校・町内会企業等の小コミュニティ



ー単位において活動・取組をおこなっていったほうがより身近に感じやすいのではないか。(30歳代 男性)

- ・男女共同参画という言葉は何となく分かるような気がしても具体的にどのようなことなのかははっきりと理解は出来ていない人達が多くいる。男女が平等に社会に参加していくためには、まず、環境を整えることが先。(40歳代 男性)
- ・今の社会は、女性がやはり不利な現状(社会的、職場)が多いので、母子家庭に対して安定する家庭環境を整えてもらえる社会を望む。(50歳代 女性)
- ・「理念」の啓発にとどまらず、幹部職員に女性の積極登用や女性のための相談窓口の充実など具体的でアピールの高いものを優先させて欲しい。(40歳代 男性)

## 仕事と家庭の両立のために

---

### (就労環境の整備～制度の定着・促進)

- ・子供は女性しか生めないのだから年休や産休を取ることで厄介者扱いされない職場作りを望む。(20歳代 女性)
- ・子供ができたなら育児休暇が取りにくい職場が多く、企業の方針では育児休暇を取れるとしても、職場の雰囲気ですりぬけるをえない人が多いと聞きます。それはやはり、周りの人の理解が少ないからであって、もっと周りの人が理解を深め、支えていくべき。(20歳代 男性)
- ・経営トップの方のさじ加減で社員は変わると思います。ワークライフバランスをもっともっと推進してほしい。(30歳代 女性)
- ・産休で一時職場を離れても産後、元の職場に復帰できる環境作りが大切。(40歳代 女性)
- ・私が住んでいたスウェーデンは、男女共同参画が非常に進んでいました。子育てに関しては、育児休暇中でも給料の8割は保障されていたので、皆利用しています。男性の育児休暇も、ほとんどの人が積極的に取っていました。会社も十分な理解があり、休暇を取るのが当然という雰囲気でした。外国と単純に比較することはできませんが、少しずつ意識改革を図っていくことが必要。(30歳代 男性)
- ・あらゆる職種に女性の進出が多くなってきて、今まで女性がいなかった職種でもがんばっているようです。(50歳代 男性)
- ・職場での育児、介護休業制度の導入が進んでいると聞きますが、まだ完全には普及していない。また制度が出来ても、それを実際に利用している人は少ない。利用しづらい制度であっては、せっかくの対策も意味がなくなってしまう。(20歳代 女性)
- ・職場で子供の件で休みを取りやすい環境を整えていってくれたり、職場仲間の協力や理解等が向上できるような社会体制を目指してくれたら、子供がいても男性や未婚の女性の方に遠慮なく同じ立場で働いていけると思う。(40歳代 女性)

- ・“休んでも代わりがいる”状況を作っておかなければならないと思います。しかし、人を雇うのは高い。仕事に穴を開けないようにベビーシッターを頼む人もいますが、日給より高くして利用できない。(20歳代 女性)
- ・子育てや介護などで休みが取れる環境づくりは絶対に必要。(30歳代 女性)
- ・昔に比べると、かなり平等に近い社会になりつつあるとは思いますが、雇用面、子育てにおける家庭内の役割、子育て支援施設の充実面などまだまだ男性と同じように働いていくためには、女性にかかる負担は多いと感じる。(30歳代 女性)
- ・現状では、旭川の企業を見てみると、管理職は50代・60代が多く、そういった方々には男女平等などといったものは意識をしても受け入れることは難しいのではないかと感じる。男女の平等を耳にするようになり何年もたっているが、職場での女性の立場はあまり改善されていないように思う。(20歳代 女性)

#### (子育てサポート体制の充実)

- ・近年できたこども緊急さぼねっこのような事業は特に仕事をする上で重要。(30歳代 女性)
- ・ファミリーサポートセンターの育児会員になりたいと思っているが、説明会になかなか参加できない。育児会員の常時受付やインターネットによる受付をして頂けると助かる。利用しやすい制度にしてほしい。(30歳代 女性)
- ・やはり子供が多いほど、生活は苦しい。例えば保育園ではおなじ保育園に兄弟が通所した場合、4分の1や無料になるが、我が家の4男は38,000円を支払っている。兄が大きい程、教育費がかかるのに何故か。また、子供が病気になったとき、病児保育園を利用しているが、小学校からは利用できない。ファミリーサポートや緊急ネットは1時間700円~1,000円×8時間=8,000円/日と高額な支払いが必要となる。母親が安心して働けるよう、本当に子供を産んで良かったと思う社会にしてほしい。

#### (40歳代 女性)

- ・サポート人材バンクを充実させて、「育児中の母親」を雇用した際にバンクの情報を提供する、もしくは「リスクのある人材を雇用した場合の補助金を出す」等、会社が自らリスクを背負わなくても良いような状況にすれば、育児中の母親を雇用する会社も増えるのではないか。(20歳代 女性)
- ・女性も社会に出て仕事をしたいが子供を預ける場所がない、あっても保育料が高い等の問題があります。仕事と家庭が両立できる環境があれば働く女性は増えるはず。保育料を安くしてほしい。(40歳代 男性)
- ・夫が自営業だったりする場合にも、育児休暇に値するような支援がほしい。(20歳代 女性)
- ・育児休暇等への各企業の支援が足りない。(20歳代 男性)
- ・男性の職場ももう少し子育てに協力していただける体制を取っていただかなくては共働きが出来ません。もう少し認可された保育園が増えたり女性が働く職場に子供を見ていただける環境が出来れば良い。(20歳代 女性)

- ・家族の中で、夫と妻が働くということはそれだけ子供に負担がかかってくる。市内にもっと自由に時間、土日など関係なく預けられる施設を求める。(40歳代 女性)
- ・子供を育てることが社会にとって一番大事なことなので、なにかあった時すぐに対応できるように社会でサポートしてあげられたらと思う。(40歳代 女性)
- ・子育て、教育という面から考えると、共同参画に力を注ぐよりも、国家、自治体は家庭における子育て教育の部分に目を向け、サポートしていただけるようなサービスを充実していただきたい。(40歳代 男性)

#### (多様な雇用ニーズ)

- ・子供が小さいとなおさら企業での受け入れは難しいのも現実。正社員を希望してもなかなかなく、パートで働いても有給などあってないようなもの。(40歳代 女性)
- ・パートの労働条件について、正社員と同じ仕事をしていて待遇が低い不平等感は改善した方が良い。(60歳代 女性)
- ・女性の場合、子供が小さい時の就職を探すのが困難である。現状を打開するのが平等ではないか。(30歳代 男性)
- ・色々な会社の協力で内職がもっと増える事があれば子供の側に居ながらわずかでも収入を得ることができたり、会社に子供を預ける場所があったり子育て中のお母さんがもっと積極的に仕事が出来たらと思う。(30歳代 女性)
- ・職場では、結婚すると色々な手当がカットされている。(住宅手当、寒冷地手当等)夫よりも収入が多い妻の場合も、世帯主に妻がなることは許されず、賃金に相当な差が出る。女性の育児休暇中などの賃金の支払いもしっかりと保証してほしい。なかなか子供を産もうという意識になりづらい。(20歳代 女性)
- ・子供を産むのは女性であり、子育て(幼少時)でも女性の方が適任であるため仕事を続けてもフレックスタイム制や勤務時間を減らす制度を利用すると、どうしても男性と同じ昇給や昇進は望めません(理由があっても同じだけの仕事が出来ないから)。その分を少子化が深刻になっている今、市で補助してもらえれば様変わって欲しいと思います。(20歳代 女性)
- ・子供を産んで働く為には子供を預けなくては行けなく、その為にはとてもお金が必要。パートタイマーの収入では無理。(30歳代 女性)
- ・直面している格差社会の中で、結婚できない人々、結婚しても子供を持たない、持たない人々がまちがいなく増加している。家庭を営むための最低限の経済力を得られる賃金体系にならなければ、少子化がどんどん進むでしょう。(50歳代 女性)

## その他

---

### (男女の平等について)

- ・男女はすべて平等である必要があるのか。仕事や家庭においてそれぞれの役割分担があり、すべてにおいて同じに参加できるとは思えない。例えば育児はしっかりと自分の子供をみつめ、成長を手助けしたほうが良い。(40歳代 女性)
- ・平等というよりも、お互いがしっかりとお互いを理解し合い、仲良く1つの物事に取り組める機会を作ることが共同参画への近道。(20歳代 男性)
- ・男は男、女は女と適性をいかしお互いに尊重しあい助け合うことこそ本当の平等な社会と言えると思う。(40歳代 女性)
- ・男女平等とか男女共同参画と言う言葉が先行してなぜ共同参画が必要なのかと言う意味が表面に出て来ていないため、女性の権利ばかり主張するようになり、本来何千年の歴史の中から生まれてきた男女の役割、体質、知力、心理面を考えて人間として差別が無い。精神的差別が無いかを見ることが大切で、持って生まれた性質、性格を生かすより、権利だけを見つめている。(60歳以上 男性)
- ・女性が男性と何から何まで同じとは思わないがそれぞれ持っている特徴や長所を伸ばしつつそれぞれが役割を持って生活出来れば良いと思う。(40歳代 女性)
- ・男性と女性が平等……。私にはよくわかりません。職場、家庭、政治……。どの場においても、人間として平等ならいいのではないのでしょうか。男と女には生まれ持った違いがあるのですから。(30歳代 女性)

### (女性の意識改革について)

- ・言葉の表面的なことに踊らされ、次世代の子供を手間をかけしっかりと育てることを忘れてはいないでしょうか。ここ4~5年の若い親御さんには感心出来ない考えの人が多そうですね。自分さえ良ければいいと思うような考えしか出来ない女性の社会進出を煽るのはいかがなものでしょうか。(50歳代 女性)
- ・女性が社会に出て行くうえでまだまだ不十分な点が多く、結婚の有無にかかわらず、年齢についても制限があったり、女性側にも仕事について責任能力が低かったりと足りない点もいっぱいあると思う。(40歳代 女性)
- ・男女共同参画の推進により、益々態度だけ立場だけ進出して行っては困るのです。男性と共に働くのなら全く同じように仕事をしてもらわないと家庭にいる私達はともこの企画に賛成できない。(50歳代 女性)
- ・男女共同参画については基本的には賛成ですが、現在は残念ですが、特に進出している女性の中には政治力をバックボーンに強引に進めるタイプの方が多いように思える。(50歳代 男性)
- ・身勝手な人間、自己中心的な若い女性が増えている現実を見る事が多く、男女共同参画社会を益々遠いものにしていくのは女性自身の側にあるような気がしてならない。(60歳以上 女性)

考 察

## 調査結果から

### 回答者の属性

このたび実施した市民意識調査においては、無作為抽出による市民2,000人(男女各1,000人)に協力を依頼したところ、47.7%の回答を得ることができたが、平成13年に実施した同調査の50.5%を若干下回る回収率となった。

回答者の属性をみると、まず男女別では、女性が55.7%、男性が43.5%という内訳となり、回答者の割合に男女差が見られた。

また、年齢による回答者の割合では、30歳代、40歳代、50歳代は、約20%前後であるのに対し、20歳代は約15%、60歳代以上で約25%の回答であり、若年層の回答は若干低かったが、全体的に平均して回答が得られたと思われる。

### 1 男女の役割や地位に関する意識について

#### 【男女の平等感について】

社会生活の中で男女平等の推進状況を測るため、「家庭生活の場」「政治の場」「社会通念、慣習、しきたり」「法律や制度上」「学校教育の場」「職場」の分野で、男女の平等感について尋ねたところ、『男性優遇派』(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせたもの)が①「社会通念・慣習・しきたり」(69.1%)②「政治の場」(68.9%)③「職場において」(57.4%)の順で高い状況にあった。特に女性からの回答で顕著であったのは「政治の場」(77.1%)「社会通念・慣習・しきたり」(75.9%)で、『男性優遇派』との回答をしており、不平等感が強い分野であることがわかる。

このことから、「学校教育の場」以外では、古くからの役割分担意識などが根強く残っていると考えられ、各分野で男女が平等意識を高めるため、社会全体での男女共同参画社会の重要性を理解する機会を拡大していくことが必要である。

#### ★ 職場においてどちらかが優遇されていると答えた方★

回答者は600人(男性260人、女性339人、不明1人)のうち、男性が優遇されていると答えた方は548人で、9割を超えている。

平成13年度の調査と比較しても、男性優遇との回答が多かったのは①「賃金・報酬の額」②「昇進や昇格」③「会社や事業所内での人事の配置先や仕事の担当内容」の順で、いずれも50%を上回っている。女性が優遇されているとの回答では①「会社や事業所内での人事の配置先や仕事の担当内容」②「働く業種・職種」③「残業の有無」であり、平成13年度の結果とほぼ同様の結果であったことから、就業環境での男女共同参画については、男性も含めた働き方の見直しを具体的に推進するなど、積極的な改善に向けた取組が必要である。

#### 【性別にもとづいた役割分担意識について】

男女共同参画社会の実現の阻害要因の一つとされる、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という性別にもとづいた家庭生活における役割分担の考え方に対して「賛成派」が45.5%と、「反対派」39.3%を上回る状況にあり、今なお、固定的性別役割分担意識が根強く残っている現状が調査結果からうかがえる。

特に、「賛成・どちらかといえば賛成」をあわせた、『賛成派』は、60歳代以上で、男性で63.2%、女性54.9%と、半数以上を占めており、性別による役割分担意識に、依然として強くとらわ

れていると考えられるが、20歳代での「反対・どちらかといえば反対」をあわせた『否定派』が男性で51.7%、女性48.9%と、若年層では、役割分担意識の固定観念が薄らいできている状況であることから、年代・性別によって、大きな差が見受けられ、それぞれの意識格差の解消に向けた取組が必要である。

## 2 男女の人権について

### 【ドメスティック・バイオレンス (DV) について】

ドメスティック・バイオレンス (配偶者等からの暴力) については、DV防止法ができて、7年を経過し、これまで被害者支援を有効とするための見直しが行われ、多くのメディアを通じ周知されてきたところであるが、依然として「自分が直接被害を受けたことがある」「相談を受けたことがある」「相談を受けたことはないが、被害を受けた人を知っている」との回答から、身近なところにもDV被害者がいる実態がわかった。

DVの多くは、家の中で行われ、隣近所などからは、わかりにくいことや、被害者が世間体を気にして相談出来ずにいるケースがあるなど、表面化しているものは氷山の一角にすぎないと考えられることから、安心して相談できる体制づくりの強化が必要である。

また、このようなDVを未然に予防するためには、若年層に対し、配偶者や交際相手からの暴力の問題について考える機会として、学校・家庭・地域との連携により、教育啓発を行うことが望ましい。

被害にあった場合の相談先として、①「友人・知人」(46.2%)②「家族」(41.4%)③「公的な相談機関」(42.3%)となっている一方で「どこ(誰)にも相談しない」という人が8.6%おり、被害の深刻化を防ぐためにも、配偶者などからの暴力についての意識啓発や情報提供をさらに充実していくことが求められる。

### 【セクシャル・ハラスメントについて】

セクシャル・ハラスメントについては、女性の12.6%が「自分が直接被害を受けたことがある」との回答があり、男性では「相談を受けたことはないが、被害を受けた人を知っている」(17.3%)との回答があった。セクシャル・ハラスメントの被害にあったときの相談先として「友人・知人」(47.9%)「公的な相談機関」(37.9%)「家族」(37.8%)であり、「職場の苦情処理機関や上司・同僚」は24.9%となっている。

男女雇用機会均等法により、事業主は、職場におけるセクシャル・ハラスメント対策として、相談窓口を明確にし、労働者から相談があった場合は適切に対応するなど、雇用管理上必要な措置を講ずることが義務づけられているところであるが、解決の糸口としての社内規則整備のPRをするとともに、男女がともに働きやすい職場環境づくりが必要である。

## 3 「仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)」について

### 【現在の就労状況】

就労状況を尋ねたところ、男性の74.0%、女性の56.5%が働いているとの回答があったが、勤務形態に関しては、「正規社員・職員」の割合が、男性は68.7%であるのに対し、女性は38.3%、「臨時・派遣・パート・アルバイト・内職等」の非正規雇用が、男性は17.3%であるのに対し女性は49.0%と、約半数を占めていることから、雇用状況に男女の差が大きく、就労等の場における雇用機会と待遇の確保のため、男女労働者間の格差の解消、積極的改善措置についての情報提供が必要である。

また、働いていない理由として注目すべき項目として、20歳代、30歳代の女性で、約4割が「子どもが小さい」を理由としてあげており、子育てと仕事の両立が難しいことや、男性が育児

の時間を十分にとれないことなどの状況がうかがえることから、子育て家庭への職場の支援や柔軟な働き方、保育ニーズへの対応が必要である。

#### 【「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について】

希望するライフスタイルについて、男女とも「仕事と家庭生活を優先したい」と回答した方が34.4%（男性38.8%，女性31.5%）で多く、特に20歳代は44.4%を占めている。また、「仕事」を優先したい人は、2.6%（男性4.8%，女性0.9%）にすぎないが、現実では、26.8%（男性37.6%，女性18.8%）が「仕事」を優先している状況である。また、女性では、「家庭生活」優先を希望とする人は25.8%で、現実で35.4%の人が「家庭生活」を優先している。特に、30歳代において「家庭生活」を優先したいとの回答が多く、子育て世代では、「子どもが大きくなったらまた働く」というニーズのあらわれであると考えられる。

#### 【企業等における「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取組について】

回答で「職場ごとに利用しやすい雰囲気を作る」が最も多く、特に20歳代(41.7%)30歳代(34.9%)が高かった。男女別にみても、男性27.0%，女性36.5%と女性が高く、育児休業や短時間勤務制度などの利用を求める対象者が多くと見られる。次いで「経営トップが積極的に従業員に利用を呼びかける」となっており、職場環境からの改善を求める声が多いことから、企業等に対して、先進的事例の紹介など、ワーク・ライフ・バランスに関するPRをするとともに、具体的な子育て支援等の拡充を進めていくことが必要である。

#### 【仕事と家庭の両立支援について】

男女とも、「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備」や「休業中の賃金・手当などの経済的支援」が必要と答えている。

特に、女性では「子どもの学校行事参加や家族の病気看護などで、休暇を取りやすい職場の雰囲気作りをする」と答えた人は50.5%で、女性の労働環境から、仕事を休むことによって、離職の不安や待遇の悪化を懸念する傾向が強いことがうかがえる。

また、男性では、「柔軟な勤務態勢の導入」や「男性も含めた働き方の見直し」が女性の回答を上回り、仕事と家庭生活の両立支援には、職場環境の改善と意識の両面から、各事業所が、仕事と家庭生活の両立支援に積極的に取り組めるよう、具体的な対策を講じる必要がある。

### 4 男女共同参画に関する法令等について

男女共同参画についての認知度では、「男女雇用機会均等法」が68.7%でトップであった。また、多くの項目において、女性よりも男性の方が「男女共同参画」に関して、見たり聞いたりしたことがあるとの回答が多かった。

なお、旭川市で制定している「旭川市男女平等を実現し男女共同参画を推進する条例」(9.4%)「あさひかわ男女共同参画基本計画 2006」(9.0%)と認知度が低く、また、「見たり聞いたりしたものがない」との回答が19.6%であることから、地域の行政施策や活動において、身近な具体例を示すなど、男女共同参画の重要性を意識できるよう、更なる周知とともに、若年層から「男女共同参画」の考え方を取り入れられる環境づくりが必要である。

### 5 男女共同参画社会の実現のために必要なことについて

回答者自身が「男女共同参画社会の実現のために必要」だと思うことについて尋ねたところ、「仕事と家庭生活のバランスの取れた生き方をする」との回答が最も多く、「仕事と生活の調和



（ワーク・ライフ・バランス）」での質問で、希望のライフスタイルと現実のライフスタイルが一致していないことから、今後、多様な価値観や生き方、ライフスタイルを受容できる職場環境づくりが必要とされている。

また、市の施策として「男女共同参画社会の実現のために必要」だと思うことについては、①「男女がともに仕事と家庭生活を両立することができる環境を整備する」（65.6%）、②「男女がともに安心して高齢期を迎えられるような環境を整備する」（63.4%）との回答が多く、男女ともに働きやすい職場環境や男性の家庭生活への参画が望まれており、制度の整備を含め、子育て支援をはじめとする保育や介護など、公的サービスの一層の充実に取り組む必要がある。誰もが生き生きと自らが望むライフスタイルが実現できる環境づくりのため、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて一層の取組の強化が必要である。

## 課題解決に向けた取組

今回の調査を通して、男女共同参画社会の実現に向けての様々な課題が明らかになり、その解決に向けた取組が必要であると考えられる。

男女共同参画社会の実現に向けた課題	課題解決に向けた取組
男女共同参画に関する正しい理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる年代、性別に応じて、わかりやすい広報活動の展開</li> <li>・特にワーク・ライフ・バランスの考え方については、様々な職種、世代、地域に広くかつ早急に浸透することが望まれることから、多様な視点からの広報・啓発</li> </ul>
就業環境での男女格差の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフ・バランスを可能にする職場環境の整備のために、仕事と生活の調和に関する制度の紹介や企業経営者等への普及</li> <li>・子育て支援や男女がともに子育てに係わることのできる就労環境の整備</li> <li>・育児休業制度の就業規則への規定など、企業等への働きかけ</li> </ul>
地域活動等における男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれもが地域の一員として、住み良さを実感できるコミュニティの形成</li> </ul>
安心できる保育・子育て環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所待機児童解消</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業など多様なニーズに対応する子育て支援の周知</li> <li>・延長保育・休日保育など多様なニーズに対応する保育環境の整備</li> </ul>
ドメスティック・バイオレンスの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層からの意識啓発</li> <li>・安心して相談できる体制づくり</li> </ul>



資料編

## 調査票及び単純集計結果

### 男女共同参画に関する市民意識調査

#### 調査のお願い

日頃から市政についての温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

旭川市では、平成15年3月に「旭川市男女平等を実現し男女共同参画を推進する条例」の制定、平成18年には、「あさひかわ男女共同参画基本計画2006」を策定し、男女共同参画社会の形成に向けて様々な取り組みをおこなっています。

この調査は、市民の皆さまの男女共同参画社会に対するお考えやご意見、実状を幅広く伺いし、今後の施策を検討するうえでの基礎的な資料とさせていただくことを目的に実施しています。

ご回答いただく方は、旭川市内にお住まいの20歳以上の方の中から、男女各1000人、合計2000人を無作為に選ばせていただきました。また、皆さまのご回答は全てコンピュータで統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成20年2月

旭川市長 西川 将人

#### ご記入にあたってのお願い

- ◆この調査のご回答は、お送りさせて頂いたご本人様にお願いいたします。
- ◆調査票にも、返信用封筒にも、ご住所・お名前を記入していただく必要はありません。
- ◆平成20年2月1日現在の状況でご回答ください。
- ◆お答えは、主として番号に○をつけるものです。  
また、設問には、「一つに」「三つまで」「すべてに」などの設問の指示や「お子さんがいらっしゃる場合」などの回答者の指定があります。それぞれの指示に従ってご記入ください。  
なお、回答が「その他」の場合は、その内容を具体的に( )内にお書きください。
- ◆ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ平成20年2月29日(金)までに、切手を貼らずにポストにお入れください。
- ◆この調査についてのご質問がありましたら下記までお問い合わせください。

旭川市生活交流部男女共同参画推進課  
〒070-0035 旭川市5条通4丁目旭川市ときわ市民ホール3階  
電話 26-5270 FAX 26-1640  
E-mail danzyokyoudo@city.asahikawa.hokkaido.jp



# 1 男女の役割や地位に関する意識について

## ア 男女の平等について

問1 あなたは、次にあげる分野で男女は平等になっていると思いますか。  
各項目ごとにあてはまる番号一つに○をつけてください。

項目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
1 家庭生活の場	1	2	3	4	5	6
2 政治の場	1	2	3	4	5	6
3 社会通念、慣習、しきたり	1	2	3	4	5	6
4 法律や制度上	1	2	3	4	5	6
5 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
6 職場	1	2	3	4	5	6

→ 問1-1 問1の「6 職場」で、「1」、「2」、「4」、「5」のいずれかに回答された方におたずねします。

そう思う理由について、あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 働く業種・職種</li> <li>2. 会社や事業所内での人事の配置先や仕事の担当内容</li> <li>3. 昇進や昇格</li> <li>4. 賃金・報酬の額</li> <li>5. 職場での研修や出張の機会</li> <li>6. 経営会議や企画、営業方針などの決定の場への出席</li> <li>7. 退職や解雇</li> <li>8. 残業の有無</li> <li>9. その他 ( )</li> </ol> |
|---|

## イ 性別にもとづいた役割分担意識について

問2 あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という性別にもとづいた家庭生活における役割分担の考え方について、どう思いますか。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 賛成	2. どちらかといえば賛成	3. わからない
4. どちらかといえば反対	5. 反対	

## 2 男女の人権について

### ア ドメスティック・バイオレンス (DV) について

ドメスティック・バイオレンス (DV) = 配偶者等からの身体的, 精神的, 性的暴力

問3 ドメスティック・バイオレンス (DV) について, あなたは身近で見聞きしたことがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分が直接被害を受けたことがある
2. 相談を受けたことがある
3. 相談を受けたことはないが, 被害を受けた人を知っている
4. 自分の身近で被害を受けた人は知らない
5. 言葉自体を知らない
6. その他 ( )

問4 もし, あなたがドメスティック・バイオレンス (DV) の被害にあったときは, どこ (誰) に相談しますか。

あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

- |               |                   |             |
|---------------|-------------------|-------------|
| 1. 家族         | 2. 友人, 知人         | 3. 警察, 弁護士  |
| 4. 公的な相談機関    | 5. 民間の相談機関        | 6. 同じ経験をした人 |
| 7. 医師, カウンセラー | 8. どこ (誰) にも相談しない |             |
| 9. その他 ( )    |                   |             |

### イ セクシャル・ハラスメントについて

問5 セクシャル・ハラスメント (性的嫌がらせ) について, あなたは身近で見聞きしたことがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分が直接被害を受けたことがある
2. 相談を受けたことがある
3. 相談を受けたことはないが, 被害を受けた人を知っている
4. 自分の身近で被害を受けた人は知らない
5. 言葉自体を知らない
6. その他 ( )

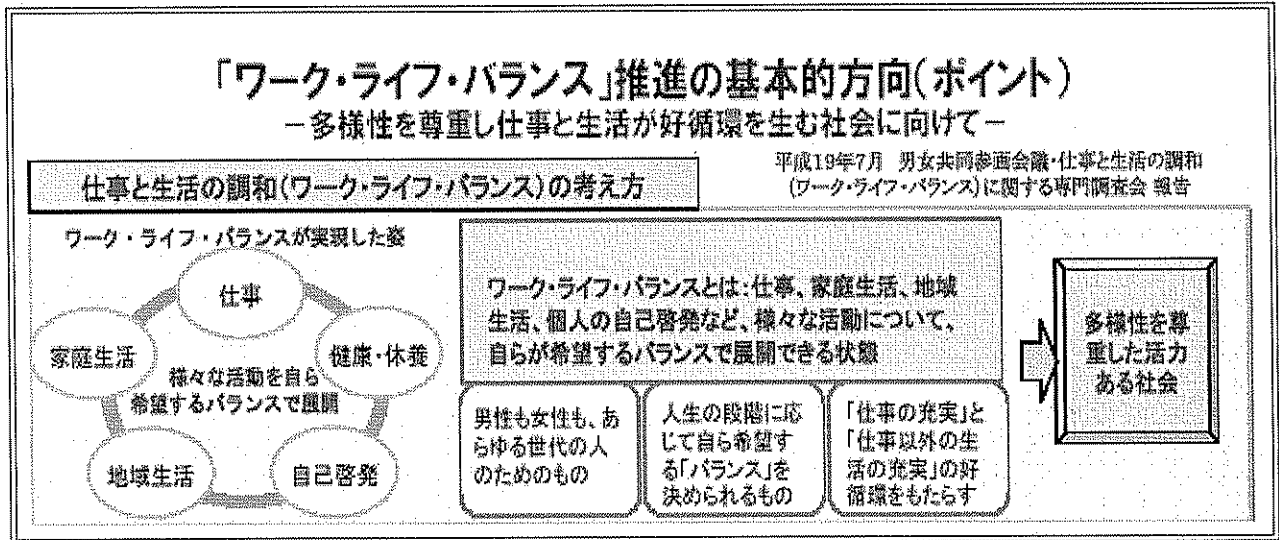
問6 もし, あなたがセクシャル・ハラスメントの被害にあったときは, どこ (誰) に相談しますか。

あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

- |                   |                    |             |
|-------------------|--------------------|-------------|
| 1. 家族             | 2. 友人, 知人          | 3. 警察, 弁護士  |
| 4. 公的な相談機関        | 5. 民間の相談機関         | 6. 同じ経験をした人 |
| 7. 医師, カウンセラー     | 8. 職場の苦情処理機関や上司・同僚 |             |
| 9. どこ (誰) にも相談しない | 10. その他 ( )        |             |

### 3 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について

- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の考え方  
 下図をご覧ください、問7～問11の質問に回答してください。



#### ア 現在の就労状況について

問7 あなたは現在、働いていますか。

1. 働いている → 問7-1へ

2. 働いていない → 問7-2へ

問7-1 あなたの仕事の勤務形態は、次のうちどれにあてはまりますか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 自由業・自営業・家族従業員
2. 正規社員・職員
3. 臨時・派遣・パート・アルバイト・内職等
4. その他 ( )

問7-2 あなたが働いていない理由は何ですか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 適当な仕事が見つからない
2. 定年で退職した、高齢だから
3. 経済的に必要がない
4. 仕事以外にしたいことがある
5. 子どもが小さい
6. 家族に介護を必要とする人がいる
7. 健康に自信がない
8. 家族の同意を得られない
9. その他 ( )



イ 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について

問8 あなたの希望するライフスタイルに最も近いものはどれですか。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. その他 ( )
9. わからない

問9 続いて、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. その他 ( )
9. わからない

ウ 企業等における「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取組について

問10 企業等において、ワーク・ライフ・バランスを推進（育児休業制度や短時間勤務制度の利用促進等）するために必要なことはどのようなことだと思いますか。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 経営トップが率先して支援策を利用する
2. 経営トップが積極的に従業員に利用を呼びかける
3. 管理職が率先して支援策を利用する
4. 管理職が積極的に従業員に利用を呼びかける
5. 実施している支援策を従業員にPRし、理解を深める
6. 職場ごとに利用しやすい雰囲気を作る
7. その他 ( )
8. 特にない
9. わからない

## エ 仕事と家庭の両立支援について

問11 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。

あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

1. 代替要員の確保など、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する
2. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援の充実
3. ファミリーサポートセンター事業や学童保育など、地域の子育て支援を充実
4. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入する
5. 職場内に保育施設を整備する
6. 子どもの学校行事参加や家族の病気看護などで、休暇を取りやすい職場の雰囲気作りをする
7. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮する
8. 子育てや介護を理由にやむなく退職した者を再雇用する制度を導入する
9. 男性も含めた働き方の見直しを大幅に推進する
10. 賃金や昇進などの男女間格差をなくす
11. パートタイマーなど、非正規社員・職員の労働条件を改善する
12. 職業上、必要な教育・訓練等の機会や内容の充実
13. 男女が共に仕事と家庭を両立していく事に対して、周囲の理解と協力
14. その他 ( )
15. 特にない
16. わからない

## 4 男女共同参画に関する法令等について

問12 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 男女共同参画社会
2. 女子差別撤廃条約
3. 旭川市男女平等を実現し男女共同参画を推進する条例
4. あさひかわ男女共同参画基本計画2006
5. ポジティブアクション（積極的改善処置）
6. ジェンダー（社会的性別）
7. 男女雇用機会均等法
8. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
9. 見たり聞いたりしたものがない

## 5 男女共同参画社会の実現のために必要なことについて

問13 今後、あなたが、男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に、共同で平等に参画する社会（男女共同参画社会）を実現するためにはどのようにすることが必要だと思いますか。

あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

1. 社会や組織を支える一員であるという自覚と責任を持つ
2. 自分の意見や希望を様々な場で積極的に発言し、また、互いの能力や考え方を尊重する。
3. 政治の場、市役所などの公的機関や企業などにおける方針決定の場に積極的に進出する
4. 家庭で、家事や子育て、教育、地域活動などについて十分話し合う
5. 仕事と家庭生活のバランスの取れた生き方をする
6. 技能、技術、資格などを取得し、能力の向上を図る
7. その他 ( )
8. 特にない
9. わからない

問14 それでは、市の施策として男女共同参画社会を実現するために何が重要だと思いますか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 男女平等や人権尊重の意識を高めるための広報や啓発活動をすすめる
2. 学校教育や生涯学習の場で男女共同参画についての教育をすすめる
3. 女性を政策や方針決定の場へ積極的に登用する
4. 男女がともに仕事と家庭を両立することができる環境を整備する
5. 雇用の分野での男女共同参画をすすめる
6. 男女共同参画をすすめるためのリーダーの養成や活動の拠点となる施設の充実
7. 各国の女性との交流や情報提供などの国際交流をすすめる
8. 女性に対するあらゆる暴力を根絶するための取組をすすめること
9. 男女の生き方に関する情報提供や学習の機会の充実
10. 生涯を通じた女性の健康づくりや母子保健対策をすすめる
11. 男女がともに安心して高齢期を迎えられるような環境を整備する
12. 女性のための相談機関や相談機能の充実
13. その他 ( )
14. 特にない
15. わからない



## 調 査 票

あなたご自身のことについておたずねします。

- F 1 あなたの年齢を教えてください。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 20～29歳	15.1%
2. 30～39歳	18.0%
3. 40～49歳	19.5%
4. 50～59歳	21.6%
5. 60歳以上	24.9%
6. 無回答	0.8%

- F 2 あなたの性別を教えてください。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 男	43.5%	2. 女	55.7%	3. 回答	0.8%
------	-------	------	-------	-------	------

- F 3 あなたは現在、結婚していますか。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 結婚していない	19.9%
2. 結婚している (有配偶者)	69.4%
3. 離別・死別した	9.5%
4. 無回答	1.2%

- F 4 お子さんはいらっしゃいますか (同居・別居は問いません)。  
お子さんがいらっしゃる場合は、そのお子さんは、どのような成長段階ですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 乳幼児	13.2%
2. 小・中学生	16.0%
3. 高校生, 大学生 (高専, 短大, 大学院, 専門学校を含む)	13.2%
4. 学校は卒業した	38.2%
5. 子どもはいない	27.0%
6. 無回答	5.1%

- F 5 あなたの世帯はどのような構成ですか。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 一人暮らし	12.4%
2. 夫婦のみ	27.1%
3. 親と子ども (2世代世帯)	44.7%
4. 親と子と孫 (3世代世帯)	6.0%
5. その他の構成の世帯	8.5%
無回答	1.3%

# 1 男女の役割や地位に関する意識について

## ア 男女の平等について

問1 あなたは、次にあげる分野で男女は平等になっていると思いますか。  
各項目ごとにあてはまる番号一つに○をつけてください。

項目	男性の方が非常に優遇される	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
1 家庭生活の場	8.2%	42.7%	30.3%	8.6%	0.8%	5.8%	3.7%
2 政治の場	25.1%	43.8%	18.6%	1.5%	0.1%	6.5%	4.5%
3 社会通念、慣習、しきたり	17.8%	51.3%	18.3%	3.0%	0.5%	4.6%	4.4%
4 法律や制度上	8.0%	31.2%	38.1%	8.2%	0.6%	8.5%	5.5%
5 学校教育の場	1.8%	14.4%	65.1%	3.4%	0.3%	8.9%	6.2%
6 職場	13.0%	44.4%	19.9%	4.9%	0.5%	8.9%	8.3%

→ 問1-1 問1の「6 職場」で、「1」、「2」、「4」、「5」のいずれかに回答された方におたずねします。  
そう思う理由について、あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

1. 働く業種・職種	47.7%
2. 会社や事業所内での人事の配置先や仕事の担当内容	51.5%
3. 昇進や昇格	49.0%
4. 賃金・報酬の額	52.0%
5. 職場での研修や出張の機会	8.2%
6. 経営会議や企画、営業方針などの決定の場への出席	18.7%
7. 退職や解雇	10.2%
8. 残業の有無	9.3%
9. その他 (EX. 保障内容、雇用保険の有無、正規・非正規など)	1.8%
10. 無回答	2.7%

## イ 性別にもとづいた役割分担意識について

問2 あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という性別にもとづいた家庭生活における役割分担の考え方について、どう思いますか。  
あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 賛成	7.7%
2. どちらかといえば賛成	37.8%
3. わからない	13.8%
4. どちらかといえば反対	25.4%
5. 反対	13.9%
6. 無回答	1.4%

## 2 男女の人権について

### ア ドメスティック・バイオレンス (DV) について

ドメスティック・バイオレンス (DV) = 配偶者等からの身体的, 精神的, 性的暴力

問3 ドメスティック・バイオレンス (DV) について, あなたは身近で見聞きしたことがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分が直接被害を受けたことがある	5.1%
2. 相談を受けたことがある	6.0%
3. 相談を受けたことはないが, 被害を受けた人を知っている	19.3%
4. 自分の身近で被害を受けた人は知らない	62.3%
5. 言葉自体を知らない	4.6%
6. その他 (EX. 自分の母・姑, 両親, 自分がしたことがある。など。)	2.4%
7. 無回答	4.9%

問4 もし, あなたがドメスティック・バイオレンス (DV) の被害にあったときは, どこ (誰) に相談しますか。

あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

1. 家族	41.4%
2. 友人, 知人	46.2%
3. 警察, 弁護士	29.8%
4. 公的な相談機関	42.3%
5. 民間の相談機関	18.0%
6. 同じ経験をした人	6.3%
7. 医師, カウンセラー	15.9%
8. どこ (誰) にも相談しない	8.6%
9. その他 (EX. どこにも相談できない。秘密を守るところ。など。)	2.5%
10. 無回答	3.8%

## イ セクシャル・ハラスメントについて

問5 セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について、あなたは身近で見聞きしたことがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分が直接被害を受けたことがある	7.4%
2. 相談を受けたことがある	5.5%
3. 相談を受けたことはないが、被害を受けた人を知っている	15.0%
4. 自分の身近で被害を受けた人は知らない	66.9%
5. 言葉自体を知らない	1.9%
6. その他（EX. 医師の診察で。言葉によるものを含めるとある。など。）	2.0%
7. 無回答	5.1%

問6 もし、あなたがセクシャル・ハラスメントの被害にあったときは、どこ（誰）に相談しますか。

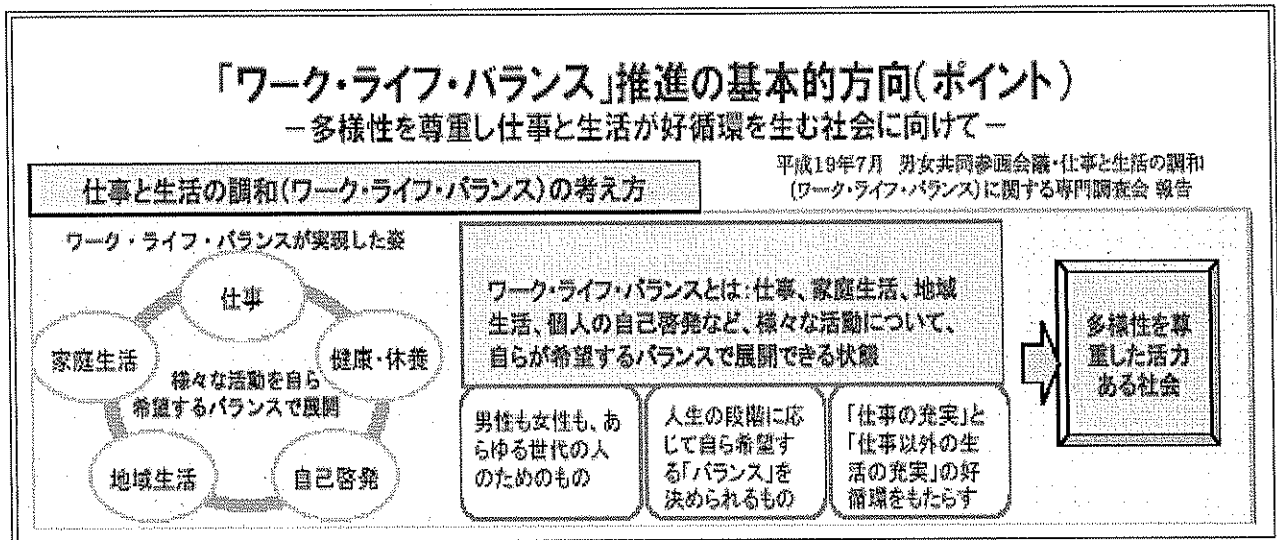
あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

1. 家族	37.8%
2. 友人，知人	47.9%
3. 警察，弁護士	25.9%
4. 公的な相談機関	37.9%
5. 民間の相談機関	14.4%
6. 同じ経験をした人	5.0%
7. 医師，カウンセラー	7.2%
8. 職場の苦情処理機関や上司・同僚	24.9%
9. どこ（誰）にも相談しない	7.5%
10. その他（EX. 加害者にやめるよう強く言う。わからない。など。）	2.5%
11. 無回答	1.3%



### 3 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について

- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の考え方  
 下図をご覧ください、問7～問11の質問に回答してください。



#### ア 現在の就労状況について

問7 あなたは現在、働いていますか。

1. 働いている	63.7%	2. 働いていない	34.1%
----------	-------	-----------	-------

問7-1 あなたの仕事の勤務形態は、次のうちどれにあてはまりますか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 自由業・自営業・家族従業員	11.5%
2. 正規社員・職員	53.6%
3. 臨時・派遣・パート・アルバイト・内職等	32.9%
4. その他	1.8%
5. 無回答	0.2%

問7-2 あなたが働いていない理由は何ですか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 適当な仕事が見つからない	11.4%
2. 定年で退職した、高齢だから	34.8%
3. 経済的に必要がない	5.8%
4. 仕事以外にしたいことがある	3.4%
5. 子どもが小さい	12.6%
6. 家族に介護を必要とする人がいる	6.5%
7. 健康に自信がない	11.1%
8. 家族の同意を得られない	0.9%
9. その他 (EX. 転勤族で数年で引っ越すため、新たな資格を取るため、必要性を感じないため。季節労働のため、現在休職中など。)	12.9%
10. 無回答	0.6%

イ 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について

問8 あなたの希望するライフスタイルに最も近いものはどれですか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 「仕事」を優先したい	2.6%
2. 「家庭生活」を優先したい	21.2%
3. 「地域・個人の生活」を優先したい	3.7%
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	34.4%
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	5.1%
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	10.8%
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	15.7%
8. その他 (EX. その時にあった生活。優先はない)	1.0%
9. わからない	3.2%
10. 無回答	2.2%

問9 続いて、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 「仕事」を優先している	26.8%
2. 「家庭生活」を優先している	25.7%
3. 「地域・個人の生活」を優先している	2.9%
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	22.0%
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	2.9%
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	6.9%
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	4.5%
8. その他 (EX. 生活のために仕事が優先してしまう等)	1.8%
9. わからない	4.1%
10. 無回答	2.3%

ウ 企業等における「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取組について

問10 企業等において、ワーク・ライフ・バランスを推進（育児休業制度や短時間勤務制度の利用促進等）するために必要なことはどのようなことだと思いますか。  
 あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 経営トップが率先して支援策を利用する	10.8%
2. 経営トップが積極的に従業員に利用を呼びかける	17.6%
3. 管理職が率先して支援策を利用する	4.3%
4. 管理職が積極的に従業員に利用を呼びかける	9.6%
5. 実施している支援策を従業員にPRし、理解を深める	6.9%
6. 職場ごとに利用しやすい雰囲気を作る	32.1%
7. その他 (EX. 人員増などの物理的施策。監査機関の整備等)	2.2%
8. 特にない	4.5%
9. わからない	8.2%
10. 無回答	3.8%

## エ 仕事と家庭の両立支援について

問11 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。  
あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

1. 代替要員の確保など、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する	37.0%
2. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援の充実	32.3%
3. ファミリーサポートセンター事業や学童保育など、地域の子育て支援を充実	15.4%
4. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入する	15.7%
5. 職場内に保育施設を整備する	10.1%
6. 子どもの学校行事参加や家族の病気看護などで、 休暇を取りやすい職場の雰囲気作りをする	43.7%
7. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮する	12.3%
8. 子育てや介護を理由にやむなく退職した者を再雇用する制度を導入する	17.6%
9. 男性も含めた働き方の見直しを大幅に推進する	11.8%
10. 賃金や昇進などの男女間格差をなくす	7.0%
11. パートタイマーなど、非正規社員・職員の労働条件を改善する	22.9%
12. 職業上、必要な教育・訓練等の機会や内容の充実	4.0%
13. 男女が共に仕事と家庭を両立していく事に対して、周囲の理解と協力	30.1%
14. その他 (EX. 男性の家事参加への意識変革と実践。ワークシェアリングなど)	1.4%
15. 特にない	1.4%
16. わからない	3.6%
17. 無回答	3.0%

## 4 男女共同参画に関する法令等について

問12 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 男女共同参画社会	34.7%
2. 女子差別撤廃条約	18.9%
3. 旭川市男女平等を実現し男女共同参画を推進する条例	9.4%
4. あさひかわ男女共同参画基本計画2006	9.0%
5. ポジティブアクション (積極的改善措置)	7.4%
6. ジェンダー (社会的性別)	21.1%
7. 男女雇用機会均等法	68.7%
8. ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	21.2%
9. 見たり聞いたりしたものがない	16.9%
10. 無回答	3.9%

## 5 男女共同参画社会の実現のために必要なことについて

問13 今後、あなたが、男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に、共同で平等に参画する社会（男女共同参画社会）を実現するためにはどのようにすることが必要だと思いますか。

あてはまる番号に三つまで○をつけてください。

1. 社会や組織を支える一員であるという自覚と責任を持つ	43.2%
2. 自分の意見や希望を様々な場で積極的に発言し、また、互いの能力や考え方を尊重する	43.0%
3. 政治の場、市役所などの公的機関や企業などにおける方針決定の場に積極的に進出する	14.8%
4. 家庭で、家事や子育て、教育、地域活動などについて十分話し合う	32.0%
5. 仕事と家庭生活のバランスの取れた生き方をする	53.7%
6. 技能、技術、資格などを取得し、能力の向上を図る	21.8%
7. その他（EX. 完全な余裕のある生活をする。完全な平等は不可能）	2.0%
8. 特にない	4.7%
9. わからない	6.8%
10. 無回答	3.0%

問14 それでは、市の施策として男女共同参画社会を実現するために何が重要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 男女平等や人権尊重の意識を高めるための広報や啓発活動をすすめる	27.4%
2. 学校教育や生涯学習の場で男女共同参画についての教育をすすめる	35.0%
3. 女性を政策や方針決定の場へ積極的に登用する	21.7%
4. 男女がともに仕事と家庭を両立することができる環境を整備する	65.6%
5. 雇用の分野での男女共同参画をすすめる	25.7%
6. 男女共同参画をすすめるためのリーダーの養成や活動の拠点となる施設の充実	12.8%
7. 各国の女性との交流や情報提供などの国際交流をすすめる	8.6%
8. 女性に対するあらゆる暴力を根絶するための取組をすすめること	17.9%
9. 男女の生き方に関する情報提供や学習の機会の充実	24.0%
10. 生涯を通じた女性の健康づくりや母子保健対策をすすめる	18.9%
11. 男女がともに安心して高齢期を迎えられるような環境を整備する	63.4%
12. 女性のための相談機関や相談機能の充実	16.0%
13. その他（EX. 市職員でモデルケースを作る。事業所等への支援、優遇）	2.5%
14. 特にない	2.1%
15. わからない	5.9%
16. 無回答	3.0%

問1 あなたは、家庭生活の場において男女は平等になっていると思いますか。(回答数1つ)

	回答者数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
【全体】	954	78	407	289	82	8	55	35
	100.0	8.2	42.7	30.3	8.6	0.8	5.8	3.7
【F1 年齢別】								
20～29歳	144	4.2	32.6	36.1	15.3	1.4	7.6	2.8
30～39歳	172	9.3	39.0	34.3	10.5	0.6	5.8	0.6
40～49歳	186	10.2	46.2	26.3	8.6	2.2	5.4	1.1
50～59歳	206	7.8	49.5	28.6	7.3	0.5	3.9	2.4
60歳以上	238	8.8	44.1	29.0	4.6	-	6.7	6.7
【F2 性別】								
男性	415	4.3	37.1	38.3	10.4	1.4	5.8	2.7
女性	531	11.3	47.6	24.3	7.3	0.4	5.8	3.2
【F3 未既婚別】								
結婚していない	190	6.3	32.1	34.2	10.5	1.6	12.1	3.2
結婚している(有配偶者)	662	9.1	46.8	31.1	7.9	0.8	3.0	1.4
離別・死別した	91	6.6	38.5	17.6	11.0	-	13.2	13.2
【F4 子どもの成長段階別】								
乳幼児	126	7.9	37.3	34.1	13.5	0.8	4.8	1.6
小・中学生	153	8.5	45.8	32.0	7.8	2.0	2.6	1.3
高校生、大学生(高専、短大、 学校は卒業した)	126	11.1	46.0	30.2	6.3	1.6	2.4	2.4
子どもはいない	364	8.5	50.0	28.0	6.0	0.3	3.8	3.3
258	6.6	36.0	32.9	11.2	1.2	10.1	1.9	
【F5 世帯構成別】								
一人暮らし	118	5.9	28.8	28.0	8.5	0.8	14.4	13.6
夫婦のみ	259	8.9	46.3	30.9	9.3	0.8	1.9	1.9
親と子ども(2世代世帯)	426	8.7	45.8	29.3	8.9	0.9	5.6	0.7
親と子と孫(3世代世帯)	57	10.5	45.6	31.6	3.5	1.8	3.5	3.5
その他の構成の世帯	81	6.2	38.3	37.0	8.6	-	7.4	2.5

問1 あなたは、政治の場において男女は平等になっていると思いますか。(回答数1つ)

	回答者数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
【全体】	954	239	418	177	14	1	62	43
	100.0	25.1	43.8	18.6	1.5	0.1	6.5	4.5
【F1 年齢別】								
20～29歳	144	26.4	48.6	15.3	0.7	-	7.6	1.4
30～39歳	172	29.7	44.2	16.9	1.7	0.6	6.4	0.6
40～49歳	186	30.1	49.5	13.4	1.6	-	4.8	0.5
50～59歳	206	25.2	46.1	18.4	1.5	-	6.3	2.4
60歳以上	238	17.6	35.7	26.1	1.7	-	7.6	11.3
【F2 性別】								
男性	415	17.3	42.4	29.4	2.4	0.2	5.3	2.9
女性	531	31.5	45.6	10.2	0.8	-	7.5	4.5
【F3 未既婚別】								
結婚していない	190	27.4	40.5	18.4	1.6	0.5	9.5	2.1
結婚している(有配偶者)	662	24.3	45.8	19.6	1.7	-	5.6	3.0
離別・死別した	91	28.6	40.7	11.0	-	-	7.7	12.1
【F4 子どもの成長段階別】								
乳幼児	126	27.0	50.8	18.3	-	-	4.0	-
小・中学生	153	28.1	49.7	17.6	-	-	3.3	1.3
高校生、大学生(高専、短大、)	126	27.8	50.8	15.9	0.8	-	2.4	2.4
学校は卒業した	364	21.7	43.4	20.1	1.9	-	7.4	5.5
子どもはいない	258	27.5	41.5	16.7	2.7	0.4	9.3	1.9
【F5 世帯構成別】								
一人暮らし	118	22.9	35.6	20.3	0.8	0.8	8.5	11.0
夫婦のみ	259	24.7	43.2	19.3	2.3	-	5.4	5.0
親と子ども(2世代世帯)	426	27.5	47.2	16.9	0.9	-	5.9	1.6
親と子と孫(3世代世帯)	57	19.3	50.9	15.8	-	-	10.5	3.5
その他の構成の世帯	81	24.7	40.7	24.7	3.7	-	6.2	-

問1 あなたは、社会通念、慣習、しきたりなどにおいて男女は平等になっていると思いますか。(回答数1つ)

	回答者数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
【全体】	954	17.0	48.9	17.5	2.9	5	4.4	4.2
	100.0	17.8	51.3	18.3	3.0	0.5	4.6	4.4
【F1 年齢別】								
20～29歳	144	16.0	50.7	20.8	4.2	-	6.3	2.1
30～39歳	172	19.2	53.5	18.0	2.3	1.2	5.2	0.6
40～49歳	186	24.2	52.2	16.7	3.2	-	2.7	1.1
50～59歳	206	19.9	54.9	16.0	3.4	-	3.9	1.9
60歳以上	238	11.8	47.5	21.0	2.5	1.3	5.5	10.5
【F2 性別】								
男性	415	11.8	49.6	26.0	4.1	1.0	4.6	2.9
女性	531	22.8	53.1	12.6	2.3	0.2	4.7	4.3
【F3 未既婚別】								
結婚していない	190	16.3	50.5	17.9	4.7	1.1	6.3	3.2
結婚している(有配偶者)	662	18.3	52.9	19.2	2.6	0.5	3.8	2.9
離別・死別した	91	19.8	46.2	14.3	2.2	-	7.7	9.9
【F4 子どもの成長段階別】								
乳幼児	126	19.0	51.6	21.4	1.6	0.8	4.8	0.8
小・中学生	153	23.5	52.9	18.3	2.6	0.7	1.3	0.7
高校生、大学生(高専、短大、 学校は卒業した)	126	20.6	57.1	17.5	1.6	-	1.6	1.6
364	15.9	52.2	18.4	3.3	0.3	4.7	5.2	
子どもはいない	258	17.1	51.6	17.1	4.7	0.8	7.0	1.9
【F5 世帯構成別】								
一人暮らし	118	14.4	50.0	14.4	4.2	0.8	6.8	9.3
夫婦のみ	259	15.4	51.4	20.8	1.5	0.8	5.0	5.0
親と子ども(2世代世帯)	426	20.0	53.5	16.7	3.5	0.2	4.0	2.1
親と子と孫(3世代世帯)	57	22.8	47.4	19.3	3.5	-	3.5	3.5
その他の構成の世帯	81	17.3	49.4	24.7	3.7	-	4.9	-

問1 あなたは、法律や制度の上において男女は平等になっていると思いますか。(回答数1つ)

	回答者数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
【全体】	954	76	298	363	78	6	81	52
	100.0	8.0	31.2	38.1	8.2	0.6	8.5	5.5
【F1 年齢別】								
20～29歳	144	6.9	32.6	37.5	7.6	-	13.2	2.1
30～39歳	172	9.9	32.0	39.0	9.3	1.2	8.7	-
40～49歳	186	8.6	38.7	33.9	11.3	1.1	4.8	1.6
50～59歳	206	10.2	32.0	38.8	6.8	1.0	7.8	3.4
60歳以上	238	5.0	23.9	41.6	6.7	-	9.2	13.4
【F2 性別】								
男性	415	4.8	24.8	47.7	11.3	1.0	6.3	4.1
女性	531	10.5	36.5	31.1	5.8	0.4	10.4	5.3
【F3 未既婚別】								
結婚していない	190	6.8	28.9	38.9	7.4	1.6	13.7	2.6
結婚している(有配偶者)	662	8.0	32.0	40.0	8.6	0.5	6.8	4.1
離別・死別した	91	11.0	33.0	25.3	6.6	-	11.0	13.2
【F4 子どもの成長段階別】								
乳幼児	126	8.7	34.9	39.7	8.7	0.8	7.1	-
小・中学生	153	9.8	36.6	35.3	11.1	1.3	3.9	2.0
高校生、大学生(高専、短大、 学校は卒業した)	126	8.7	42.9	33.3	7.9	0.8	0.8	5.6
子どもはいない	364	8.5	29.9	37.9	7.1	0.5	9.3	6.6
258	6.6	28.7	41.9	8.5	0.4	12.0	1.9	
【F5 世帯構成別】								
一人暮らし	118	6.8	27.1	30.5	6.8	0.8	16.1	11.9
夫婦のみ	259	8.5	27.0	42.1	8.1	-	7.3	6.9
親と子ども(2世代世帯)	426	8.0	34.5	38.5	8.2	0.7	7.5	2.6
親と子と孫(3世代世帯)	57	3.5	40.4	35.1	7.0	3.5	7.0	3.5
その他の構成の世帯	81	12.3	30.9	39.5	11.1	-	6.2	-



問1 あなたは、学校教育の場において男女は平等になっていると思いますか。(回答数1つ)

	回答者数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
【全体】	954	17	137	621	32	3	85	59
	100.0	1.8	14.4	65.1	3.4	0.3	8.9	6.2
【F1 年齢別】								
20～29歳	144	1.4	11.8	70.1	1.4	0.7	13.2	1.4
30～39歳	172	2.3	10.5	72.1	3.5	1.2	9.9	0.6
40～49歳	186	1.6	17.7	71.5	3.2	-	4.8	1.1
50～59歳	206	1.5	20.9	58.3	6.3	-	9.2	3.9
60歳以上	238	2.1	10.9	59.7	2.1	-	8.8	16.4
【F2 性別】								
男性	415	1.0	12.8	69.9	3.6	0.7	6.5	5.5
女性	531	2.4	15.8	62.1	3.2	-	10.9	5.5
【F3 未既婚別】								
結婚していない	190	1.6	11.6	66.3	2.6	1.1	14.2	2.6
結婚している(有配偶者)	662	1.8	15.0	67.4	3.8	0.2	7.1	4.8
離別・死別した	91	2.2	17.6	50.5	2.2	-	12.1	15.4
【F4 子どもの成長段階別】								
乳幼児	126	3.2	15.9	71.4	2.4	-	6.3	0.8
小・中学生	153	2.0	15.7	75.8	2.0	-	3.3	1.3
高校生、大学生(高専、短大、)	126	2.4	21.4	65.1	4.0	-	2.4	4.8
学校は卒業した	364	1.1	16.5	61.3	3.8	-	8.8	8.5
子どもはいない	258	1.9	11.2	66.7	3.1	1.2	14.0	1.9
【F5 世帯構成別】								
一人暮らし	118	1.7	8.5	58.5	1.7	0.8	14.4	14.4
夫婦のみ	259	1.9	13.1	63.3	4.2	0.4	8.9	8.1
親と子ども(2世代世帯)	426	2.1	17.6	67.6	2.8	0.2	7.3	2.3
親と子と孫(3世代世帯)	57	-	10.5	70.2	8.8	-	7.0	3.5
その他の構成の世帯	81	1.2	14.8	70.4	1.2	-	9.9	2.5

問1 あなたは、職場において男女は平等になっていると思いますか。(回答数1つ)

	回答者数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
【全体】	954	124	424	190	47	5	85	79
	100.0	13.0	44.4	19.9	4.9	0.5	8.9	8.3
【F1 年齢別】								
20～29歳	144	13.2	47.2	21.5	6.3	-	9.0	2.8
30～39歳	172	11.6	40.7	30.2	6.4	2.3	8.1	0.6
40～49歳	186	14.5	45.2	23.1	4.3	-	9.7	3.2
50～59歳	206	12.6	48.1	18.4	4.4	0.5	9.2	6.8
60歳以上	238	13.4	42.9	10.9	4.2	-	8.8	19.7
【F2 性別】								
男性	415	10.8	43.6	24.1	7.0	1.2	6.5	6.7
女性	531	14.9	45.6	16.9	3.4	-	10.9	8.3
【F3 未既婚別】								
結婚していない	190	10.0	50.5	21.1	6.3	1.6	6.3	4.2
結婚している(有配偶者)	662	13.6	44.1	20.5	4.7	0.3	9.4	7.4
離別・死別した	91	16.5	38.5	13.2	4.4	-	12.1	15.4
【F4 子どもの成長段階別】								
乳幼児	126	13.5	44.4	25.4	4.8	0.8	9.5	1.6
小・中学生	153	13.7	44.4	24.8	4.6	-	9.2	3.3
高校生、大学生(高専、短大、 学校は卒業した)	126	13.5	45.2	23.0	4.8	-	6.3	7.1
子どもはいない	364	12.1	48.1	14.6	4.1	0.3	9.6	11.3
258	13.2	43.4	24.4	7.4	1.2	7.4	3.1	
【F5 世帯構成別】								
一人暮らし	118	10.2	42.4	15.3	4.2	2.5	10.2	15.3
夫婦のみ	259	13.9	42.5	18.5	5.8	-	6.9	12.4
親と子ども(2世代世帯)	426	13.6	46.2	22.5	4.5	0.2	8.9	4.0
親と子と孫(3世代世帯)	57	8.8	42.1	29.8	5.3	1.8	8.8	3.5
その他の構成の世帯	81	14.8	50.6	13.6	6.2	-	11.1	3.7

問1-1 問1で「職場において、どちらかが優遇されている」と回答した理由は何ですか。（回答数3つまで）

	回答者数	働く業種・職種	会社や事業所内での人事の配置や仕事の担当内容	昇進や昇格	賃金、報酬の額	職場での研修や出張の機会	経営会議や企画、営業方針などの決定の場への参加	退職や解雇（結婚・出産・介護などで）	残業の有無	その他	無回答
【全体】	600	286	309	294	312	49	112	61	56	11	16
	100.0	47.7	51.5	49.0	52.0	8.2	18.7	10.2	9.3	1.8	2.7
男性優遇派	548	259	280	294	309	46	111	60	35	10	0
	91.3%	47.3%	51.1%	53.6%	56.4%	8.4%	20.3%	10.9%	6.4%	1.8%	0.0%
女性優遇派	52	27	29	0	3	3	1	1	21	1	0
	8.7%	51.9%	55.8%	0.0%	5.8%	5.8%	1.9%	1.9%	40.4%	1.9%	0.0%
【F1 年齢別】											
20～29歳	96	50.0	58.3	47.9	44.8	6.3	13.5	8.3	10.4	1.0	1.0
30～39歳	105	46.7	60.0	53.3	50.5	3.8	12.4	10.5	14.3	4.8	1.0
40～49歳	119	48.7	46.2	44.5	49.6	10.1	16.0	9.2	8.4	1.7	1.7
50～59歳	135	50.4	55.6	48.9	56.3	8.9	23.0	7.4	5.2	1.5	1.5
60歳以上	144	43.1	41.0	50.0	56.3	10.4	25.0	14.6	9.7	0.7	6.9
【F2 性別】											
男性	260	51.9	52.7	46.2	44.2	8.8	22.7	7.3	14.6	1.2	2.3
女性	339	44.2	50.4	51.0	58.1	7.7	15.6	12.4	5.3	2.4	2.9
【F3 未既婚別】											
結婚していない	130	50.8	53.1	43.8	43.8	10.0	14.6	10.0	13.8	2.3	1.5
結婚している（有配偶者）	415	46.5	52.0	51.1	53.5	8.0	19.8	9.4	8.2	1.7	3.1
離別・死別した	54	48.1	42.6	44.4	61.1	5.6	20.4	16.7	7.4	1.9	1.9
【F4 子どもの成長段階別】											
乳幼児	80	42.5	48.8	70.0	56.3	8.8	15.0	8.8	7.5	1.3	-
小・中学生	96	41.7	61.5	52.1	50.0	6.3	12.5	7.3	8.3	1.0	1.0
高校生、大学生（高専、短大、大学院、専門学校を含む）	80	52.5	52.5	37.5	56.3	10.0	18.8	7.5	10.0	1.3	-
学校は卒業した	235	47.7	46.0	51.1	57.4	7.2	23.4	12.8	7.7	1.7	5.5
子どもはいない	168	50.0	54.2	44.0	42.9	10.1	13.7	7.1	13.1	3.0	1.8
【F5 世帯構成別】											
一人暮らし	70	50.0	50.0	41.4	40.0	12.9	15.7	5.7	18.6	-	2.9
夫婦のみ	161	48.4	53.4	45.3	53.4	6.8	23.0	9.3	6.2	1.9	5.6
親と子ども（2世代世帯）	275	48.4	50.2	54.9	54.2	6.5	16.0	11.3	8.7	1.8	0.7
親と子と孫（3世代世帯）	33	42.4	54.5	45.5	48.5	6.1	21.2	6.1	12.1	3.0	3.0
その他の構成の世帯	58	41.4	51.7	41.4	53.4	15.5	22.4	15.5	8.6	3.4	3.4

問2 あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という性別にもとづいた家庭生活における役割分担の考え方について、どう思いますか。  
(回答数1つ)

	回答者数	賛成	どちらかといえ ば賛成	わからない	どちらかといえ ば反対	反対	無回答
【全体】	954	7.3	37.8	13.8	25.4	13.9	1.4
【F1 年齢別】							
20～29歳	144	5.6	28.5	15.3	32.6	17.4	0.7
30～39歳	172	7.0	33.7	14.5	23.8	20.9	-
40～49歳	186	5.9	36.0	14.5	26.3	17.2	-
50～59歳	206	7.3	38.8	12.6	28.6	12.6	-
60歳以上	238	11.3	47.9	13.4	19.3	5.9	2.1
【F2 性別】							
男性	415	10.4	41.0	12.3	22.2	14.0	0.2
女性	531	5.6	35.8	15.3	28.2	14.1	0.9
【F3 未既婚別】							
結婚していない	190	4.7	29.5	18.4	31.1	15.8	0.5
結婚している（有配偶者）	662	8.8	39.7	11.8	25.4	14.0	0.3
離別・死別した	91	6.6	45.1	18.7	15.4	11.0	3.3
【F4 子どもの成長段階別】							
乳幼児	126	8.7	34.1	11.1	28.6	17.5	-
小・中学生	153	6.5	35.9	11.1	28.1	18.3	-
高校生、大学生（高専、短大、 学校は卒業した	126	5.6	42.9	11.1	28.6	11.9	-
子どもはいない	364	9.1	45.6	11.0	23.4	9.6	1.4
258	5.4	31.8	17.8	27.5	17.1	0.4	
【F5 世帯構成別】							
一人暮らし	118	5.9	28.8	25.4	27.1	11.9	0.8
夫婦のみ	259	11.6	44.0	10.4	22.0	11.6	0.4
親と子ども（2世代世帯）	426	6.6	36.2	12.9	29.1	15.0	0.2
親と子と孫（3世代世帯）	57	1.8	42.1	12.3	22.8	19.3	1.8
その他の構成の世帯	81	8.6	39.5	14.8	18.5	17.3	1.2

問3 ドメスティックバイオレンス（DV）について、あなたは身近で見聞きしたことがありますか。（回答無制限）

	回答者数	自分が直接被害を受けたことがある	相談を受けたことがある	相談を受けたことを知らないが、被害を受けた人を知っている	自分の身近で被害を受けた人は知らない	言葉自体を知らない	その他	無回答
【全体】	954 100.0	49 5.1	57 6.0	184 19.3	594 62.3	44 4.6	23 2.4	47 4.9
【F1 年齢別】								
20～29歳	144	3.5	3.5	16.7	69.4	0.7	2.8	3.5
30～39歳	172	4.1	8.7	26.2	59.9	1.2	1.7	1.2
40～49歳	186	10.2	9.1	20.4	64.0	1.1	2.2	2.7
50～59歳	206	2.4	4.9	18.9	67.0	3.4	3.4	4.4
60歳以上	238	5.5	4.2	15.5	55.9	13.4	2.1	8.4
【F2 性別】								
男性	415	1.7	3.9	18.1	66.5	5.5	1.9	5.5
女性	531	7.9	7.7	20.3	59.7	4.0	2.8	3.4
【F3 未既婚別】								
結婚していない	190	3.2	6.3	18.4	65.8	2.6	0.5	4.2
結婚している（有配偶者）	662	4.5	5.4	19.3	64.4	5.1	2.9	3.5
離別・死別した	91	14.3	9.9	20.9	45.1	5.5	3.3	9.9
【F4 子どもの成長段階別】								
乳幼児	126	4.0	5.6	23.8	63.5	0.8	3.2	1.6
小・中学生	153	13.1	7.2	23.5	55.6	2.0	3.3	3.9
高校生、大学生（高専、短大、 学校は卒業した	126	9.5	8.7	17.5	62.7	4.0	3.2	3.2
子どもはいない	364	4.1	5.5	17.3	62.1	7.7	2.5	6.3
258	258	3.5	6.2	19.8	67.4	2.7	1.2	1.9
【F5 世帯構成別】								
一人暮らし	118	9.3	8.5	19.5	53.4	3.4	2.5	7.6
夫婦のみ	259	1.9	5.0	17.4	64.1	9.3	1.9	5.0
親と子ども（2世代世帯）	426	6.3	6.8	20.9	62.2	2.8	2.8	2.8
親と子と孫（3世代世帯）	57	1.8	5.3	21.1	70.2	-	-	7.0
その他の構成の世帯	81	6.2	2.5	16.0	70.4	4.9	3.7	1.2

問4 もし、あなたがドメスティック・バイオレンス（DV）の被害にあったときは、どこ（誰）に相談しますか。  
（回答数3つまで）

	回答者数	家族	友人、知人	警察、弁護士	公的な相談機関	民間の相談機関	同じ経験をした人	医師、カウンセラー	どこ（誰）にも相談しない	その他	無回答
【全体】	954	395	441	284	404	172	60	152	82	24	36
	100.0	41.4	46.2	29.8	42.3	18.0	6.3	15.9	8.6	2.5	3.8
【F1 年齢別】											
20～29歳	144	56.3	69.4	25.0	27.8	13.2	6.9	16.0	6.3	6.3	1.4
30～39歳	172	48.3	57.0	26.2	39.0	19.2	7.0	13.4	8.1	2.3	1.7
40～49歳	186	39.2	50.5	29.0	44.1	19.4	4.3	14.0	10.2	1.1	2.7
50～59歳	206	34.5	40.8	28.2	47.6	19.9	7.8	22.3	10.2	0.5	1.5
60歳以上	238	36.1	26.9	37.4	48.7	18.1	5.9	14.3	8.0	3.4	7.1
【F2 性別】											
男性	415	30.4	40.0	34.2	41.2	14.2	4.6	15.4	11.3	3.1	4.1
女性	531	50.5	51.6	26.4	43.7	21.3	7.7	16.6	6.6	2.1	2.4
【F3 未既婚別】											
結婚していない	190	43.2	64.2	30.0	34.2	14.7	7.9	14.2	6.8	2.6	3.2
結婚している（有配偶者）	662	42.6	42.1	30.5	46.7	18.9	5.4	16.5	9.2	2.4	2.6
離別・死別した	91	31.9	40.7	25.3	31.9	19.8	9.9	17.6	8.8	3.3	6.6
【F4 子どもの成長段階別】											
乳幼児	126	51.6	57.1	31.0	33.3	13.5	5.6	14.3	8.7	4.8	2.4
小・中学生	153	41.2	51.0	26.8	41.2	19.0	5.9	13.1	9.2	2.0	3.3
高校生、大学生（高専、短大、 学校は卒業した	364	40.5	46.0	27.0	48.4	21.4	9.5	19.8	8.7	0.8	1.6
子どもはいない	258	41.9	58.9	26.7	40.7	18.2	7.4	19.4	7.0	2.7	1.9
【F5 世帯構成別】											
一人暮らし	118	33.1	55.1	28.0	31.4	17.8	6.8	16.9	11.0	1.7	5.9
夫婦のみ	259	39.8	34.7	33.6	52.1	20.8	3.9	17.8	7.3	2.7	3.9
親と子ども（2世代世帯）	426	46.9	52.8	26.1	40.6	18.1	8.0	14.6	8.5	2.6	1.9
親と子と孫（3世代世帯）	57	36.8	43.9	33.3	42.1	17.5	7.0	21.1	7.0	-	5.3
その他の構成の世帯	81	35.8	39.5	38.3	40.7	12.3	4.9	12.3	12.3	4.9	1.2

問5 セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について、あなたは身近で見聞きしたことがありますか。  
 (回答数無制限)

	回答者数	自分 がある が 自分が 直接 被害 を受け たこと	相 談 を 受 け た こ と が あ る	被 害 を 受 け た 人 を 知 っ て い る	相 談 を 受 け た こ と は な い が 、 被 害 を 受 け た 人 を 知 っ て い る	自 分 の 身 近 で 被 害 を 受 け た 人 は 知 ら な い	言 葉 自 体 を 知 ら な い	そ の 他	無 回 答
【全体】	954 100.0	71 7.4	52 5.5	143 15.0	638 66.9	18 1.9	19 2.0	49 5.1	
【F1 年齢別】									
20～29歳	144	14.6	8.3	9.0	66.7	0.7	1.4	2.1	
30～39歳	172	9.9	6.4	17.4	66.3	-	1.7	1.2	
40～49歳	186	9.1	4.3	16.7	70.4	-	1.1	3.2	
50～59歳	206	5.3	6.8	13.1	69.4	1.0	3.4	4.9	
60歳以上	238	2.1	2.9	17.6	63.9	6.3	2.1	9.2	
【F2 性別】									
男性	415	1.0	5.5	17.3	70.8	2.4	1.2	5.1	
女性	531	12.6	5.5	13.4	64.4	1.5	2.6	4.1	
【F3 未既婚別】									
結婚していない	190	8.9	7.9	12.6	67.4	1.1	1.6	3.7	
結婚している（有配偶者）	662	6.2	4.1	15.7	69.8	2.0	2.0	3.8	
離別・死別した	91	13.2	9.9	16.5	49.5	3.3	3.3	11.0	
【F4 子どもの成長段階別】									
乳幼児	126	12.7	5.6	13.5	66.7	-	1.6	1.6	
小・中学生	153	9.8	6.5	18.3	64.7	-	1.3	3.9	
高校生、大学生（高専、短大、 学校は卒業した	126	7.1	6.3	12.7	72.2	0.8	1.6	4.0	
子どもはいない	364	3.0	4.9	17.0	67.9	3.3	2.7	6.0	
子どもはいない	258	10.1	6.6	15.1	67.8	0.8	1.2	1.9	
【F5 世帯構成別】									
一人暮らし	118	5.9	7.6	15.3	61.0	2.5	2.5	8.5	
夫婦のみ	259	5.0	3.5	15.1	70.7	2.7	1.9	5.0	
親と子ども（2世代世帯）	426	10.1	5.9	14.6	66.9	1.6	1.9	2.6	
親と子と孫（3世代世帯）	57	5.3	7.0	14.0	66.7	-	1.8	8.8	
その他の構成の世帯	81	6.2	6.2	19.8	67.9	1.2	2.5	2.5	

問6 もし、あなたがセクシャル・ハラスメントの被害にあったときは、どこ（誰）に相談しますか。（回答数3つまで）

	回答者数	家族	友人、知人	警察、弁護士	公的な相談機関	民間の相談機関	同じ経験をした人	医師、カウンセラー	職場の苦情処理機関や上司・同僚	どこ（誰）にも相談しない	その他	無回答
【全体】	954 100.0	361 37.8	457 47.9	247 25.9	362 37.9	137 14.4	48 5.0	69 7.2	238 24.9	72 7.5	12 1.3	42 4.4
【F1 年齢別】												
20～29歳	144	45.1	68.1	16.7	20.1	8.3	9.0	7.6	36.1	6.9	1.4	2.1
30～39歳	172	42.4	61.6	21.5	33.1	11.6	4.1	2.9	30.2	8.7	1.2	1.7
40～49歳	186	35.5	50.5	26.3	39.2	13.4	3.2	5.4	29.0	8.6	0.5	2.7
50～59歳	206	34.5	40.8	21.8	42.2	17.0	4.9	11.2	27.7	9.2	1.0	2.4
60歳以上	238	35.7	31.1	38.7	48.3	18.9	5.0	8.4	9.2	5.0	2.1	8.4
【F2 性別】												
男性	415	28.2	41.2	31.1	40.7	14.2	4.3	6.5	22.7	8.9	1.9	5.3
女性	531	45.8	53.7	22.2	36.2	14.7	5.6	7.9	26.9	6.6	0.8	2.6
【F3 未既婚別】												
結婚していない	190	33.7	61.1	20.5	27.9	11.1	8.9	6.8	32.1	6.8	0.5	3.7
結婚している（有配偶者）	662	40.0	45.3	28.5	41.8	14.8	3.8	7.6	24.0	7.9	1.4	3.3
離別・死別した	91	33.0	41.8	20.9	34.1	19.8	6.6	6.6	17.6	7.7	2.2	6.6
【F4 子どもの成長段階別】												
乳幼児	126	47.6	60.3	23.8	27.0	8.7	2.4	4.0	36.5	9.5	1.6	2.4
小・中学生	153	37.3	53.6	28.1	39.2	13.1	2.0	3.9	26.1	9.8	-	3.3
高校生、大学生（高専、短大、 学校は卒業した	126	38.1	48.4	23.8	46.8	19.8	5.6	7.9	23.0	7.1	-	3.2
子どもはいない	364	40.1	36.3	29.7	44.5	18.4	5.2	7.7	17.9	6.9	1.1	4.9
258	33.7	57.0	22.5	33.7	12.0	8.1	8.9	33.7	7.0	1.6	1.9	
【F5 世帯構成別】												
一人暮らし	118	30.5	54.2	16.1	32.2	11.9	6.8	8.5	26.3	6.8	2.5	6.8
夫婦のみ	259	36.3	37.5	33.6	46.3	16.2	3.9	10.8	19.7	7.3	1.9	5.0
親と子ども（2世代世帯）	426	42.5	56.1	22.8	35.7	14.6	5.4	5.4	27.0	7.3	0.7	1.9
親と子と孫（3世代世帯）	57	38.6	35.1	28.1	35.1	14.0	5.3	5.3	43.9	5.3	-	5.3
その他の構成の世帯	81	32.1	40.7	32.1	37.0	13.6	4.9	4.9	18.5	13.6	1.2	2.5



問7 あなたは現在、働いていますか。(回答数1つ)

	回答者数	働いている	働いていない	無回答
【全体】	954	608	325	21
	100.0	63.7	34.1	2.2
【F1 年齢別】				
20～29歳	144	74.3	24.3	1.4
30～39歳	172	73.3	25.6	1.2
40～49歳	186	76.3	21.5	2.2
50～59歳	206	72.8	26.2	1.0
60歳以上	238	34.5	63.4	2.1
【F2 性別】				
男性	415	74.0	23.6	2.4
女性	531	56.5	42.6	0.9
【F3 未既婚別】				
結婚していない	190	75.8	21.6	2.6
結婚している(有配偶者)	662	62.2	36.4	1.4
離別・死別した	91	52.7	46.2	1.1
【F4 子どもの成長段階別】				
乳幼児	126	61.9	36.5	1.6
小・中学生	153	73.9	23.5	2.6
高校生、大学生(高専、短大、)	126	74.6	23.8	1.6
学校は卒業した	364	53.8	44.8	1.4
子どもはいない	258	72.9	26.0	1.2
【F5 世帯構成別】				
一人暮らし	118	61.9	35.6	2.5
夫婦のみ	259	54.8	44.0	1.2
親と子ども(2世代世帯)	426	69.0	29.6	1.4
親と子と孫(3世代世帯)	57	77.2	21.1	1.8
その他の構成の世帯	81	63.0	35.8	1.2

問7-1 あなたの仕事の勤務形態は、次のうちどれにあてはまりますか。(回答数1つ)

	回答者数	自由業・自営業・家族従業員	正規社員・職員	臨時・派遣・パート・アルバイト・内職等	その他	無回答
【全体】	608	70	326	200	11	1
	100.0	11.5	53.6	32.9	1.8	0.2
【F1 年齢別】						
20～29歳	107	3.7	62.6	32.7	0.9	-
30～39歳	126	7.9	73.8	18.3	-	-
40～49歳	142	8.5	55.6	34.5	1.4	-
50～59歳	150	13.3	52.0	31.3	2.7	0.7
60歳以上	82	28.0	11.0	56.1	4.9	-
【F2 性別】						
男性	307	11.4	68.7	17.3	2.6	-
女性	300	11.3	38.3	49.0	1.0	0.3
【F3 未既婚別】						
結婚していない	144	5.6	63.9	29.9	0.7	-
結婚している(有配偶者)	412	13.3	52.4	31.8	2.2	0.2
離別・死別した	48	12.5	31.3	54.2	2.1	-
【F4 子どもの成長段階別】						
乳幼児	78	6.4	80.8	12.8	-	-
小・中学生	113	5.3	58.4	36.3	-	-
高校生、大学生(高専、短大、)	94	11.7	48.9	37.2	1.1	1.1
学校は卒業した	196	19.9	31.1	45.4	3.1	0.5
子どもはいない	188	6.9	66.0	25.5	1.6	-
【F5 世帯構成別】						
一人暮らし	73	9.6	67.1	23.3	-	-
夫婦のみ	142	17.6	48.6	28.9	4.9	-
親と子ども(2世代世帯)	294	8.2	53.7	37.8	0.3	-
親と子と孫(3世代世帯)	44	9.1	68.2	20.5	2.3	-
その他の構成の世帯	51	17.6	39.2	39.2	2.0	2.0

問7-2 あなたが働いていない理由はなんですか。(回答数1つ)

	回答者数	適当な仕事が見つからない	定年で退職した、高齢だから	経済的に必要がない	仕事以外にしたいことがある	子どもが小さい	家族に介護を必要とする人がいる	健康に自信がない	家族の同意を得られない	その他	無回答
【全体】	325 100.0	37 11.4	113 34.8	19 5.8	11 3.4	41 12.6	21 6.5	36 11.1	3 0.9	42 12.9	2 0.6
【F1 年齢別】											
20～29歳	35	8.6	2.9	-	2.9	42.9	-	2.9	-	40.0	-
30～39歳	44	15.9	-	9.1	4.5	45.5	2.3	4.5	-	18.2	-
40～49歳	40	20.0	-	10.0	5.0	15.0	2.5	20.0	5.0	22.5	-
50～59歳	54	27.8	3.7	11.1	5.6	-	14.8	25.9	-	11.1	-
60歳以上	151	2.6	72.8	3.3	1.3	-	7.3	7.3	0.7	3.3	1.3
【F2 性別】											
男性	98	12.2	56.1	1.0	3.1	-	6.1	9.2	-	12.2	-
女性	226	11.1	25.7	8.0	3.1	18.1	6.6	11.9	1.3	13.3	0.9
【F3 未既婚別】											
結婚していない	41	22.0	9.8	2.4	2.4	2.4	7.3	12.2	-	41.5	-
結婚している(有配偶者)	241	10.8	35.7	7.1	3.7	16.2	5.8	10.4	1.2	8.3	0.8
離別・死別した	42	4.8	54.8	2.4	-	2.4	9.5	14.3	-	11.9	-
【F4 子どもの成長段階別】											
乳幼児	46	2.2	2.2	2.2	4.3	82.6	4.3	-	-	2.2	-
小・中学生	36	16.7	5.6	13.9	5.6	38.9	2.8	2.8	5.6	8.3	-
高校生、大学生(高専、短大、 学校は卒業した)	30	23.3	30.0	10.0	6.7	-	10.0	10.0	-	10.0	-
子どもはいない	163	8.6	50.9	5.5	3.7	0.6	8.6	16.0	0.6	4.9	0.6
67	17.9	19.4	3.0	3.0	-	7.5	11.9	-	37.3	-	
【F5 世帯構成別】											
一人暮らし	42	9.5	45.2	2.4	2.4	-	2.4	19.0	-	19.0	-
夫婦のみ	114	10.5	50.0	6.1	2.6	1.8	4.4	13.2	0.9	8.8	1.8
親と子ども(2世代世帯)	126	15.1	17.5	7.1	3.2	29.4	6.3	7.9	1.6	11.9	-
親と子と孫(3世代世帯)	12	-	33.3	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	-	16.7	-
その他の構成の世帯	29	6.9	37.9	3.4	-	3.4	17.2	6.9	-	24.1	-

問8 あなたの希望するライフスタイルに最も近いものはどれですか。(回答数1つ)

	回答者数	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	その他	わからない	無回答
【全体】	954 100.0	25 2.6	202 21.2	35 3.7	328 34.4	49 5.1	103 10.8	150 15.7	10 1.0	31 3.2	21 2.2
【F1 年齢別】											
20～29歳	144	1.4	19.4	4.9	44.4	6.9	5.6	14.6	1.4	1.4	-
30～39歳	172	-	31.4	2.9	36.6	4.7	8.1	12.8	1.2	1.7	0.6
40～49歳	186	4.3	21.0	2.7	39.2	5.9	7.0	16.7	-	2.2	1.1
50～59歳	206	2.9	17.5	1.9	35.9	4.9	12.1	19.9	1.5	1.9	1.5
60歳以上	238	3.8	18.1	5.9	22.7	4.2	18.1	14.7	1.3	7.6	3.8
【F2 性別】											
男性	415	4.8	15.2	3.9	38.8	5.5	11.1	16.4	1.2	1.9	1.2
女性	531	0.9	25.8	3.6	31.5	4.9	10.7	15.4	0.9	4.3	1.9
【F3 未既婚別】											
結婚していない	190	2.6	10.0	7.9	36.3	13.7	6.3	16.8	1.6	4.2	0.5
結婚している(有配偶者)	662	2.7	25.8	1.7	35.0	3.3	11.9	16.3	0.8	1.5	0.9
離別・死別した	91	2.2	11.0	8.8	29.7	1.1	12.1	11.0	2.2	13.2	8.8
【F4 子どもの成長段階別】											
乳幼児	126	-	39.7	0.8	37.3	1.6	7.1	12.7	0.8	-	-
小・中学生	153	2.6	30.1	0.7	38.6	1.3	9.8	15.0	-	1.3	0.7
高校生、大学生(高専、短大、)	126	0.8	23.0	0.8	39.7	1.6	9.5	15.9	2.4	4.0	2.4
学校は卒業した	364	3.8	19.2	3.6	29.7	4.1	15.9	17.0	1.1	4.1	1.4
子どもはいない	258	1.6	14.3	7.0	35.3	10.5	7.0	17.8	1.2	3.9	1.6
【F5 世帯構成別】											
一人暮らし	118	3.4	9.3	12.7	27.1	7.6	10.2	13.6	1.7	10.2	4.2
夫婦のみ	259	1.9	22.0	2.7	33.2	4.6	13.9	16.6	0.8	2.7	1.5
親と子ども(2世代世帯)	426	2.1	24.4	2.8	35.7	6.1	9.9	15.7	1.2	1.4	0.7
親と子と孫(3世代世帯)	57	3.5	15.8	-	54.4	-	8.8	12.3	-	1.8	3.5
その他の構成の世帯	81	6.2	22.2	1.2	29.6	2.5	9.9	19.8	1.2	6.2	1.2

問9 続いて、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。（回答数1つ）

	回答者数	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」と「家庭生活」をともに優先している	その他	わからない	無回答
【全体】	954 100.0	256 26.8	245 25.7	28 2.9	210 22.0	28 2.9	66 6.9	43 4.5	17 1.8	39 4.1	22 2.3
【F1 年齢別】											
20～29歳	144	43.8	21.5	3.5	14.6	3.5	2.1	2.1	4.2	4.9	-
30～39歳	172	29.7	28.5	0.6	28.5	2.3	4.1	2.3	1.2	2.3	0.6
40～49歳	186	36.6	25.3	1.1	23.1	3.2	2.7	4.8	-	2.7	0.5
50～59歳	206	27.2	23.8	1.9	28.2	2.4	5.8	4.4	1.9	2.9	1.5
60歳以上	238	7.6	28.6	6.7	16.0	3.4	16.4	7.6	2.1	7.1	4.6
【F2 性別】											
男性	415	37.6	13.5	4.1	23.9	3.9	6.3	5.1	1.2	3.1	1.4
女性	531	18.8	35.4	2.1	20.7	2.3	7.5	4.1	2.3	4.9	1.9
【F3 未既婚別】											
結婚していない	190	46.3	11.1	4.7	13.2	5.8	4.2	3.7	4.2	5.8	1.1
結婚している（有配偶者）	662	22.7	31.9	1.8	24.8	2.1	7.6	5.0	1.1	2.3	0.9
離別・死別した	91	17.6	13.2	6.6	22.0	3.3	8.8	3.3	2.2	14.3	8.8
【F4 子どもの成長段階別】											
乳幼児	126	23.8	41.3	0.8	24.6	0.8	4.8	0.8	0.8	2.4	-
小・中学生	153	27.5	29.4	-	30.1	2.6	5.2	1.3	0.7	2.0	1.3
高校生、大学生（高専、短大、 学校は卒業した	126	23.8	30.2	-	27.8	1.6	4.0	5.6	-	3.2	4.0
子どもはいない	364	17.0	28.6	3.8	20.6	3.8	12.6	6.6	1.6	3.6	1.6
子どもはいない	258	41.1	15.1	4.7	17.8	3.9	4.3	3.9	2.7	5.8	0.8
【F5 世帯構成別】											
一人暮らし	118	34.7	10.2	5.9	12.7	5.9	6.8	3.4	5.1	10.2	5.1
夫婦のみ	259	20.8	27.8	2.7	23.2	3.1	12.0	5.0	1.5	2.7	1.2
親と子ども（2世代世帯）	426	28.4	29.6	2.1	24.2	2.8	4.9	3.1	0.9	3.3	0.7
親と子と孫（3世代世帯）	57	29.8	19.3	1.8	31.6	-	3.5	5.3	1.8	3.5	3.5
その他の構成の世帯	81	27.2	25.9	4.9	14.8	1.2	4.9	11.1	2.5	4.9	2.5

問10 企業等において、ワーク・ライフ・バランスを推進（育児休業制度や短時間勤務制度の利用促進等）するために必要なことはどのようなことだと思いますか。（回答数1つ）

	回答者数	経営トップが率先して支援策を利用する	経営トップが積極的に従業員に呼びかける	管理職が率先して支援策を利用する	管理職が積極的に従業員に呼びかける	実施している支援策を従業員にPRし、理解を深める	職場ごとに利用しやすい雰囲気を作る	その他	特にない	わからない	無回答
【全体】	954 100.0	103 10.8	168 17.6	41 4.3	92 9.6	66 6.9	306 32.1	21 2.2	43 4.5	78 8.2	36 3.8
【F1 年齢別】											
20～29歳	144	8.3	18.1	9.7	9.7	4.9	41.7	2.1	0.7	4.2	0.7
30～39歳	172	15.7	16.3	4.1	14.0	5.8	34.9	2.3	2.3	4.1	0.6
40～49歳	186	10.8	19.9	5.4	9.7	7.5	30.6	3.8	3.8	8.1	0.5
50～59歳	206	10.7	20.4	3.4	8.3	9.7	34.5	1.5	2.9	6.3	2.4
60歳以上	238	8.8	14.7	1.3	8.0	6.3	24.4	1.7	10.1	15.5	9.2
【F2 性別】											
男性	415	11.3	22.4	3.6	11.1	6.5	27.0	3.1	5.3	6.3	3.4
女性	531	10.4	14.1	4.9	8.7	7.3	36.5	1.5	3.8	9.8	3.0
【F3 未既婚別】											
結婚していない	190	10.5	17.9	6.8	10.0	5.8	36.3	3.2	2.6	5.8	1.1
結婚している（有配偶者）	662	11.0	18.4	3.9	10.3	7.6	31.6	2.1	4.7	7.9	2.6
離別・死別した	91	9.9	13.2	2.2	5.5	5.5	28.6	1.1	6.6	16.5	11.0
【F4 子どもの成長段階別】											
乳幼児	126	8.7	20.6	7.1	14.3	7.1	34.1	2.4	2.4	3.2	-
小・中学生	153	12.4	16.3	5.2	14.4	5.2	35.9	2.0	1.3	6.5	0.7
高校生、大学生（高専、短大、 学校は卒業した	126	11.9	16.7	4.0	12.7	10.3	31.7	3.2	0.8	4.8	4.0
子どもはいない	364	9.6	17.6	2.7	8.0	9.1	29.9	1.4	6.3	10.2	5.2
	258	11.2	17.4	6.2	9.3	4.3	38.0	3.1	4.3	5.8	0.4
【F5 世帯構成別】											
一人暮らし	118	7.6	11.9	4.2	11.0	0.8	37.3	3.4	5.1	12.7	5.9
夫婦のみ	259	10.4	18.9	2.7	9.7	5.0	27.4	2.7	7.3	11.2	4.6
親と子ども（2世代世帯）	426	10.8	19.5	5.2	8.9	8.7	36.6	1.4	2.3	5.4	1.2
親と子と孫（3世代世帯）	57	17.5	17.5	7.0	12.3	3.5	24.6	1.8	5.3	7.0	3.5
その他の構成の世帯	81	12.3	14.8	3.7	9.9	16.0	24.7	3.7	4.9	6.2	3.7

問11 一般的に、男女が共に仕事と家庭生活を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。  
(回答数3つまで)

	回答者数	職場環境を整備する	代替休業制度の確保など、育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援の充実	子育て支援を充実	ファミリーサポートセンターの導入	在宅勤務やフレックスタイトムなど、柔軟な勤務制度を導入	職場内に保育施設を整備	子どもの病気の看護などで、休暇を取りやすい職場の雰囲気を作る	子どもの学校行事参加や家族時間を短縮	残業を減らすなど、年間労働時間を短縮	子育てや介護を理由にやむを得ず退職した者を再雇用する制度を導入	男性も含めた働き方の見直しを大幅に推進	賃金や昇進などの男女格差をなくす
【全体】	954 100.0	353 37.0	308 32.3	147 15.4	150 15.7	96 10.1	417 43.7	117 12.3	168 17.6	113 11.8	67 7.0		
【F1 年齢別】													
20～29歳	144	34.0	45.1	13.2	19.4	18.1	49.3	15.3	12.5	11.1	6.3		
30～39歳	172	34.3	36.0	21.5	18.0	13.4	53.5	12.2	16.9	15.7	4.1		
40～49歳	186	40.9	31.7	16.7	20.4	7.5	46.8	12.9	16.7	12.9	8.6		
50～59歳	206	44.7	30.6	15.0	14.6	6.3	43.2	14.1	22.3	11.2	5.8		
60歳以上	238	32.4	24.8	12.2	9.2	8.4	32.8	8.8	18.1	9.7	9.7		
【F2 性別】													
男性	415	37.6	35.2	14.2	18.6	8.4	35.9	14.9	18.3	16.4	8.0		
女性	531	37.1	30.5	16.6	13.6	11.5	50.5	10.4	17.1	8.5	6.4		
【F3 未既婚別】													
結婚していない	190	33.2	41.1	9.5	21.1	12.1	39.5	15.8	18.4	16.3	7.4		
結婚している(有配偶者)	662	39.9	31.0	18.3	14.4	9.1	46.1	12.5	17.4	11.3	7.3		
離別・死別した	91	26.4	27.5	8.8	15.4	13.2	39.6	4.4	18.7	7.7	5.5		
【F4 子どもの成長段階別】													
乳幼児	126	38.9	41.3	28.6	21.4	15.9	58.7	7.9	11.1	15.1	4.0		
小・中学生	153	41.2	26.1	26.8	20.9	7.2	60.8	7.8	18.3	12.4	4.6		
高校生、大学生(高専、短大、)	126	40.5	33.3	23.0	16.7	6.3	49.2	11.9	18.3	14.3	5.6		
学校は卒業した	364	39.8	30.2	14.8	12.1	8.8	39.8	11.5	19.0	8.5	9.1		
子どもはいない	258	34.5	35.7	8.5	19.0	12.0	38.4	17.4	17.4	15.5	7.4		
【F5 世帯構成別】													
一人暮らし	118	39.0	33.1	13.6	15.3	12.7	33.9	15.3	12.7	16.9	5.9		
夫婦のみ	259	39.0	27.4	15.1	10.8	8.9	37.5	15.4	17.8	9.3	8.5		
親と子ども(2世代世帯)	426	37.6	33.8	17.8	20.4	10.1	49.5	10.8	19.0	12.0	6.1		
親と子と孫(3世代世帯)	57	42.1	43.9	12.3	7.0	12.3	54.4	5.3	26.3	12.3	8.8		
その他の構成の世帯	81	27.2	35.8	11.1	14.8	9.9	44.4	11.1	12.3	13.6	7.4		

問11 一般的に、男女が共に仕事と家庭生活を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。  
(回答数3つまで)

	回答者数	社員・パート・職員の労働条件を改善する	パートタイムなど、非正規の機会や内容の充実	職業上、必要な教育・訓練等の機会	理解と協力	男女が共に仕事と家庭を両立していく事に対して、周囲の立	その他	特にな	わからない	無回答
【全体】	954 100.0	218 22.9	38 4.0	287 30.1	13 1.4	13 1.4	34 3.6	29 3.0		
【F1 年齢別】										
20～29歳	144	20.8	5.6	24.3	-	0.7	4.2	0.7		
30～39歳	172	12.8	4.7	33.1	2.9	0.6	1.7	0.6		
40～49歳	186	23.7	2.7	28.5	2.7	-	1.6	1.1		
50～59歳	206	31.1	2.4	30.6	1.0	-	1.5	1.5		
60歳以上	238	23.9	5.0	33.2	0.4	4.6	8.0	6.7		
【F2 性別】										
男性	415	20.5	4.1	27.7	1.7	1.7	3.4	2.9		
女性	531	24.9	4.0	32.4	1.1	1.1	3.8	2.1		
【F3 未既婚別】										
結婚していない	190	20.0	3.7	27.4	0.5	1.1	4.2	2.1		
結婚している(有配偶者)	662	23.3	4.1	31.6	1.7	1.2	2.7	1.7		
離別・死別した	91	27.5	4.4	28.6	1.1	3.3	7.7	8.8		
【F4 子どもの成長段階別】										
乳幼児	126	10.3	2.4	21.4	3.2	0.8	1.6	0.8		
小・中学生	153	23.5	1.3	28.1	1.3	0.7	-	1.3		
高校生、大学生(高専、短大、)	126	21.4	2.4	25.4	0.8	0.8	0.8	3.2		
学校は卒業した	364	28.0	4.1	33.5	0.8	1.9	4.4	2.7		
子どもはいない	258	19.4	5.8	31.4	1.2	0.8	4.3	1.2		
【F5 世帯構成別】										
一人暮らし	118	15.3	1.7	25.4	1.7	2.5	6.8	5.1		
夫婦のみ	259	23.2	6.9	34.4	0.8	1.9	3.9	3.1		
親と子ども(2世代世帯)	426	24.2	2.3	29.1	1.6	0.7	2.1	1.2		
親と子と孫(3世代世帯)	57	17.5	3.5	29.8	-	-	3.5	3.5		
その他の構成の世帯	81	30.9	7.4	32.1	2.5	1.2	3.7	2.5		



問12 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。(回答数無制限)

	回答者数	男女共同参画社会	女子差別撤廃条約	旭川市男女平等を実現し男女共同参画を推進する条例	あさひかわ男女共同参画基本計画2006	ポジティブアクション(積極的改善処置)	ジェンダー(社会的性別)	男女雇用機会均等法	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	見たり聞いたりしたものがな	無回答
【全体】	954 100.0	331 34.7	180 18.9	90 9.4	86 9.0	71 7.4	201 21.1	655 68.7	202 21.2	161 16.9	37 3.9
【F1 年齢別】											
20～29歳	144	30.6	33.3	4.2	6.3	10.4	35.4	75.7	11.8	16.0	1.4
30～39歳	172	30.2	23.3	7.0	8.1	7.0	30.2	73.8	15.7	16.9	1.2
40～49歳	186	36.0	13.4	5.4	6.5	10.2	25.3	73.7	21.5	17.2	1.1
50～59歳	206	40.8	12.1	11.2	11.7	5.8	15.5	71.8	25.2	14.1	2.9
60歳以上	238	35.3	17.6	16.4	11.3	5.5	8.0	55.9	27.7	19.7	8.0
【F2 性別】											
男性	415	40.7	21.2	12.0	11.6	8.4	20.2	73.3	23.4	14.7	2.7
女性	531	30.5	17.3	7.5	7.2	6.8	22.0	65.9	19.8	18.6	3.8
【F3 未既婚別】											
結婚していない	190	35.8	31.6	7.9	6.8	11.1	32.1	73.7	15.8	15.8	2.6
結婚している(有配偶者)	662	35.5	16.2	10.1	9.7	6.6	19.9	70.7	23.9	15.9	2.6
離別・死別した	91	28.6	13.2	7.7	8.8	6.6	7.7	48.4	15.4	26.4	9.9
【F4 子どもの成長段階別】											
乳幼児	126	34.9	15.9	4.8	5.6	5.6	30.2	79.4	15.1	15.9	-
小・中学生	153	34.6	17.0	5.9	10.5	7.8	25.5	76.5	18.3	15.7	2.0
高校生、大学生(高専、短大、)	126	42.1	11.9	10.3	7.9	7.1	21.4	77.8	23.0	11.1	4.0
学校は卒業した	364	37.4	16.8	14.8	12.6	6.0	10.4	64.0	29.4	17.9	3.6
子どもはいない	258	31.4	26.4	5.4	6.2	10.5	31.8	74.0	15.9	15.1	1.6
【F5 世帯構成別】											
一人暮らし	118	27.1	22.9	6.8	9.3	9.3	20.3	59.3	16.9	23.7	6.8
夫婦のみ	259	33.2	17.0	11.6	9.3	4.6	15.4	65.6	21.2	18.1	4.2
親と子ども(2世代世帯)	426	38.0	18.3	8.0	9.2	7.3	23.7	74.6	19.0	14.3	1.2
親と子と孫(3世代世帯)	57	38.6	21.1	15.8	10.5	15.8	28.1	71.9	28.1	19.3	7.0
その他の構成の世帯	81	35.8	23.5	11.1	7.4	9.9	23.5	65.4	35.8	14.8	2.5

問13 今後、あなたが、男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などのあらゆる分野に、共同で平等に参画する社会（男女共同参画社会）を実現するためにはどのようにすることが必要だと思いますか。（回答数3つまで）

	回答者数	社会や組織を支援する一員であるという自覚と責任を持つ	自分の能力や考え方を尊重する	積極的な発言し、また、互いの能力や希望を様々な場	決意の場や積極的に進出する	機関や企業などにおける方針	政治の場、市役所などの公的	分話し合う	家庭で、家事や子育て、教育、地域活動などについて十	取れた生き方をする	仕事と家庭生活のバランスの	し、技能、技術、資格などを取得	その他	特にな	わからない	無回答						
【全体】	954	412	410	141	305	512	208	19	45	65	29	100.0	43.2	43.0	14.8	32.0	53.7	21.8	2.0	4.7	6.8	3.0
【F1 年齢別】																						
20～29歳	144	37.5	47.2	13.9	38.9	57.6	22.2	4.2	3.5	5.6	0.7											
30～39歳	172	31.4	46.5	12.2	34.3	59.9	20.3	4.1	4.7	7.6	-											
40～49歳	186	40.9	39.2	13.4	32.3	55.9	20.4	0.5	5.4	7.0	1.1											
50～59歳	206	50.0	45.6	16.0	28.2	54.4	26.2	1.5	4.4	4.9	1.0											
60歳以上	238	52.5	39.9	17.6	30.3	45.8	20.6	0.8	5.5	8.8	7.1											
【F2 性別】																						
男性	415	46.0	47.0	19.0	35.7	56.1	19.8	1.4	5.1	4.3	2.7											
女性	531	41.6	40.5	11.7	29.6	52.4	23.7	2.4	4.5	8.9	2.1											
【F3 未既婚別】																						
結婚していない	190	41.1	45.3	12.1	32.6	54.7	25.8	2.6	5.3	5.8	1.1											
結婚している（有配偶者）	662	44.4	42.7	16.6	33.5	56.0	20.7	2.1	4.7	6.0	2.3											
離別・死別した	91	42.9	42.9	8.8	23.1	38.5	24.2	-	4.4	14.3	5.5											
【F4 子どもの成長段階別】																						
乳幼児	126	30.2	38.9	17.5	37.3	58.7	19.8	6.3	4.8	4.8	-											
小・中学生	153	35.3	37.3	15.7	36.6	60.1	13.7	3.3	3.9	5.9	2.0											
高校生、大学生（高専、短大、	126	51.6	48.4	15.1	32.5	53.2	23.8	-	3.2	2.4	3.2											
学校は卒業した	364	52.5	43.4	15.9	30.2	52.7	23.1	0.8	4.1	6.0	4.1											
子どもはいない	258	38.8	46.1	12.0	31.0	55.0	24.0	2.3	5.4	8.9	0.4											
【F5 世帯構成別】																						
一人暮らし	118	39.8	44.1	9.3	23.7	50.8	23.7	0.8	5.9	11.9	3.4											
夫婦のみ	259	45.9	47.9	18.9	32.0	54.1	22.0	1.2	4.2	6.2	3.1											
親と子ども（2世代世帯）	426	42.7	41.1	14.3	33.6	55.4	20.0	2.6	5.2	5.6	1.6											
親と子と孫（3世代世帯）	57	43.9	42.1	15.8	40.4	47.4	21.1	1.8	1.8	5.3	5.3											
その他の構成の世帯	81	44.4	42.0	13.6	34.6	55.6	32.1	2.5	3.7	8.6	-											



問14 市の施策として男女共同参画社会を実現するために何が重要だと思いますか。(回答数無制限)

	回答者数	備する 迎えら れるよ うな環 境を高 齢期	男女が ともに 安心し て高 齢期	機能の 充実 のた めの 相談 機 関 や 相 談	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
【全体】	954	605	153	24	20	56	29	
	100.0	63.4	16.0	2.5	2.1	5.9	3.0	
【F1 年齢別】								
20～29歳	144	56.9	21.5	4.9	0.7	4.2	0.7	
30～39歳	172	52.3	14.5	3.5	1.7	5.8	0.6	
40～49歳	186	61.8	19.9	2.7	3.2	4.8	1.6	
50～59歳	206	73.3	15.5	1.5	1.9	4.9	1.9	
60歳以上	238	69.7	11.8	1.3	2.5	8.8	5.5	
【F2 性別】								
男性	415	64.8	14.9	1.7	2.9	4.1	2.7	
女性	531	63.1	17.1	3.2	1.5	7.3	2.1	
【F3 未既婚別】								
結婚していない	190	57.4	18.4	4.2	2.1	6.8	1.1	
結婚している(有配偶者)	662	66.5	15.6	2.4	2.3	4.8	2.1	
離別・死別した	91	59.3	16.5	-	1.1	11.0	6.6	
【F4 子どもの成長段階別】								
乳幼児	126	52.4	21.4	2.4	2.4	4.8	0.8	
小・中学生	153	58.8	18.3	2.0	2.6	2.6	1.3	
高校生、大学生(高専、短大、)	126	68.3	18.3	0.8	1.6	2.4	2.4	
学校は卒業した	364	70.9	14.0	1.4	1.6	6.9	3.8	
子どもはいない	258	61.2	16.3	4.3	2.7	5.8	0.4	
【F5 世帯構成別】								
一人暮らし	118	58.5	16.1	2.5	1.7	9.3	3.4	
夫婦のみ	259	70.3	13.5	3.1	1.5	5.0	2.7	
親と子ども(2世代世帯)	426	61.0	16.7	2.3	2.1	5.2	1.9	
親と子と孫(3世代世帯)	57	59.6	19.3	-	1.8	7.0	3.5	
その他の構成の世帯	81	69.1	19.8	3.7	4.9	4.9	1.2	

平成19年度 男女共同参画に関する市民意識調査 報告書

【編集・発行】

旭川市総合政策部政策調整課

〒070-8525 旭川市6条通9丁目

TEL:0166(25)5358 FAX:0166(23)8217

E-mail:seisakuchosei@city.asahikawa.hokkaido.jp

平成20(2008)年10月発行